

\*\*\*\*\*  
**会 告 ・ 通 知**  
\*\*\*\*\*

会告欄は本会ホームページからも御覧になれます  
<http://www.ieice.org/jpn/kaikoku/kaikoku-tsuuchi.html>  
(本会ホームページ→左側 MENU 上から 3 番目会告ページ入る)

————— 平成 25 年 6 月号会告・通知目次 —————

◇第一種研究会開催案内 (平成 25 年 6 月 10 日～7 月 5 日) .....	2
◇第二種研究会開催案内・発表募集案内 .....	24
◇2013 年ソサイエティ大会開催案内 .....	29
◇FIT2013 第 12 回情報科学技術フォーラム聴講参加・懇親会参加並びに講演論文集 事前予約申込の御案内 .....	30
◇支部大会	
・平成 25 年度電気関係学会東海支部連合大会 .....	31
・平成 25 年度 (第 66 回) 電気関係学会九州支部連合大会 .....	31
◇講演会・講習会・学術研究会等	
・東海支部 平成 25 年度第 1 回一般講演会「高信頼制御通信研究の新しさ・面白さ」 .....	32
平成 25 年度第 2 回一般講演会「電気自動車の走行中給電技術」 .....	32
・関西支部 電気四学会関西支部照明技術講演会 .....	32
電気四学会関西支部専門講習会「デジタル時代の新しいテレビ視聴」 .....	32
電気四学会関西支部専門講習会	
「非有効接地系統および UHV 系統の絶縁協調技術—JEC-0102-2010 技術解説」 .....	32
電子情報通信学会関西支部中・高生向け講座「コンピュータの内部について学ぼう!!」 .....	33
電子情報通信学会関西支部中・高生向け講座「e-Gadget を用いたロボット制御」 .....	33
・エレクトロニクスシミュレーション講習会「モーメント法による電磁界数値解析の基礎と応用」 .....	34
・本会が協賛等のもの .....	34
◇国際会議 .....	37
◇受賞候補者募集等	
・平成 25 年度学術奨励賞・受賞候補者推薦用紙, ほか .....	38
◇求人欄 .....	41
◇お知らせ	
・転勤・転居及び学生員申請の届出について .....	42
・平成 24 年度「子供の科学教室基金」募金活動報告 .....	42
・論文誌の冊子体の廃止について .....	42
・平成 25 年 6 月号及び 7 月号和・英論文誌特集・小特集テーマ .....	42
◇論文特集原稿募集	
・先端半導体デバイスの基礎と応用小特集 (英文論文誌 C) .....	43
・アナログ回路技術と SoC 向け混載技術に関する小特集 (英文論文誌 C) .....	43
・実世界の音声情報処理のモデル化手法の進展とその応用小特集 (英文論文誌 D) .....	44
◇会誌 DVD 第 2 版「学会誌 90 年の歩み」購入申込みについて .....	46
◇IEICE Communications Express (ComEX) 投稿案内 .....	47
◇IEICE Electronics Express 投稿案内 .....	48
☺各種証明, 閲覧の手数料について .....	36
☺複写される方へ .....	37
☺新刊案内	
・本会発行図書	
[新版 ULSI デバイス・プロセス技術] .....	45
☺総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開について .....	40

## 電子情報通信学会各研究会開催通知

第一種研究会                      平成 25 年 6 月 10 日～7 月 5 日

開催プログラムは変更になることがあります。  
最新情報は学会ホームページのイベント日程等で御確認下さい。  
<http://www.ieice.org/event/workshops.php>

### ◎基礎・境界ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
信 頼 性	14 日(金)	13 : 30～15 : 10	機械振興会館	5
応 用 音 響	14 日(金)	13 : 00～16 : 20	機械振興会館	5
思 考 と 言 語 言 語 理 解 と コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	14 日(金) 15 日(土)	14 : 30～18 : 10 9 : 00～12 : 05	筑波大学・春日地区	6
超 音 波	24 日(月)	13 : 00～16 : 45	東京大学・生産技術研究所	12
スマートインフォメディアシステム	13 日(木) 14 日(金)	10 : 30～16 : 10 10 : 00～11 : 50	宝山ホール (鹿児島)	23
6 月休会の研究会：回路とシステム, 情報理論, 非線形問題, VLSI 設計技術, 情報セキュリティ, 信号処理, ワイドバンドシステム, システム数理と応用, 技術と社会・倫理, 安全性, ITS, イメージ・メディア・クオリティ				

### ◎通信ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
ア ン テ ナ ・ 伝 播	13 日(木) 14 日(金)	13 : 00～16 : 55 9 : 00～12 : 00	機械振興会館	4
短 距 離 無 線 通 信	17 日(月)	10 : 20～16 : 50	富士通・川崎工場	7
宇 宙 ・ 航 行 エ レ ク ト ロ ニ ク ス	20 日(木) 21 日(金)	10 : 45～16 : 50 10 : 45～16 : 10	宇宙航空研究開発機構・筑波宇宙センター	8
無 線 通 信 シ ス テ ム	20 日(木) 21 日(金)	9 : 00～18 : 15 9 : 00～17 : 20	北海道大学・札幌キャンパス・クラーク会館	14
ネ ッ ト ワ ー ク シ ス テ ム 光 通 信 シ ス テ ム フ ォ ト ニ ッ ク ネ ッ ト ワ ー ク	20 日(木) 21 日(金)	13 : 30～18 : 35 9 : 00～15 : 00	日本大学・工学部・郡山キャンパス	17
イ ン タ ー ネ ッ ト ア ー キ テ ク チ ャ 情 報 通 信 シ ス テ ム セ キ ュ リ テ ィ	20 日(木) 21 日(金)	13 : 40～17 : 15 10 : 15～14 : 55	アオーレ長岡	19
情 報 ネ ッ ト ワ ー ク	20 日(木) 21 日(金)	14 : 00～17 : 00 10 : 00～14 : 40	福井大学・文京キャンパス・アカデミーホール	21
環 境 電 磁 工 学	21 日(金)	9 : 30～17 : 40	京都大学・吉田キャンパス・工学部電気総合館	22
6 月休会の研究会：衛星通信, 通信方式, 電子通信エネルギー技術, コミュニケーションクオリティ, 光ファイバ応用技術, 情報通信マネジメント, モバイルネットワークとアプリケーション, ソフトウェア無線, 知的環境とセンサネットワーク				

### ◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
電 磁 界 理 論	14 日(金)	10 : 00～16 : 20	日本大学・理工学部・駿河台校舎	6
シ リ コ ン 材 料 ・ デ バ イ ス	18 日(火)	9 : 00～17 : 45	機械振興会館	8
機 構 デ バ イ ス 電 子 部 品 ・ 材 料 有 機 エ レ ク ト ロ ニ ク ス 光 エ レ ク ト ロ ニ ク ス レ ー ザ ・ 量 子 エ レ ク ト ロ ニ ク ス	21 日(金)	9 : 00～17 : 20	機械振興会館	9
集 積 回 路	7 月 4 日(木) 5 日(金)	9 : 30～18 : 30 9 : 15～18 : 30	サン・リフレ函館	16
磁 気 記 録 ・ 情 報 ス ト レ ー ジ	21 日(金)	(未定)	東北大学	18
マ イ ク ロ 波	27 日(木) 28 日(金)	11 : 00～16 : 35 9 : 00～14 : 45	名古屋工業大学	20
エレクトロニクス材料デバイスサマーミーティング (9 ページ)				
6 月休会の研究会：超伝導エレクトロニクス, 電子ディスプレイ, 電子デバイス, 集積回路, エレクトロニクスシミュレーション, マイクロ波・ミリ波フォトニクス				

◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日時		会場	告頁
パターン認識・メディア理解	10日(月) 11日(火)	13:00~17:30 10:00~16:30	NTT・武蔵野研究開発センタ	4
クラウドネットワークロボット	14日(金)	13:00~16:30	慶應義塾大学・日吉キャンパス・来往舎	6
言語理解とコミュニケーション 思考と言語	14日(金) 15日(土)	14:30~18:10 9:00~12:05	筑波大学・春日地区	6
サービスコンピューティング	17日(月)	13:00~17:40	国立情報学研究所	7
ディペンダブルコンピューティング	21日(金)	13:45~16:30	機械振興会館	11
データ工学	22日(土)	9:30~18:00	青山学院アスタジオ	11
人工知能と知識処理	7月4日(木)	9:30~17:25	早稲田大学・西早稲田キャンパス	13
MEとバイオサイバネティクス	21日(金)	9:30~15:10	北海道大学・情報科学研究科	15
音声 福祉情報工学	13日(木) 14日(金)	10:30~18:00 9:45~17:00	新潟大学・駅南キャンパス・ときめいと	18
情報通信システムセキュリティ インターネットアーキテクチャ	20日(木) 21日(金)	13:40~17:15 10:15~14:55	アオーレ長岡	19
教育工学	22日(土)	13:30~17:00	南山大学・名古屋キャンパス	20
コンピュータシオン	24日(月)	10:00~16:20	奈良女子大学	23
ニューロコンピューティング	27日(木) 28日(金)	13:40~17:00 9:30~18:20	沖縄科学技術大学院大学	23
6月休会の研究会；ライフインテリジェンスとオフィス情報システム，画像工学，コンピュータシステム，人工知能と知識処理，ソフトウェアサイエンス，知能ソフトウェア工学，医用画像，ソフトウェアインタプライズモデリング，リコンフィギャラブルシステム，情報論的学習理論と機械学習，マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント				

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

研究会名	日時		会場	告頁
マルチメディア・仮想環境基礎	25日(火) 26日(水)	13:15~17:05 10:00~14:40	東京大学・本郷キャンパス・山上会館	12
福祉情報工学 音声	13日(木) 14日(金)	10:30~18:00 9:45~17:00	新潟大学・駅南キャンパス・ときめいと	18
6月休会の研究会；ヒューマンコミュニケーション基礎，ヒューマン情報処理				

◇第二種研究会開催案内

第24回サイバーワールド(CW)研究会	6月7日(金)	国土交通省・国土技術政策総合研究所	24
第3回安全・安心な生活のための情報通信システム(ICSSSL)研究会	6月13日(木)，14日(金)	芝浦工業大学・豊洲キャンパス	25
次世代ナノ技術に関する時限研究専門委員会主催研究会	6月21日(金)	機械振興会館	25
光応用電磁界計測(PEM)時限研究専門委員会第4回研究会	6月28日(金)	北海道大学・大学院・情報科学研究科	26
Workshop(OECC/PS2013):Future perspective of photonic transport network	6月30日(日)	国立京都国際会館	26
第51回機能集積情報システム研究会	7月5日(金)	桐生市市民文化会館	27

◇第二種研究会発表募集案内

2013年度第2回ネットワークソフトウェア研究会	7月26日(金)	芝浦工業大学・豊洲キャンパス	27
--------------------------	----------	----------------	----

## ★パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)

専門委員長 鷲見和彦 副委員長 柏野邦夫・黄瀬浩一  
幹事 田中 宏・堀田政二 幹事補佐 島田敬士・井尻善久

日時 6月10日(月) 13:00~17:30  
11日(火) 10:00~16:30

会場 NTT 武蔵野研究開発センタプレゼンテーションホール  
(武蔵野市緑町3-9-11. JR中央線:三鷹駅北口よりバス(1番  
バス乗場)「北裏」か「武蔵閼」か「田無橋場」行に乗車、「武  
蔵野市役所前」にて下車,徒歩5分。(4番バス乗場)「NTT  
武蔵野研究開発センタ」行に乗車,「NTT 武蔵野研究開発セン  
タ」にて下車.西武新宿線:東伏見駅南口より徒歩15分.  
タクシー:JR三鷹駅より約15分. [http://www.ntt.co.jp/in  
lab/access/](http://www.ntt.co.jp/inlab/access/) 宮川 勲)

議題 一人称ビジョン, セキュリティとプライバシーの確保, 産  
学共同研究紹介

### 10日 一般セッション1

1. 非剛体画像位置合わせ法により得られる経時的差分像からの  
結節状候補陰影の検出 池田由利子(吉川工業)・時佐拓弥・  
前田真也・○金 亨燮・タン ジュークイ・石川聖二(九工大)
2. 映像データにおける局所特徴のバースト性を考慮したトピック  
モデリング ○謝 洋・江口浩二(神戸大)
3. 最適型フレージャーウィルコックス錯視の色に対する動きの知  
覚の影響 ○本郷香織・守田 了(山口大)

### 特別講演1

4. [招待講演] センシングで得られるプライバシー情報の保護  
と活用 馬場口 登(阪大)

### 一般セッション2

5. 文書のレイアウト特徴に基づく文書画像トラッキング  
○茂木厚憲・鈴木源太・村瀬太一・松田高弘(富士通研)
6. データ対の直線性に基づく画像上の類似度の定義—歪曲画像  
からの直線検出への応用— ○日野英逸(筑波大)・  
藤木 淳(福岡大)・赤穂昭太郎(産総研)・望月義彦・  
村田 昇(早大)
7. 加速度及びジャイロセンサーを用いた個人識別の検討  
○片桐章宏・中川竜太・長濱克昌・嶋田敬士(旭化成)

### 11日午前 一般セッション3

1. PRNU ノイズを利用した拡大縮小画像に対する撮影カメラ識  
別手法 ○伊藤雄哉・富岡洋一・北澤仁志(東京農工大)
2. 移動物体のマスクによる監視カメラ映像のプライバシー  
保護手法における日照・照明変動への対応手法 ○村上 光・  
富岡洋一・北澤仁志(東京農工大)
3. 視線運動解析による興味アスペクトの推定 ○下西 慶・  
川嶋宏彰・米谷 竜・松山隆司(京大)

4. 低解像度人体画像の学習型超解像に関する検討  
○西堀研人(名大)・高橋友和(岐阜聖徳学園大)・出口大輔・  
井手一郎・村瀬 洋(名大)

### 11日午後 特別講演2(13:15~)

5. [特別講演] ウェアラブルカメラによる一人称ビジョン  
塚本昌彦(神戸大)

### 一般セッション4

6. Inside-Out カメラからの3次元 Scan path とシーン構造の復  
元 後藤祐斗・○藤吉弘亘(中部大)
7. 対象物に依存しない画素の系列モデルを用いた時空間連続

DPによる動き認識 ○新妻佑記・鳥居駿平・矢口勇一・  
岡 隆一(会津大)

8. 移動するカメラによる動画像からの動作のスポッティング認  
識 ○鳥居駿平・新妻佑記・矢口勇一・岡 隆一(会津大)

9. 輝度値の分布と情報量を用いた画像貼り合わせの評価  
○松井研太・近藤一晃・小泉敬寛・中村裕一(京大)

☆PRMU 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日  
9月2日(月), 3日(火) 鳥取大[6月18日(火)] テーマ:  
機械学習と視覚情報処理の接点, 及び, 社会テーマ:ハイリ  
スク作業

人間は情報の約8割を視覚から得ていると言われており, 視線  
計測・推定などの視線センシングや視覚的顕著性・誘目性などの  
視覚的注意に関する研究が盛んに行われています. 近年では人間の  
行動認識・意図理解にとどまらず, 自動車運転などの作業支援  
や高齢者福祉を応用の場として視線情報の活用が更に注目を集め  
ています. センシング技術の向上により視線の獲得が容易になる  
につれて, こうした応用の場面でも機械学習的なアプローチが用  
いられることが多くなりつつあります. しかし, 個人差やデータ  
の信頼性など視線情報に顕著な課題も抱えており, 視線データの  
性質をより積極的に利用するための手法が望まれています.

このような背景のもと, PRMU 研究会と IBISML 研究会では,  
情報処理学会 CVIM 研究会と連催で, テーマセッション「機械  
学習と視覚情報処理の接点」を企画しました. このテーマセッ  
ションでは, コンピュータビジョンやパターン認識だけでなく,  
視線・視覚的顕著性推定やその応用におけるニーズ, 及び, ロバ  
スト学習やリスク考慮学習などの機械学習分野におけるシーズの  
交流を促進すべく, これらのテーマに関する基礎研究, 要素技  
術, 及び, 応用研究に関する発表を広く募集します.

ところで, 東日本大震災から2年以上が経過しましたが, いま  
だ復興は道半ばです. そこで社会課題テーマとして, 震災復興の  
一つの側面であるハイリスク作業支援に関する講演を企画し, こ  
れに関連する研究発表も同時に募集します.

なお, 上記のテーマセッションに加えて一般セッションも開催  
します. 研究会の枠を越えた議論の場として御活用頂けましたら  
幸いです.

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

### 【問合せ先】

PRMU 研究会幹事  
E-mail: prmu-kanji@mail.ieice.org

## ★アンテナ・伝播研究会 (A・P)

専門委員長 新井宏之 副委員長 長 敬三  
幹事 高橋 徹・榊原久二男 幹事補佐 道下尚文

日時 6月13日(木) 13:00~16:55  
14日(金) 9:00~12:00

会場 機械振興会館地下3階研修1号室(港区芝公園3-5-8. 東  
京メトロ日比谷線:神谷町駅下車徒歩10分, JR:浜松町駅下  
車徒歩20分, 都営地下鉄三田線:御成門駅・大江戸線:赤羽  
橋駅下車徒歩10分. [http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map\\_kaikan.htm](http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map_kaikan.htm) TEL [03] 3434-8211)

議題 電波伝搬, 一般

### 13日

1. 見通し内環境におけるピラミッド型アレーアンテナを用いた

2次元 DOA 推定に関する実験的検討 ○堀 裕介・  
土居勇輝・守屋裕樹・市毛弘一・新井宏之(横浜国大)・  
松野宏己・林 高弘・中野雅之(KDDI 研)

2. Massive MIMO OFDM システムにおけるパイロットデザイン  
と伝送特性評価 ○工藤理一(NTT)・  
サイモン アーマー・ジョー マギーアン(アトラス大)・  
溝口匡人(NTT)

オーガナイズドセッション「次世代の無線通信を担う電波伝搬の  
研究」I

3. ITS 車車間通信シミュレーションシナリオにおける伝搬モデ  
ル ○吉田亮路・岩井誠人・笹岡秀一(同志社大)

4. 移動時における MIMO チャネル特性—空間相関とチャネル  
容量の関係— ○朝岡翔平(千葉工大)・  
永島 拓(前千葉工大)・中林寛暁(千葉工大)・  
小園 茂(前千葉工大)

5. 市街地スモールセル環境における空間 MIMO と偏波 MIMO  
特性比較 ○齋藤健太郎・今井哲朗・北尾光司郎・  
奥村幸彦(NTT ドコモ)

IEEE Fellow 受賞記念 IEEE AP-S Japan Chapter 特別講演

6. [特別講演] 移動体通信用アンテナの開発と評価, その変遷  
と今後(口頭発表) 新井宏之(横浜国大)

14日 オーガナイズドセッション「次世代の無線通信を担う電  
波伝搬の研究」II

1. [チュートリアル講演] 多重波伝搬路の移動無線チャネル化  
に挑む ○小園 茂(前千葉工大)・中林寛暁(千葉工大)

2. 住宅地低層—低層環境における建物上伝搬経路の到来波分布  
特性 ○佐々木元晴・北 直樹・山田 渉・杉山隆利(NTT)

3. 見通し内マイクロセル環境における 3D ビームフォーミング  
の性能評価のための基地局側垂直方向チャネル特性の実験的検  
討 ○北尾光司郎・今井哲朗・齋藤健太郎・  
奥村幸彦(NTT ドコモ)

A・P 研

4. IM 源装荷アンテナの周波数依存性に関する実験的考察  
○森田久美子・高田耕平・久我宣裕(横浜国大)

5. FDTD 法を用いた周期構造体の斜め入射散乱特性解析  
小川和来・○有馬卓司・榊山祐次郎・宇野 亨(東京農工大)

6. 方形同軸線路給電平行平板スロットアンテナの設計と測定  
○中道 一・佐野 誠・広川二郎・安藤 真(東工大)・  
佐々木克守・大島一郎(電気興業)

◆IEEE AP-S Japan Chapter, URSI-F 共催

○13日 15:25~15:55, AP 研功労賞・活性化貢献賞・奨励賞  
の表彰式を行います。

○懇親会を下記の要領で開催する予定ですので, 奮って御参加下  
さい。

日時: 6月13日(木) 研究会終了後

会場: 機械振興会館地下3階 B3-2

☆A・P 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

7月24日(水), 25日(木)(開催日変更) サン・リフレ函館  
〔締切済〕テーマ: 衛星通信, 一般

8月29日(木), 30日(金) ヴェルクよこすか〔6月10日  
(月)〕テーマ: メタマテリアル, 一般

9月12日(木), 13日(金) NHK 技研〔7月10日(水)〕  
テーマ: マイクロ波ミリ波, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

第一種研究会開催案内

榊原久二男(名工大)

E-mail: ap\_ac-secretary@mail.ieice.org

## ★信頼性研究会 (R)

専門委員長 木村光宏 副委員長 馬渡宏泰

幹事 安里 彰・岡村寛之

幹事補佐 田村信幸・マラット ザニケエフ

日時 6月14日(金) 13:30~15:10

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題 電子・電気機器の信頼性, 故障解析, 劣化診断, 信頼性一般

1. ジャンクション温度変化による LED の劣化診断

○角本雄一・村上和也・安達健二(東芝)

2. ネットワーク機器の TDR 法によるケーブル故障診断方式の  
検討 ○桑原 崇・明星慶洋(三菱電機)・  
齊藤成一(ソニー高専)

3. Black Swan Strategies for Performance Management of  
Large-Scale Clouds

Marat Zhanikeev (Kyushu Inst. of Tech.)

4. システムワークロードに基づいた最適チェックポイント配置  
土井優希・○土肥 正(広島大)

◆IEEE Reliability Society Japan Chapter 共催, 日本信頼性学会  
協賛

☆R 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

7月26日(金) 未定〔締切済〕テーマ: 信頼性理論, 通信  
ネットワークの信頼性, 信頼性一般

8月29日(木), 30日(金) サンリフレ函館 テーマ: 光部  
品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

田村信幸(法政大)

TEL [042] 387-6262, FAX [042] 387-6126

E-mail: tamura@hosei.ac.jp

## ★応用音響研究会 (EA)

専門委員長 岩谷幸雄 副委員長 三好正人・荻木禎史

幹事 戸上真人・水町光徳 幹事補佐 宮部滋樹

日時 6月14日(金) 13:00~16:20

会場 機械振興会館地下3階1号室

議題

1. [招待講演] 電場駆動型高分子を用いた軽量薄型スピーカの  
開発 ○杉本岳大・小野一穂(NHK)

2. [招待講演] 高次統計量追跡に基づくブライント信号抽出及  
びその高品質化 猿渡 洋(奈良先端大)

3. [招待講演] 高音質オーディオ符号化方式の開発と MPEG 標  
準化 ○野村俊之・杉山昭彦・岩垂正宏(NEC)

◆日本音響学会; 電気音響研究会共催

☆EA 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

7月18日(木), 19日(金) 北海道医療大〔締切済〕テ  
マ: 応用(電気)音響, 音楽音響, 聴覚, 一般

8月9日(金), 10日(土) 東北大〔未定〕テーマ: 音響信号  
処理, 聴覚, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

戸上真人 (日立中研)

TEL [042] 323-1111, FAX [042] 327-7823

E-mail: masahito.togami.fe@hitachi.com

## ★電磁界理論研究会 (EMT)

専門委員長 白井 宏 副委員長 佐藤源之

幹事 平山浩一・柴崎年彦 幹事補佐 中嶋徳正

日時 6月14日(金) 10:00~16:20

会場 日本大学理工学部駿河台校舎5号館2階524会議室(千代田区神田駿河台1-8-14。JR中央・総武線:御茶ノ水駅, 東京メトロ千代田線:新御茶ノ水駅, 東京メトロ丸の内線:御茶ノ水駅から徒歩3~5分。 <http://www.cst.nihon-u.ac.jp/information/surugadai.html>)

議題 電磁界理論一般

1. Maxwell方程式の問題点 高橋秀臣(城所数値解析耐雷研)
  2. 厚い導体平板内の方形開口に対する透過係数の計算  
○芹澤弘秀・萩野佑太郎(沼津高専)・本郷廣平
  3. 誘電体円柱とエアホール円柱で構成された誘電体導波路による伝搬特性とエネルギー分布—エアホール径の影響—  
○尾崎亮介・山崎恆樹(日大)
  4. ナノ粒子のクラスターの2次元周期配列からの光散乱の数値解析法 川野光則(ルネサンス・ソリューションズ)・○松田豊稔・小田川裕之(熊本高専)
  5. 二重クラッドと中空円形ピットを持つ偏波スプリッタの特性解析—構造パラメータによる消光比の感度について—  
○亀田和則(佐野短大)・古川慎一(日大)
- 午後(13:10~)
6. 任意屈折率分布を持つ光ファイバの分散特性 古川慎一・  
○鈴木祐介(日大)
  7. コンプレッシブ・センシングの地雷検知用GPRへの応用  
○カリナ リアフェーニ・佐藤源之(東北大)
  8. 周期境界条件を用いた2次元フォトニック結晶導波路の数値解析における精度改善 ○中武義将・渡辺仰基(福岡工大)
  9. 有限積分法に基づくDivergence保存型ADI-FDTDスキームの定式化 藤田和広(富士通)
  10. IDR(s)-based Iterative Progressive Numerical Methodの提案 中嶋徳正(福岡工大)・○藤野清次(九大)
  11. 表面レリーフ型回折格子による電磁波散乱問題に対する厳密結合波解析法に関する考察 渡辺仰基(福岡工大)
  12. Superfocusing of surface plasmon polaritons by metal-coated dielectric probe of tilted conical shape ○Ngo Thi Thu・Kazuo Tanaka・Masahiro Tanaka(岐阜大)

◆電気学会;電磁界理論技術委員会連催

◎研究会終了後に同会場にて、平成24年度学生優秀発表賞の表彰式及び懇親会を予定しています。奮って御参加下さい。

【問合先】

平山浩一(北見工大)

E-mail: emt-secretary@ns.ieice.org

## ★クラウドネットワークロボット研究会 (CNR)

専門委員長 萩田紀博 副委員長 土井美和子・今井倫太

幹事 宮下敬宏・神原誠之 幹事補佐 中尾敏康・坂本大介

日時 6月14日(金) 13:00~16:30

会場 慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎

議題 クラウドネットワークロボットの展開分野, 一般

1. [招待講演] 教え教えられる人工物構築のための認知科学  
開 一夫(東大)
  2. 自己紹介型インタフェースによる機能習得の手助け  
大澤博隆(筑波大)
  3. だれでもリモコン:携帯端末を活用した電化製品のための多言語対応インタフェース チャラ アキレディ(JST)・  
○坂本大介(東大)・稲見昌彦(慶大)・五十嵐健夫(東大)
  4. 触覚伝達は人とロボットに一体感をもたらすか?  
○金井祐輔(慶大)・大澤博隆(筑波大)・今井倫太(慶大)
  5. To point or not to point: How cloud intelligence can help make robots more polite ○Dylan F. Glas・Phoebe Liu・Takayuki Kanda(ATR)・Hiroshi Ishiguro(ATR/Osaka Univ.)・Norihiro Hagita(ATR)
  6. 高齢者の発話機会の増加を目的としたソーシャルメディア仲介ロボット—単体・複数台ロボットを利用したソーシャルメディア仲介実験— 高橋 達・○神原誠之(奈良先端大)・萩田紀博(奈良先端大/ATR)
  7. 車載機を利用した冠水エリア情報が高齢ドライバーに与える影響に関する検討—豪雨時におけるVICSを活用した冠水エリアのポリゴン表示と画像提示— ○小林祐介・大門 樹(慶大)・林 和光(VICSセンター)
  8. 運転者行動センシングに基づく運転特性分析  
○多田昌裕(近畿大/ATR)・野間春生(立命館大/ATR)・内海 章(ATR)・岡田昌也(静岡大)・蓮花一己(帝塚山大)
- ◎情報処理学会;ITS研究会併催

## ★思考と言語研究会 (TL)

専門委員長 阪井和男 副委員長 佐良木 昌・近藤公久

幹事 久保村千明・黒田 航 幹事補佐 乾 孝司

## ★言語理解とコミュニケーション研究会 (NLC)

専門委員長 山本和英 副委員長 竹内孔一・西崎博光

幹事 金山 博・大塚裕子 幹事補佐 橋本泰一・榊 剛史

日時 6月14日(金) 14:30~18:10

15日(土) 9:00~12:05

会場 筑波大学春日地区情報メディアユニオン2階メディアホール(つくば市天王台1-1-1。つくばエクスプレス:つくば駅から徒歩7分。 [http://www.tsukuba.ac.jp/access/map\\_kasuga.html](http://www.tsukuba.ac.jp/access/map_kasuga.html) TEL [029] 853-7601 乾 孝司)

議題 言語処理・言語分析の社会応用, 及び一般

14日 対話・音声

1. 談話分析によるハイパフォーマンスチームのイノベーションプロセスのモデル化—会社を超えた半年間の実践的人材育成研修後のアンケート分析— ○阪井和男・内藤 隆・森 憲一(明大)・森 貴子(サードステージ)・齊藤瑠璃子(明大)・中村雄一郎・中川貴之(日本儀礼協会)

- 複数人におけるクイズ対話を対象とした主観的難易度の推定  
大村 舞・○嶋田和孝 (九工大)
- 電子ノート作成支援システムで利用する音声からのキーワード検出技術  
○米倉千冬・太田晃平・古屋裕斗・西崎博光・関口芳廣 (山梨大)

#### テーマセッション (社会応用)

- 自然言語処理とマーケティング  
○谷田泰郎・馬場彩子・木虎直樹・ベルタン マチュー・徳見理絵・河本裕輔・藤井絵美子・久保征人・西尾義英・東 優・高椋琴美・増田茂樹・胡 寅駿 (シジマーケティング)
- エンターテイメントに関する調査とマイクロブログのひもづけ  
○藤井絵美子・マチュー ベルタン・胡 寅駿・谷田泰郎 (シジマーケティング)
- Q サンプル作成のための政策態度分析に関する研究  
○上甲和輝 (東工大)・小橋洋平 (筑波大)・坂野達郎 (東工大)
- お客様の声から本質的ニーズを把握する感性マーケティング  
伊地知克哉 (JMLA)

#### 15日 Web 分析

- 公式謝罪文を成り立たせているものは何か—韓国のウェブページ分析から—  
尹 智鉉 (日大)
- Twitter のツイートの末尾にある不読符号列の分析  
○中嶋邦裕・中山 昂・渡辺靖彦・岡田至弘 (龍谷大)
- 質問意図による QA サイト質問文の自動分類  
○林 秀治・山本和英 (長岡技科大)

#### 語意

- 用言等換言辞書を用いた換言結果の考察  
○吉倉孝太郎・山本和英 (長岡技科大)
- 伝達における「個」と「全体」のスキーマフランス語伝達動詞の実例分析—  
須藤佳子 (日大)
- 文書情報を用いた「気づき」支援システムの開発—語木による情報提示アプローチ—  
荒井豊文 (中京大)

○14日 16:15~16:20, NLC 研究賞表彰式を行います。

○プログラムは変更する可能性がありますので、最新情報は Web ページで御確認下さい。

<http://www.ieice.org/~nlc/wiki/>

### ★短距離無線通信研究会 (SRW)

専門委員長 加藤修三 副委員長 加藤正文・原田博司  
幹事 田野 哲・溝口匡人 幹事補佐 沢田浩和・藍 洲

日時 6月17日(月) 10:20~16:50

会場 富士通川崎工場本館 (川崎市中原区上小田中 4-1-1. JR 南武線:武蔵中原駅下車, 徒歩 1分. <http://jp.fujitsu.com/group/labs/facilities/kawasaki.html> TEL [044] 874-2459 加藤正文)

議題 WPAN, センサ関連技術, 一般

- [招待講演] ホワイトスペースにおける短距離無線通信に関する研究開発  
原田博司 (NICT)
- 複数の電流ループを利用した磁界分布制御の基本検討—短距離無線認証のために—  
○佐々木愛一郎・小笠原隆行・藤井考治・森村浩季・加々見 修 (NTT)
- ネットワーク ID を利用した干渉回避手法の検討  
○菊月達也・二宮照尚 (富士通研)

午後

第一種研究会開催案内

- ミリ波 WLAN におけるレイトレーシングを用いた人体によるシャドーイングの動的特性の検討  
○小野智史・梅比良正弘・武田茂樹・宮嶋照行・鹿子嶋憲一 (茨城大)
- 周波数協調無線システムにおけるマイクロ波帯信号の利用によるミリ波帯 WLAN 通信エリア推定法の検討  
○和田 翔・梅比良正弘・武田茂樹・宮嶋照行・鹿子嶋憲一 (茨城大)
- ベクトルネットワークアナライザを用いた 60 GHz 帯アップ及びダウンコンバータ用ハーモニック・ミキサの評価  
○藤原康平・小林丈士 (都立産技研センター)・柴垣信彦・羽生 広 (日立)

- [招待講演] ホワイトスペースの利活用に向けた総務省の取り組み  
鈴木健太郎 (総務省)
- [パネル討論] ホワイトスペースにおける短距離無線通信の実現可能性, 課題  
原田博司 (NICT)

☆SRW 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

8月19日(月) 芝浦工大 [6月19日(水)] テーマ: WLAN 関連技術, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

#### 【問合先】

沢田浩和 (NICT)

TEL [046] 847-5055, FAX [046] 847-5011

E-mail: [srw-sec@mail.ieice.org](mailto:srw-sec@mail.ieice.org)

### ★サービスコンピューティング研究会 (SC)

専門委員長 村上陽平 副委員長 石川冬樹・細野 繁  
幹事 田仲正弘・井垣 宏

日時 6月17日(月) 13:00~17:40

会場 国立情報学研究所 12F 会議室 (1208/1210) (千代田区一ツ橋 2-1-2. <http://www.nii.ac.jp/about/access/> TEL [03] 4212-2000 (会場) 横山重俊 (NII)・細野 繁 (NEC))

議題 [Web サービス及びクラウドの構築・運用・管理]及び一般セッション1: ビッグデータ・サイエンスクラウド

- [招待講演] ビッグデータ分析技術の最新動向  
田中一男 (NTT テク先端技術)
- NICT サイエンスクラウド: 広域分散型クラウドの基本性能と有効性の検証  
○村田健史・渡邊英伸 (NICT)・鶴川健太郎・村永和哉・鈴木 豊 (セック)・黒澤 隆 (日立)・木村映善 (愛媛大)・建部修見 (筑波大)・山本和憲・久保田康文・笠井康子 (NICT)・荻野竜樹 (名大)
- NICT サイエンスクラウド: 広域分散ファイルシステムのセキュリティ機能拡張  
○渡邊英伸・岩間 司・村田健史 (NICT)・鶴川健太郎・村永和哉・鈴木 豊 (セック)・木村映善 (愛媛大)・建部修見 (筑波大)
- NICT サイエンスクラウド: ビッグデータ分散処理性能検証  
○磯田総子 (サイエンスサービス)・村田健史・渡邊英伸 (NICT)・深沢圭一郎 (九大)・山本和憲・久保田康文 (NICT)・木村映善 (愛媛大)・建部修見・田中昌宏 (筑波大)・鶴川健太郎・村永和哉・鈴木 豊 (セック)

セッション2: サービスコンピューティング一般

- [招待講演] スマートデバイス向け AP 開発技術の最新動向  
小林茂憲 (NEC)
- Automatic Adaptation of Streaming Data for WebELS Meeting for Low Speed Internet

告 7

- Osamnia Mohamed (SOKENDAI) · Arjule John Berena (NII) · Sila Chunwijitra (SOKENDAI) · Hitoshi Okada · Haruki Ueno (NII) · Khiat Zekuia (USTO)
7. Experiences from Measuring Per-Packet Cost of Software Defined Networking  
Marat Zhanikeev (Kyushu Inst. of Tech.)
- セッション3: クラウド管理
8. 決定木を用いたクラウドインフラ設定パラメータの自動生成  
○内海哲哉 · 菊池慎司 · 松本安英 (富士通研)
9. プライベートクラウド監視ツールの開発に向けた一考察  
○谷沢智史 · 西村一彦 (e-ambition) · 長久 勝 · 横山重俊 · 吉岡信和 (NII)

- 壁谷悠希 (名大) · 大田晃生 (広島大) · 宮崎誠一 (名大)
11. Si 基板上への鉄酸化物ナノドットのエピタキシャル成長とその電子状態測定  
石部貴史 · 中村芳明 · 松井秀紀 · 竹内正太郎 · 酒井 朗 (阪大)
12. シリコン酸化膜中に埋め込んだバイオナノ粒子の抵抗変化メモリ効果  
○上沼陸典 · 岡本尚文 · 山下一郎 · 浦岡行治 (奈良先端大)
13. SiO<sub>x</sub>/TiO<sub>2</sub> 積層した MIM ダイオードにおける抵抗変化特性評価  
○大田晃生 (広島大) · 福嶋太紀 · 牧原克典 (名大) · 村上秀樹 · 東 清一郎 (広島大) · 宮崎誠一 (名大)
14. SiC を用いた電界誘起抵抗変化型不揮発性メモリ  
○須田良幸 · 小松辰実 · 山口信雄 · 佐藤彦彦 · 山田有季乃 · 山下敦史 (東京農工大)

#### SiC-MOS ゲートスタック技術の進展

15. [依頼講演] POCl<sub>3</sub> アニールによる SiC-MOS デバイスの高性能化  
○矢野裕司 · 畑山智亮 · 冬木 隆 (奈良先端大)
16. [依頼講演] SiC パワー MOSFET 向け高誘電率ゲート絶縁膜技術  
○細井卓治 (阪大) · 東雲秀司 · 柏木勇作 · 保坂重敏 (東京エレクトロ) · 中村亮太 · 中野佑紀 · 浅原浩和 · 中村 孝 (ロム) · 木本恒暢 (京大) · 志村考功 · 渡部平司 (阪大)
17. [依頼講演] SiC-MOS ゲート構造の高信頼性化  
先崎純寿 (産総研)
18. [依頼講演] 熱酸化 SiC-MOS デバイス中の可動イオンの異常生成と特性改善技術  
○渡部平司 · チャンタパン アタウット (阪大) · 中野佑紀 · 中村 孝 (ロム) · 細井卓治 · 志村考功 (阪大)
19. [依頼講演] SiC 酸化メカニズム解明への試み—Si 酸化との共通点/異なる点—  
○土方泰斗 · 八木修平 · 矢口裕之 (埼玉大)
20. [依頼講演] FTIR-ATR スペクトルによる 4H-SiC と熱酸化膜の界面構造の解析  
○喜多浩之 (東大/JST) · 平井悠久 (東大)
21. [依頼講演] 4H-SiC MOS 界面の電子スピン共鳴分光評価  
○梅田享英 (筑波大) · 岡本光央 · 小杉亮治 · 原田信介 (産総研) · 荒井 亮 · 佐藤嘉洋 (筑波大) · 牧野高紘 · 大島 武 (原子力機構) · 奥村 元 (産総研)

◆応用物理学会; シリコンテクノロジー分科会共催

◎今回、参加希望者が少ないため、懇親会は開催致しません。

☆SDM 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

8月1日(木), 2日(金) 金沢大角間キャンパス [締切済]  
テーマ: 低電圧/低消費電力技術, 新デバイス・回路とその応用

#### 【問合先】

野村晋太郎 (筑波大)

E-mail: snomura@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

#### ★宇宙・航行エレクトロニクス研究会 (SANE)

専門委員長 齋藤宏文 副委員長 福島荘之介

幹事 辻 政信 · 灘井章嗣 幹事補佐 木寺正平

日時 6月20日(木) 10:45~16:50

21日(金) 10:45~16:10

会場 宇宙航空研究開発機構筑波宇宙センター総合開発推進棟2階中会議室(つくば市千現2-1-1, つくばエクスプレス線: つくば駅下車, タクシー(約10分), または関鉄バス「荒川沖

#### ★シリコン材料・デバイス研究会 (SDM)

専門委員長 奈良英雄 副委員長 大野裕三

幹事 笹子佳孝 幹事補佐 黒田理人

日時 6月18日(火) 9:00~17:45

会場 機械振興会館地下3階研修2号室

議題 ゲート絶縁薄膜, 容量膜, 機能膜及びメモリ技術

高誘電率膜, 界面制御, メモリ技術

1. 酸化剤分圧及びSi拡散の制御によるPr酸化膜結晶構造制御  
○加藤公彦 · 坂下満男 · 竹内和歌奈 · 田岡紀之 · 中塚 理 · 財満鎮明 (名大)
2. テトラエトキシゲルマニウムによる極薄 GeO<sub>2</sub> 膜の形成  
○吉田鉄兵 · 加藤公彦 · 柴山茂久 · 坂下満男 · 田岡紀之 · 竹内和歌奈 · 中塚 理 · 財満鎮明 (名大)
3. Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>/Ge 構造における酸化機構の解明と界面反応がその特性に及ぼす影響  
○柴山茂久 · 加藤公彦 · 坂下満男 · 竹内和歌奈 · 田岡紀之 · 中塚 理 · 財満鎮明 (名大)
4. Metal/High-k/Ge ゲートスタックにおけるジャーマナイド形成とその電気特性への影響  
○細井卓治 · 秀島伊織 · 箕浦佑也 · 田中亮平 (阪大) · 吉越章隆 · 寺岡有殿 (原子力機構) · 志村考功 · 渡部平司 (阪大)
5. HfO<sub>2</sub>/Ge 界面へのルチル型 TiO<sub>2</sub> 挿入による GeO<sub>x</sub> 生成の抑制  
○小橋和義 (明大) · 長田貴弘 · 生田目俊秀 · 山下良之 (物質・材料研究機構) · 小椋厚志 (明大) · 知京豊裕 (物質・材料研究機構)
6. ゲートスタックへの Hf 導入によるメタル・ソース/ドレイン Ge p-MOSFET の高移動度化  
○山本圭介 · 佐田隆宏 · 王 冬 · 中島 寛 (九大)
7. Impact of metal gate electrodes on electrical properties of InGaAs MOS gate stacks  
○Chih-Yu Chang · Masafumi Yokoyama · Sang-Hyeon Kim (Univ. of Tokyo) · Osamu Ichikawa · Takenori Osada · Masahiko Hata (Sumitomo Chemical) · Mitsuru Takenaka · Shinichi Takagi (Univ. of Tokyo)
8. Fe<sub>3</sub>Si/Ge の界面構造による SBH とスピン電流の変調: 第一原理計算による理論的検討  
小日向恭祐 (千葉大)
9. Guideline of MONOS Memory as a Long Lifespan Archive Memory  
○Hiroyuki Shirakawa · Keita Yamaguchi · Katsumasa Kamiya · Kenji Shiraishi (Univ. of Tsukuba)
- 午後 (13:15~)
10. リモート H<sub>2</sub> プラズマ支援による CoPt ナノドットの高密度形成と帯電・帯磁特性評価  
○牧原克典 · 福岡 諒 · 張 海 ·



駅」行き「物質研究所」下車徒歩1分。または、JR常磐線：荒川沖駅下車，つくばセンター方面バスで宇宙センター前下車。http://www.jaxa.jp/about/centers/tksc/traffic\_j.html  
TEL〔050〕3362-7646 辻 政信)

#### 議題 宇宙応用シンポジウム

##### 20日午前

1. 陸域観測技術衛星2号 (ALOS-2) 搭載Lバンド合成開口レーダ (PALSAR-2) の開発状況 ○勘角幸弘・大澤右二・鈴木新一 (JAXA)
2. 100 Kg級の衛星に搭載可能なマイクロ波合成開口レーダ ○齋藤宏文 (JAXA)・ヨサファット テトオコ スリ スマンティヨ・プリランド リスキ アクバル (千葉大)・大谷 崇・西城邦俊 (JAXA)・広川次郎・安藤 真 (東工大)・富木淳史 (JAXA)
3. 地球観測衛星用Ka帯高速データ伝送システムの検討—LDPC符号, VCM/ACMの検討— ○田島成将・稲岡和也・荒木智宏・島田政明・谷島正信 (JAXA)

##### 20日午後

4. 超低高度衛星の今後の展開 ○此上一也・今村俊介・佐藤洋平・川崎春夫・高畑博樹 (JAXA)
5. [招待講演] 天文学におけるイメージング技術 岡村定矩 (法政大)
6. GCOM-W1/AMSR2の運用状況と初期軌道上性能 ○笠原希仁・佐々木俊崇・伊藤徳政・空野正明 (JAXA)
7. AMSR2輝度温度プロダクトの評価 ○今岡啓治・前田 崇・奥山 新・笠原希仁 (JAXA)
8. AMSR-E・MODIS・AVNIR-2を用いた凍土域における積雪推定手法の考案 ○筒井浩行・小池俊雄 (東大)
9. EarthCARE/CPRの開発と検証準備 ○岡田和之・富田英一・木村俊義・中塚大貴・會田芳久・関 義広・飯出芳弥・門崎 学 (JAXA)
10. 陸面データ同化手法を用いたカンボジアにおける土壌水分推定手法の検討 ○玉川勝徳・小池俊雄・モハメド ラスミー・辻本久美子・会田健太郎 (東大)

##### 21日午前

1. 小型科学衛星を用いた長距離無線送電技術実証実験の検討 ○田中孝治・牧 謙一郎・富木淳史・佐々木 進・上土井大助・牧野克省・池田 人・藤田辰人・後藤大亮・大橋一夫 (JAXA)・SPS WG (ISAS/JAXA)
2. 宇宙太陽光発電システム用発電一体型パネルの試作試験 ○安達信雄 (アルモテック)・上土井大助・牧野克省 (JAXA)
3. 宇宙機搭載リチウムイオン電池の開発状況 川瀬 誠・○内藤 均・小島哲也・舛分宏昌 (JAXA)

##### 21日午後

4. A-Trainからの雲観測 ○中島 孝・永尾 隆 (東海大)
5. [特別講演] ソーラー電力セイルによるトロヤ群小惑星探査 ○森 治 (JAXA)・船瀬 龍 (東大)・白澤洋次・津田雄一・佐伯孝尚・松浦周二・矢野 創 (JAXA)・中村良介 (産総研)・米徳大輔 (金沢大)
6. 小型観測衛星の技術的課題 前田惟裕 (東大)
7. SDS-4システムの開発と運用成果 ○森下拓往・井上浩一・中村揚介・大谷 崇 (JAXA)
8. SDS-4搭載平板型ヒートパイプの開発と軌道上実証成果 ○安藤麻紀子・岡本 篤・前田真克・杉田寛之 (JAXA)
9. スプーフィングを対象とした民生用衛星測位システムの脆弱

性軽減方法の開発 ○千野孝一・ディネス マナンダ・柴崎亮介 (東大)

#### ◆IEEE AES Society Japan Chapter 共催

◎仮プログラムとなりますので、最新のプログラムは以下のホームページで御確認下さい。

http://www.ieice.org/cs/sane/jpn/program.html

☆SANE研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

7月26日(金) 電子航法研〔締切済〕テーマ：航法・交通管制及び一般

8月23日(金) 新潟大ときめいと〔6月14日(金)〕テーマ：環境計測及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

#### 【問合先】

富木淳史 (JAXA)

TEL〔050〕3362-6575 E-mail: tomiki.atsushi@jaxa.jp

灘井章嗣 (NICT)

TEL〔042〕327-6496 E-mail: nandai@nict.go.jp

#### エレクトロニクスサイエティ 材料デバイスサマーミーティングのお知らせ

エレクトロニクスサイエティ (ES) では6月21日 (金)、機械振興会館において材料デバイスサマーミーティングを開催します。これは、以前から続けてまいりました「材料・デバイス連合講演会」を発展させたものです。材料・デバイス分野の研究者が一堂に会して有益な意見交換ができる場を提供することが目的の一つです。

今年度も、昨年度と同様に、7つの研究会が参加します。(5つの第一種研究会に加えて、集積光デバイスと応用技術時限研究会、次世代ナノ技術時限研究会が参加します。)

また、午後の冒頭には東京大学生産技術研究所桜井貴康教授による特別講演「集積エレクトロニクスの新たな展開」の開催 (地下3階研修2号室, 13:00~13:50) を予定しております。

多数の方に参加して頂けるよう以下に御案内申し上げます。

#### ★機構デバイス研究会 (EMD)

専門委員長 長谷川 誠 副委員長 関川純哉・久我宣裕  
幹事 服部康弘・阿部宜輝 幹事補佐 上野貴博

#### ★電子部品・材料研究会 (CPM)

専門委員長 高野 泰 副委員長 野毛 悟  
幹事 圓佛見次・佐藤知正 幹事補佐 小館淳一・岩田展幸

#### ★有機エレクトロニクス研究会 (OME)

専門委員長 加藤景三 副委員長 松田直樹  
幹事 森 竜雄・瀧本 清 幹事補佐 鴻野晃洋・井上振一郎

#### ★光エレクトロニクス研究会 (OPE)

専門委員長 山田博仁 副委員長 鈴木扇太  
幹事 橋本俊和 幹事補佐 荒川太郎・中川剛二

#### ★レーザ・量子エレクトロニクス研究会 (LQE)

専門委員長 松尾慎治 副委員長 近藤正彦  
幹事 田中 有・有賀 博

日時 6月21日(金) 9:00~17:20

会場 機械振興会館地下3階2号室, 研修2号室

議題 材料デバイスサマーミーティング

セッション1(地下3階2号室9:00~17:20)(機構デバイス/  
電子部品・材料/有機エレクトロニクス)

有機エレクトロニクス, 電子部品・材料

1. 電界誘起 SHG 法による積層型有機薄膜太陽電池の内部電界の測定 ○住吉良太・田口 大・間中孝彰・岩本光正(東工大)
2. 時間分解 EFISHG 法による有機半導体薄膜における移動度異方性の直接評価 ○安部健太郎・間中孝彰・岩本光正(東工大)
3. 感光性スピコート膜を用いたパターン形成とデバイス応用 加藤大智・田中邦明・○白井博明(東京農工大)
4. 有限要素解析による有機トランジスタのフレキシブル特性予測 ○酒井正俊・山崎陽太・山口祥平・林 潤郎・工藤一浩(千葉大)
5. 横方向電界放出型発光デバイスの多色化 ○三浦 悠・佐藤知正・平手孝士(神奈川大)
6. 化学気相成長法による単層カーボンナノチューブの配向制御とカイラリティ制御 ○相良拓実・津田悠作・吉田圭佑(日大)・石井宏治・矢島博文(東京理科大)・岩田展幸・山本 寛(日大)
7. 電極間に架橋した C60 ウィスカーの電気特性 ○榎田克矢・岩田展幸・山本 寛(日大)
8. 溶液成長法により作製した PbS 薄膜の成長速度と光導電効果 ○摩須大輝・高野 泰(静岡大)

午後 特別招待講演(研修2号室)

9. [特別講演] 集積エレクトロニクスの新たな展開 桜井貴康(東大)

機構デバイス, 電子部品・材料(2号室)

10. 2次元デバイスシミュレータを用いた車輪・レール接触部の微細構造の推定 遠山 喬(鉄道総研)
  11. Ag 及び AgSnO<sub>2</sub> 接点の分離アーク継続時間に対する接点分離速度の影響に関する実験的検討 長谷川 誠(千歳科大)
  12. タッピング・デバイスによる電気接点の劣化現象—タッピング・デバイスの試作(4)— ○和田真一・越田圭治・竹田弘毅・柳 国男・久保田洋彰(TMCシステム)・久我宣裕(横浜国大)・澤 孝一郎(日本工大)
  13. LSI 実装のためのマイクロスプリングアレイの作製条件に関する基礎検討 ○兼城千波・岸本享太(沖縄高専)
  14. 強磁性(FM)金属/c-, r-Cr<sub>2</sub>O<sub>3</sub> 積層膜による結晶構造解析と磁気特性 ○黒田卓司・中村拓未・岩田展幸・山本 寛(日大)
  15. LiNbO<sub>3</sub> 基板上における Cr<sub>2</sub>O<sub>3</sub> 薄膜の結晶成長 ○中村拓未・黒田卓司・岩田展幸・山本 寛(日大)
  16. CuO 及び ZnO 薄膜の溶液成長と pn ヘテロ接合形成 ○寺迫智昭・村上聡宏・北峯誠之(愛媛大)・矢木正和(香川高専)・白方 祥(愛媛大)
  17. 触媒反応生成高エネルギー H<sub>2</sub>O を用いて堆積した ZnO 膜への N<sub>2</sub>O 添加効果 ○山口直也・大橋優樹・永富瑛智・玉山泰宏・安井寛治(長岡技科大)
  18. 触媒反応生成高エネルギー H<sub>2</sub>O を用いてガラス基板上に堆積した ZnO 膜への低温バッファ層挿入効果 ○竹澤和樹・中村友紀・小柳貴寛・加藤孝弘(長岡技科大)・片桐裕則・大石耕一郎・神保和夫(長岡高専)・安井寛治(長岡技科大)
- セッション2(地下3階研修2号室10:30~17:05)(光エレクトロニクス/レーザ・量子エレクトロニクス/集積光デバイスと応用技術(協賛) レーザー学会(協賛))

トロニクス/レーザ・量子エレクトロニクス/集積光デバイスと応用技術(協賛) レーザー学会(協賛)

アクティブデバイスと集積化技術, 一般

1. 300 mm 基板上に ArF 液浸リソグラフィを用いて作製したシリコンフォトニクスデバイス ○北 智洋・田主裕一朗・奈良匡樹・平野 秀(東北大)・外山宗博・関 三好・越野圭二・横山信幸・大塚 実・杉山曜宣・石塚栄一・佐野 作・堀川 剛(産総研)・山田博仁(東北大)
2. Super-high resolution beam steering based on Bragg reflector waveguides ○顧 晔冬・島田敏和・松谷晃宏・小山二三夫(東工大)
3. 直接貼付 InP テンプレートをを用いた異種基板上 MOVPE 結晶成長 ○松本恵一・張 きんきん・金谷佳則・下村和彦(上智大)

午後

4. [特別講演] 集積エレクトロニクスの新たな展開 桜井貴康(東大)
5. GaAs 基板上メタモルフィック InAlAs による MSM 型光検出器の GHz 応答 ○前北和晃・丸山武男・飯山宏一(金沢大)・鈴木寿一(北陸先端大)
6. 100 Gb/s 小型コヒーレントレシーバ向け InP 系 90° ハイブリッド集積型 pin-PD の高感度・広帯域動作 ○八木英樹・井上尚子・大西 裕・増山竜二・勝山智和・菊地健彦・立岩義弘・米田昌博・武智 勝・小路 元(住友電工)
7. 65-nm CMOS-IC 直接駆動による線形加速器型縦列電極構造 InP MZ 光変調器の低電力多値光変調 ○山瀬知行・佐藤峰斗・野口栄実・佐藤健二・加藤友章(NEC)
8. Push-Pull Modulation of Transverse Coupled-Cavity VCSELs ○Hamed Dalir・Fumio Koyama(Tokyo Inst. of Tech.)
9. 非対称周期変調型回折格子を有する 1.3 μm 帯 DFB レーザにおける 28 Gbps 高マスクマージン直接変調動作 ○若山雄貴・中原宏治・比留間健之・北谷 健・篠田和典(日立)・深町俊彦・佐久間 康(日本ナテロ)・田中滋久(日立)
10. 高速高精度波長切替を実現する狭間隔波長分布活性 DFB レーザアレイの開発 ○金井拓也・布谷伸浩・山中孝之・伊賀龍三・下小園 真・石井啓之(NTT)
11. シリコン CWDM 光送信器に向けた 4 波長シリコンハイブリッドレーザアレイ ○田中信介・鄭 錫煥・関口茂昭・秋山知之・倉橋輝雄・田中 有・森戸 健(光電子融合基盤技研/富士通研)

☆EMD 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

7月12日(金) 機械振興会館(締切済) テーマ:放電, 実装, EMC, 一般

8月29日(木), 30日(金) サンリフレ函館 テーマ:光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般

【問合先】

関川純哉(静岡大)

TEL & FAX [053] 478-1618

E-mail: tjsekik@ipc.shizuoka.ac.jp

久我宣裕(横浜国大)

TEL & FAX [045] 339-4279

E-mail: kuga@ynu.ac.jp

服部康弘(住友電装)

TEL [059] 382-8634, FAX [059] 382-8591

E-mail: yasuihiro-hattori@gate.sws.co.jp

阿部宜輝 (NTT フォトニクス研究所)

TEL [046] 240-2262, FAX [046] 270-6421

E-mail : abe.yoshiteru@lab.ntt.co.jp

◎EMD 研究会に関する最新の情報は、<http://www.ieice.org/es/emd/jpn/>を御参照下さい。

☆CPM 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

8月29日(木), 30日(金) サンリフレ函館 テーマ: 光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般

☆OME 研究会

【問合せ先】

松田直樹 (産総研)

E-mail : naoki.matsuda@aist.go.jp

中村二郎 (NTT)

E-mail : jnaka@aetl.ntt.co.jp

☆OPE 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

7月18日(木), 19日(金) 稚内総合文化センター [締切済]  
テーマ: マイクロ波フォトニクス技術, 一般

8月29日(木), 30日(金) サンリフレ函館 テーマ: 光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

橋本俊和 (NTT フォトニクス研究所)

〒243-0198 厚木市森の里宮宮 3-1

TEL [046] 240-2044, FAX [046] 240-2365

E-mail : hashimoto.toshikazu@lab.ntt.co.jp

荒川太郎 (横浜国大)

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

TEL [045] 339-4143, FAX [045] 338-1157

E-mail : arakawa@ynu.ac.jp

中川剛二 (富士通研)

〒211-8588 川崎市中原区小田中 4-1-1

TEL [044] 754-2643, FAX [044] 754-2640

E-mail : gnakagawa@jp.fujitsu.com

◎OPE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.or.jp/es/ope/>

◎OPE 研究会では、H18年度より「学生優秀研究賞」を新設しました。学生の方の発表の中から特に優れた研究を表彰致しますので、積極的な御投稿をお待ちしています。詳細は研究会HPを御覧下さい。

☆LQE 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

8月29日(木), 30日(金) サンリフレ函館 テーマ: 光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

田中 有 (富士通研)

TEL [046] 250-8251, FAX [046] 250-8146

E-mail : yu\_tanaka@jp.fujitsu.com

有賀 博 (三菱電機)

TEL [0467] 41-2906, FAX [0467] 41-2519

E-mail : Aruga.Hiroshi@ab.MitsubishiElectric.co.jp

◎LQE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/~lqe/jpn/>

◎LQE 研究会では平成18年度より「LQE 奨励賞」を設けました。対象は発表年度の4月1日時点で32歳以下の若手研究者

第一種研究会開催案内

(学生を含む)です。積極的に御投稿下さい。

## ★ディペンダブルコンピューティング研究会 (DC)

専門委員長 梶原誠司 副委員長 金川信康

幹事 中村友洋・土屋達弘

日時 6月21日(金) 13:45~16:30

会場 機械振興会館地下1階3号室

議題 設計/テスト/検証

- 機能的k時間展開モデル実現のためのコントローラ拡大法  
○兒玉雄佑・西間木 淳・三池紀成・増田哲也・細川利典(日大)・藤原秀雄(阪学院大)
- 制約付きテスト生成を用いたスキャン BIST の LFSR シード生成法  
○森保孝憲・大竹哲史(大分大)
- フィールドにおける LSI 劣化テストの可能性に関する一考察  
○佐藤康夫・梶原誠司(九工大)
- インタラクションテストにおいて実行結果から故障ペアを特定可能なテストケース集合生成方法の提案  
○永元雄直・小島英春・土屋達弘(阪大)
- リング発振器を用いたトランジスタの劣化推定法  
○池田龍史・三浦幸也(首都大東京)

【問合せ先】

土屋達弘(阪大大学院情報科学研究科)

E-mail : t-tutiya@ist.osaka-u.ac.jp

◎最新情報は、DC 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/iss/dc/jpn/index.html>

## ★データ工学研究会 (DE)

委員長 木俣 豊 副委員長 中島伸介・天笠俊之

幹事 吉田尚史・灘本明代 幹事補佐 新谷隆彦・神崎映光

日時 6月22日(土) 9:30~18:00

会場 青山学院アスタジオ(渋谷区神宮前5-47-11. 東京メトロ銀線/半蔵門線/千代田線:表参道駅B2出口より徒歩5分。<http://www.aoyamagakuin.jp/practice/redevelopment/project03.html>)

議題 ソーシャルコンピューティング

招待講演

- [招待講演] 情報提示が人間行動に与える影響を考慮したソーシャルイベント運営の実証実験 寺田 努(神戸大)
- [招待講演] ソーシャルコンピューティングがもたらす新しいインタラクション 矢谷浩司(MRSA)
- [招待講演] 放送通信連携システム Hybridcast (R) 未定(NHK)

午後 招待講演

- [招待講演] 放送と通信を連携させた NOTTV の番組づくり 小牧次郎(mmbi)
- [招待講演] ニコニコ動画を研究してみた、—6年間の歩み— Myrmecoleon(Paradoxical Library)
- [招待講演] ソーシャルメディアを利用した、情報伝播の可視化—ソーシャルアプリの広がり可視化する— ○中野 猛・張 軒(リクルートテクノロジズ)
- [招待講演] 大学の学習環境と ICT:MOOC からラーニング コモンズまで 山内祐平(東大)

告 11

ソーシャルコンピューティング研究最前線 (ポスター発表のための  
のショートプレゼン)

8. Behavioral Performance Improvement about Human Adaptation  
Chiyuri Nagayama (Ochanomizu Univ.)
9. LDA を用いた Tweets 分析による社会的感情の推定  
○大村政博・角所 考・岡留 剛 (関西学院大)
10. Geo-social Cartography: Measuring Geo-social Proximity of  
Cities using Crowd Experience over Twitter  
○Shoko Wakamiya (Univ. of Hyogo)・Ryong Lee (NICT)・  
Kazutoshi Sumiya (Univ. of Hyogo)
11. Identifying Topics and Influential Users based on Information  
Propagation in Twitter ○Zhou Guanying (Waseda Univ.)・  
Zhang Xuan (Rtech)・Hayato Yamana (Waseda Univ.)
12. カクテルパーティ効果を用いた効率的なソーシャルストリー  
ムの聴覚ブラウジング ○岩永章吾・牛尼剛聡 (九大)
13. SNS ビッグデータのクラスタリング分析による類似地域推  
薦システム ○大槻 明 (東工大)・川村雅儀 (東大)
14. 実世界イベント情報共有を目的としたアドホックな Twitter  
フォローネットワーク構成手法 ○田島真悟・  
牛尼剛聡 (九大)
15. A Word Cloud Visualization for Comparing Presentation  
Contents ○Yuanyuan Wang・  
Kazutoshi Sumiya (Univ. of Hyogo)
16. Wikipedia の記事を素性としたベクトルによる短文間の言語  
非依存な関連度計算手法 ○中村達哉・白川真澄・原 隆浩・  
西尾章治郎 (阪大)
17. Twitter における「友達レコメンド」の実現手法について  
藤野 巖・○星野祐子 (東海大)
18. Twitter と論文との自動対応付け ○中橋 光・難波英嗣・  
竹澤寿幸 (広島市大)・高須淳宏 (NII)
19. 集合知による知識体系構築のための意見集約手法  
○矢吹太朗 (千葉工大)・増永良文・森田武史 (青学大)

◎11:15~12:00, 2012 年度 DBSJ 論文賞授賞式, 第 12 回  
DBSJ 総会を開催します。

#### 【問合先】

DE 研究会幹事  
E-mail: de-org@mail.ieice.org

### ★超音波研究会 (US)

専門委員長 梅村晋一郎 副委員長 橋本研也・松川真美  
幹事 美谷周二郎・山口 匡 幹事補佐 野村英之

日時 6月24日(月) 13:00~16:45

会場 東京大学生産技術研究所中セミナー室1 (An401・402)  
(目黒区駒場 4-6-1. 小田急線: 東北沢 (普通のみ停車) より  
徒歩 7 分, 代々木上原駅より徒歩 12 分, または井の頭線: 駒  
場東大前駅 (西口) より徒歩 10 分, 池の上駅より徒歩 10 分.  
<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/access.html> TEL [03]  
5452-6122 美谷周二郎)

議題 医用超音波, アコースティックイメージング, 一般

1. 広帯域エコー信号における独立性に着目したスペクトル抑制  
法 ○夏日龍之介・山口 匡 (千葉大)
2. フーリエ変換を用いた補間近似を要さない高速エコーデータ  
生成—フーリエ変換を用いたエコーデータ生成, その 3—  
炭 親良・○山崎直人 (上智大)

3. 水晶振動子のマイクロバブル標的指向性評価システムへの応  
用—最適な評価指標の検討— ○下谷遼資・村本貴茂・  
吉田憲司・渡辺好章 (同志社大)
4. コラーゲン架橋が骨の音波物性に与える影響  
○坪田 遼・松川真美 (同志社大)・斎藤 充・  
丸毛啓史 (慈恵医科大)
5. 尿動態計測用空中超音波ドプラシステムの校正のための  
ウォータージェットファントム 松本成史・○竹内康人・  
柿崎秀宏 (旭川医科大)
6. 超音波伝搬の可視化による計測条件の最適化 ○田中雄介・  
大平克己 (ジョブプロブ)
7. 誘電力を利用した液体表面物性の非接触測定 ○下河有司・  
酒井啓司 (東大)

◆日本音響学会; 超音波研究委員会/アコースティックイメー  
ジング研究会, 日本超音波医学会; 基礎技術研究会, IEEE  
UFFC Society Japan Chapter 共催

☆US 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

7月29日(月), 30日(火) 九大筑紫キャンパス [締切済]  
テーマ: 物性, 一般 (共催: 日本レオロジー学会ナノレオ  
ロジー研究会, 日本音響学会音響化学研究会, 音波と物性討論会)

8月 休会

9月 東北大 [未定] テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

#### 【問合先】

山口 匡 (千葉大)  
TEL & FAX [043] 290-3267  
E-mail: yamaguchi@faculty.chiba-u.jp  
美谷周二郎 (東大)  
TEL [03] 5452-6122, FAX [03] 5452-6123  
E-mail: mitani@iis.u-tokyo.ac.jp

◎最新の情報はホームページで御確認下さい。

<http://www.ieice.org/~us>

### ★マルチメディア・仮想環境基礎研究会 (MVE)

専門委員長 柳田康幸 副委員長 小林 稔  
幹事 井手一郎・蔵田武志・杉本麻樹  
幹事補佐 上岡玲子・酒田信親・三上 弾

日時 6月25日(火) 13:15~17:05

26日(水) 10:00~14:40

会場 東京大学本郷キャンパス山上会館 (文京区本郷 7-3-1. 東  
京メトロ丸ノ内線/都営地下鉄大江戸線: 本郷三丁目駅, 東京  
メトロ南北線: 東大前駅より徒歩 8 分. 東京メトロ千代田線: 根  
津駅/都営三田線: 春日駅より徒歩 12 分. [http://www.sanjo.  
nc.u-tokyo.ac.jp/sanjo/contact/](http://www.sanjo.nc.u-tokyo.ac.jp/sanjo/contact/) TEL [03] 3818-3008 谷川  
智洋)

議題 人工現実感

25日 AR

MVE-1. 見かけの移動量の操作による持ち上げ時重量知覚の操  
作 ○對間祐毅・伴 祐樹・鳴海拓志・谷川智洋・  
廣瀬通孝 (東大)

MVE-2. ビデオチャットを用いたブレインストーミングにおけ  
る表情変形の効果 ○中里直人・吉田成朗・櫻井 翔・  
鳴海拓志・谷川智洋・廣瀬通孝 (東大)

- MVE-3. 拡張現実感を利用したコップの見た目の長さ操作による飲料消費量操作手法の基礎検討 ○鈴木英二・鳴海拓志・櫻井 翔・谷川智洋・廣瀬通孝(東大)
- MVE-4. ARを用いた「かわいい」大きさの評価  
○山崎陽介・大倉典子(芝浦工大)

#### 応用

- MVE-5. 運筆リズムにより短時間での上達を支援するペン習字アプリ  
○浦 正広・遠藤 守・山田雅之・宮崎慎也(中京大)・安田孝美(名大)
- MVE-6. タブレット端末との連携を考慮した電子工作教材フレームワークの提案と試作  
○植田将基・久原政彦・遠藤 守・山田雅之・宮崎慎也(中京大)・岩崎公弥子(金城大)・安田孝美(名大)
- MVE-7. 公共ディスプレイと個人スマートフォンを連携させたインタラクティブサイネージの提案  
○山口徳郎・福島寛之・立澤 茂・野中雅人(OKI)
8. 4K 超高精細リアルタイム CG によるバーチャル美術館  
○林 正樹・中嶋正之・ステイブン パチュエルダー(フットランド大)・井口昭彦・町田 聡(アストロデザイン)
9. G バンド分染法によるカリオタイプに対する輝度プロファイルの作成  
○藤井芳孝・小木美恵子(金沢工大)・島田裕充・眞田由親・両角俊明・吉田 卓(日本遺伝子研)・吉澤達也(金沢工大)

#### 26 日午前 インタフェース

- MVE-1. 背面タッチパネルによる擬似力覚の生成と利用に関する基礎的検討 ○国分 新・伴 祐樹・鳴海拓志・谷川智洋・廣瀬通孝(東大)
- MVE-2. ジェスチャインタフェースのための識別器の特性に基づいたユーザの誘導  
○吉本廣雅・近藤一晃・小泉敬寛(京大)
- MVE-3. 身体的な癖を利用した入力手法の基礎検討  
○長尾淳史・櫻井 翔・大原寛司・鳴海拓志・谷川智洋・廣瀬通孝(東大)
4. デジタル写真群をインタラクティブに利用した際の Task engagement に関する一検討  
○横山ひとみ(東北大)・Chi Thanh Vi(アリストル大)・高嶋和毅(東北大)・Sriram Subramanian(アリストル大)・北村喜文(東北大)

#### 26 日午後 知覚・触覚

- MVE-5. 可視光通信プロジェクト映像鑑賞時の時空間周波数特性の計測  
○後藤正太郎(東大)・橋田朋子(早大)・苗村 健(東大)
- MVE-6. 移動指標注視時と 3D 映像視聴時の調節応答の年齢層別比較  
○小嶋健仁・佐藤夏実・吉川一輝・岡田悠希・宮尾 克(名大)
- MVE-7. 遠隔地における 1 自由度形状触覚システムに関する研究  
○山下貴之・矢野博明・岩田洋夫(筑波大)
- MVE-8. 空気砲の触覚による生理状態制御のための基礎的研究  
○山口真美・山本修平・上岡玲子(九大)

◆VR 学会, ヒューマンインタフェース学会; バーチャル・リアリティー・インタラクション専門研究委員会, 映像情報メディア学会; ヒューマンインフォメーション研究会連催

☆MVE 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

9 月 26 日(木), 27 日(金) 利尻町交流促進施設「どんと」  
[未定] テーマ: 複合現実感, 仮想都市, 及び一般 (VR 学会 SIGMR, VR 学会 SIGCS, HI 学会 SIGVR 連催)

第一種研究会開催案内

#### 【問合先】

井手一郎(名大)・蔵田武志(産総研)・杉本麻樹(慶大)  
E-mail: mve-apply2013@mail.ieice.org

#### ★人工知能と知識処理研究会 (AI)

専門委員長 松原繁夫 副委員長 菅原俊治・峯 恒憲  
幹事 片上大輔・服部宏充

日時 7 月 4 日(木) 9:30~17:25

会場 早稲田大学西早稲田キャンパス 55 号館 S 棟 2F 第 3 会議室(新宿区大久保 3-4-1. 地下鉄: 西早稲田駅から徒歩 0 分.  
<http://www.sci.waseda.ac.jp/campus/index.html> 菅原俊治)

議題 「持続可能エネルギー社会と AI」及び一般

- 分散型電力取引における蓄電行為の影響 ○李 相直・赤井研樹・西野成昭(東大)
  - 家庭におけるスマートメーターを活用した電力需要学習に基づく売買取引手法の提案 ○坂本裕紀・菅原俊治(早大)
  - 需要家エージェント間の電力融通と需給安定化の実現  
○加賀谷 駿・荒井幸代(千葉大)
  - 粒子フィルタを用いた太陽光発電量予測値を用いた電力マネジメント手法の提案 ○吉村卓也・金森 亮(名工大)・伊藤孝行(名工大/PARI)
  - 可変な離散化単位を用いる資源制約付き分散制約最適化問題の検討 ○兼子昌幸・松井俊浩・松尾啓志(名工大)
  - Smart Pricing Scheme Facilitating Scoring Rule based Incentive Payment  
Shantanu Chakraborty・Takayuki Ito (Nagoya Inst. of Tech.)
  - 複雑ネットワーク分析を用いた分散型電源の最適配置に関する研究 ○白山 晋・越前谷直之(東大)
- 午後(13:50~)
- マルチエージェントシステムによる電圧制御シミュレーターの試作 ○原 圭佑・Shantanu Chakraborty・伊藤孝行・青木 陸(名工大)
  - ドライバーの経路選択行動に基づく交通情報提供手法の評価  
○高橋 淳・金森 亮・伊藤孝行(名工大)
  - 道路通過時間の二極化に基づいたプローブカーへの情報提供手法の提案 ○水野敬太・金森 亮・伊藤孝行(名工大)
  - OpenStreetMap の成果物の地域間比較調査による日本の発展状況の分析 ○早川知道・伊美裕麻・伊藤孝行(名工大)
  - オープンワークショップ支援システム COLLAGREE の開発と評価  
○伊美裕麻・伊藤孝行・伊藤孝紀・秀島栄三(名工大)
  - マルチモーダル乗換案内推薦システム Patrash の提案  
○中村啓之・高 原・張 紅亮・高 赫・清弘晃史・峯 恒憲(九大)
  - フレキシブルなワイアレスセンサネットワーク実現のためのミドルウェアと大規模センサノードの統合管理  
○大塚孝信(名工大)・Kway-Jay Lin (UCI)・伊藤孝行(名工大)
  - 移動プランを考慮した生活行動調査のためのスケジューリングシステムの試作 ○高比良 論・金森 亮・伊藤孝行(名工大)

告 13

★無線通信システム研究会 (RCS)

専門委員長 府川和彦 副委員長 村田英一・岡本英二  
 幹事 小西 聡・ベンジャブール アナス  
 幹事補佐 星野正幸・増野 淳・森田基樹・岡崎彰浩・三上 学

日時 6月20日(木) 9:00~18:15  
 21日(金) 9:00~17:20

会場 北海道大学札幌キャンパスクラーク会館(札幌市北区北8条西5丁目。JR札幌駅北口から構内まで徒歩約7分。http://www.hokudai.ac.jp/ 大鐘武雄)

議題 初めての研究会、鉄道、車々間・路車間通信、リソース制御、スケジューリング、無線通信一般

20日午前 初めての研究会 プレゼン1

1. 干渉キャンセラとLLR重み付けを用いたLDPC符号化信号の非直交多重通信の検討 ○千田悠司(慶大)・稲森真美子(東海大)・眞田幸俊(慶大)
2. 安全な無線通信のためのマルチユーザカオスMIMO-OFDM伝送方式 ○稲葉悠馬・岡本英二(名工大)
3. 低信頼中継局を用いた物理層ネットワークコーディングにおける物理層セキュリティ評価 ○山口和馬・田久 修(信州大)・藤井威生(電通大)・大槻知明(慶大)・笹森文仁・半田志郎(信州大)
4. 重畳型適応ネットワーク符号化協調に適した修正LDGM符号の提案 ○武石直樹・石橋功至・山尾 泰(電通大)
5. スペクトル拡散を用いた省電力ユビキタスネットワークにおけるエンドノード間パケット伝送誤りの分析 ○河西隼太郎・山尾 泰(電通大)
6. 周波数領域バンクチャリングを行うターボ符号における送受信協調チャンネル等化に関する一検討 ○中村健吾・樋口健一(東京理科大)

初めての研究会 プレゼン2

7. 過負荷MIMO-OFDMシステムにおけるブロック符号化信号の統合復号時計算量削減法 ○土井寿人(慶大)・稲森真美子(東海大)・眞田幸俊(慶大)
8. 過負荷MIMO-OFDMシステムのブロック符号化信号の統合復号に関する実験的検討 ○矢部達郎(慶大)・稲森真美子(東海大)・眞田幸俊(慶大)
9. 広帯域伝送系におけるマルチユーザシングルキャリアE-SDM方式に関する考察 ○原田佳太・小川恭孝・西村寿彦・大鐘武雄(北大)
10. 分散アンテナを用いたマルチユーザMIMOシステムの参照信号削減による影響評価 ○中西裕基・西村寿彦・大鐘武雄・小川恭孝(北大)
11. 室内光無線MIMO通信システムの下りリンクにおける光学的適応制御に関する一検討 ○宮崎新也・宮本伸一・三瓶政一(阪大)
12. マルチセル環境における基地局連携MIMOシステムによるPAPR低減法の適用効果 ○妙圓蘭 諒・田久 修・笹森文仁・半田志郎(信州大)
13. オンライン更新型ブロック対角ランダムビームフォーミングを用いた基地局間連携マルチユーザMIMO ○野中信秀・樋口健一(東京理科大)

RCS1

14. 700MHz帯歩車間無線通信制御技術の検討—大都市モデル

による評価— ○金谷浩幸(PSNRD)・中岡 謙(パソニック)・二木貞樹(PSNRD)

15. LTE-Advanced ネットワーク下における端末間通信の利用形態に関する一検討 ○北川幸一郎・畑川養幸・小西 聡(KDDI研)
  16. IDMA 無線システム実現のための干渉除去器ハードウェア実装 ○吉澤真吾(北見工大)・畑川養幸・松本知子・小西 聡(KDDI研)・宮永喜一(北大)
- 20日午後 RCS2 (15:40~)
17. マッシブマルチユーザMIMOシステムにおけるインプリシットビームフォーミングの特性評価 ○福園隼人・村上友規・工藤理一・鷹取泰司・溝口巨人(NTT)
  18. MIMO-OFDM 移動通信におけるEMアルゴリズムに基づく逐次受信を改善するリムーバル処理 ○村岡一志・府川和彦・鈴木 博・須山 聡(東工大)
  19. 非2元ターボ符号化空間変調に関する研究 ○橋本樹明・石井光治(香川大)
  20. OFDM-MIMO 多重におけるターボSIC信号分離を用いたときの協調MCS選択の効果 ○韓 冰(東京都市大)・海老原徹平(エリクソンジャパン)・川村輝雄(NTTドコモ)・田岡秀和(ドコモ欧州研)・佐和橋 衛(東京都市大)
  21. DFT-Precoded OFDMAにおける16APSK及び64APSKの繰り返し判定帰還チャネル推定を用いるターボ周波数領域等化の特性 ○森 千尋(東京都市大)・川村輝雄(NTTドコモ)・三木信彦(香川大)・佐和橋 衛(東京都市大)

招待講演

22. [招待講演] 空間領域信号処理による無線通信システムの進展—顧みられなかった技術が今— 小川恭孝(北大)

21日午前 初めての研究会 プレゼン3

1. デュオバイナリ・パーシャルレスポンスフィルタを用いたSC-FDEの特性改善に関する検討 ○阿保航平・アムナート プンカジャイ・山本哲矢・安達文幸(東北大)
2. シングルキャリアデジタル技術を用いるアナログ信号伝送に関する一検討 ○ヴォ タン ハイ・熊谷慎也・小原辰徳・安達文幸(東北大)
3. 重複セル環境でのBSS内集中制御型OFDMA無線LANシステムにおける端末クラスタ化に関する一検討 ○延堂拓也・宮本伸一・三瓶政一(阪大)・姜 開杰(NTT)
4. ダイナミックスペクトル制御を用いた周波数共用におけるリンク間干渉抑圧のための協調帯域制御に関する一検討 ○小林 健・衣斐信介・三瓶政一(阪大)
5. 繰り返し伝搬路推定における軟復調器出力外部LLRに関する一検討 ○佐々木浩幸・衣斐信介・三瓶政一(阪大)
6. 基地局間協調を用いた11GHz帯超高速ビットレート移動通信のシステム構成と屋外伝送実験による評価 ○高橋 満・須山 聡・鈴木 博・府川和彦(東工大)

初めての研究会 プレゼン4

7. SICを用いた上りリンク非直交多元接続における周波数ブロック毎に異なる送信電力制御とPFスケジューリングを組み合わせたセル間干渉コーディネーション法の検討 ○片山弘巳・樋口健一(東京理科大)
8. ヘテロジニアスネットワーク下りリンクにおける基地局間のメトリック交換に基づく送信電力制御法 ○青田知之・樋口健一(東京理科大)
9. チャネル推定誤差がある場合のSICを用いる下りリンク非直交多元接続のシステムスループット特性 ○山本健太・

樋口健一 (東京理科大)

10. ランダムビームフォーミングとビーム内 SIC を用いた下りリンク非直交多元接続におけるビームフォーミング行列制御に関する一検討 ○井上大樹・樋口健一 (東京理科大)
11. MMSE-SIC を用いる上りリンク非直交多元接続におけるオーバーラップアクセス許可を用いたフラクショナル周波数繰り返し法 ○ノルヘダ ビンティ モハマド ズキペリ・樋口健一 (東京理科大)

#### RCS3

12. FPGA テストベッドによる 1024QAM MIMO シングルキャリアブロック伝送の実験評価 ○山口歌奈子 (北大)・西本 浩・岡崎彰浩・佐野裕康・石津文雄 (三菱電機)・西村寿彦・大鐘武雄・小川恭孝 (北大)
13. 大規模アンテナ無線エントランスシステムの実験的検証—MAS の基本特性及びフィジビリティの検証—  
○太田 厚・丸田一輝・黒崎 聰・新井拓人・飯塚正孝 (NTT)
14. 大規模アンテナ無線エントランスシステムの実験的検証—超高次空間多重に向けた基本特性評価— ○丸田一輝・太田 厚・黒崎 聰・新井拓人・飯塚正孝 (NTT)

#### 21 日午後 チュートリアル講演 (15:10~)

15. [チュートリアル講演] MIMO の理解にちょっと役立つ線形代数 大鐘武雄 (北大)

#### RCS4

16. IEEE 802.11 無線 LAN におけるネットワーク制御型チャネル割当法の性能評価 ○B.A. Hirantha Sithira Abeysekera・石原浩一・井上保彦・市川武男・溝口匡人 (NTT)
17. Energy Efficiency of Spread Spectrum Single-Carrier Transmission ○Amnart Boonkajay (Tohoku Univ.)・Koichi Adachi・Sumei Sun (I2R)・Fumiyuki Adachi (Tohoku Univ.)
18. 適応レート制御を導入したセルフィッシュ DSC の周波数共有における遅延特性に関する一検討 ○奥山達樹・衣斐信介・三瓶政一 (阪大)
19. ヘテロジーニアスネットワークにおける小型セルのための通信容量保持率規範型スケジューリング手法 ○稲毛 契・藤井威生 (電通大)

◎20 日 13:30~15:30 に初めての研究会プレゼン 1 とプレゼン 2 の計 13 件のポスター講演を行い、21 日 13:10~15:00 に初めての研究会プレゼン 3 とプレゼン 4 の計 11 件のポスター講演を行って頂きます。また、21 日研究会終了後、初めての研究会の表彰式を行います。

◎20 日研究会終了後、懇親会を予定しておりますので御参加下さい。

☆RCS 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

7 月 17 日 (水)~19 日 (金) アクトシティ浜松 [締切済]  
テーマ: 無線分散ネットワーク, M2M (Machine-to-Machine), D2D (Device-to-Device), 一般

8 月 29 日 (木), 30 日 (金) 信州大 [6 月 10 日 (月)] テーマ: 移動衛星通信, 放送, 誤り訂正, 無線通信一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

#### 【問合先】

森田基樹 (NEC)

E-mail: rcs\_ac-entry@mail.ieice.org

◎最新情報は、RCS 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/rcs/jpn/>

第一種研究会開催案内

## ★ME とバイオサイバネティクス研究会 (MBE)

専門委員長 中尾光之 副委員長 神保泰彦

幹事 渡邊高志・小谷 潔 幹事補佐 中村和浩・高山祐三

日時 6 月 21 日 (金) 9:30~15:10

会場 北海道大学情報科学研究科情報棟 11 階大会議室 (札幌市北区北 14 条西 9 丁目。地下鉄南北線: 北 12 条駅下車, 徒歩 10 分。または北 18 条駅下車, 徒歩 15 分。JR 札幌駅から徒歩 20 分。 <http://www.ist.hokudai.ac.jp/access/> TEL [011] 706-6157 工藤信樹)

#### 議題 ME, 一般

- 脳深部無侵襲計測用 5 周波マイクロ波ラジオメータシステムにおける測定精度向上の試み—ボラス内の微小気泡の測定精度への影響— ○杉浦敏文・平田 寿・高橋 勲・水品静夫 (静岡大)
- 異なる味刺激が聴覚事象関連電位 P300 成分へ与える影響—苦味刺激と甘味刺激の比較— ○鈴木祥平・長谷部直嵩・陳 曦・沖田義光・高橋 勲・平田 寿・杉浦敏文 (静岡大)
- 吉田法による音刺激に対する心理反応評価 ○陳 曦・高橋 勲・沖田義光・平田 寿・杉浦敏文 (静岡大)
- 視覚による指先ジャンプ外乱時の上肢運動における体性感覚への影響 ○北村 信・杉山空良 (北大)・月澤拓哉 (大)・渡辺達哉 (島津製作所)・佐多正至・高橋 誠 (北大)
- 組込みシステムを用いた携帯型 MRA 観察端末の試作 [2]  
○佐々木 巖・畑中雅彦 (室蘭工大)
- 筋電気刺激を用いた脳波特徴選択の効率化 ○佐々木将人・中村健太・天間勇樹・松本 峻 (北見工大)・大田哲生 (旭川医科大)・橋本泰成 (北見工大)

#### 午後 (13:30~)

- 嚥下機能評価システム SFN/3A における喉頭位置トラッキング法の改良 ○本間正寿・林 豊彦 (新潟大)・道見 登 (新潟医療センター)・谷口裕重・井上 誠 (新潟大)
- 画像差分シュリーレン装置の改良と超音波診断装置音場の可視化 ○関根大輝・工藤信樹・清水孝一 (北大)
- 騒音を用いた負の情動喚起刺激による生体応答と主観評価の関係 ○山下政司・北間正崇・有澤澤二・清水久恵・守田憲崇 (北海道工大)
- 音響効果シミュレーションによる音診断 ○木下雄大・畑 大介・竹沢 恵・木下正博・北守一隆 (北海道工大)

◆日本生体医工学会; ME とバイオサイバネティクス研究会共催。電気学会; 医用・生体工学研究会連催

◎この研究会は、電気学会医用生体工学研究会との連催であり、更に演題が付け加わる予定です。最終的なプログラムは研究会ホームページ上で確認して下さい。

☆MBE 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

7 月 19 日 (金), 20 日 (土) 徳島大 [締切済] テーマ: ME, 一般

9 月 新潟大

#### 【問合先】

中村和浩 (秋田県立脳血管研究センター)

〒010-0874 秋田市千秋久保田町 6-10

TEL [018] 833-0115, FAX [018] 833-2104

E-mail: knam@akita-noken.jp

## ★集積回路研究会 (ICD)

専門委員長 山村 毅 副委員長 藤島 実

幹事 松岡俊匡・渡辺 理

幹事補佐 大内真一・吉田 毅・土谷 亮・範 公可

日時 7月4日(木) 9:30~18:30

5日(金) 9:15~18:30

会場 サン・リフレ函館(函館市大森町2-14. 函館空港から車で20分. JR函館駅から徒歩15分, 市電松風町停留所から徒歩10分, 函館バス:サン・リフレ函館前停留所から徒歩1分. <http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/keizai/roudou/s-refre/access/address.html> TEL [0138] 23-2556 (会場) 佐藤生馬(公立はこだて未来大))

議題 アナログ, アナログ混載, RF 及びセンサインタフェース回路

4日午前

ICD-1. 自動パワーゲーティングと多段インバータを用いた0.7V, 9.2μW, 39MHz 水晶発振回路 ○井口俊太(東大)・齋藤 晶(半導体理工学研究センター)・鄭 雲飛(東大)・渡辺和紀(半導体理工学研究センター)・桜井貴康・高宮 真(東大)

ICD-2. TDC 一体型 DLL を用いた高速ロック・低消費電力完全デジタル CDR 回路 ○浦野雄貴・尹 元柱・小平 薫・徐 照男・黒田忠広・石黒仁揮(慶大)

ICD-3. 共振周波数と独立にクロック周波数を設定可能な間欠型共振クロック分配技術 ○更田裕司(東大)・野村昌弘(半導体理工学研究センター)・高宮 真・桜井貴康(東大)

ICD-4. [招待講演] データ補間回路を用いた2タップDFE付32Gb/s データ受信器 ○土肥義康・柴崎崇之・檀上 匠・ウイン チャイビパース・橋田拓志(富士通研)・宮岡弘樹(富士通セミコンダクター)・星野正格(富士通マイクロソリューションズ)・小柳洋一(富士通研)・山本拓司(富士通米国研)・塚本三六・田村泰孝(富士通研)

ICD-5. [招待講演] 低消費電力近距離無線通信 LSI とそのインターフェース 野田光彦(ラピセミコンダクター)

4日午後(13:50~)

ICD-6. [招待講演] パナソニックのエネルギーマネージメントへの取組みと HEMS におけるマイコン応用 本間義久(パソニック)

ICD-7. [招待講演] 車載半導体の進化の方向性—コンピューティングとセンシングの観点から— 石原秀昭(デンソー)

ICD-8. [招待講演] 超低消費電力マイコン MSP430 アナログ・ペリフェラルの解説と応用例の紹介 岩田佳英・菅原 仁(日本テキサス・インスツルメンツ)

ICD-9. [招待講演] 低電圧不揮発メモリデバイス技術とシステム応用 林越正紀(ルネサス エレクトロニクス)

ICD-10. [パネル討論] 増々アナログインタフェース機能を拡充するマイコン ○濱崎利彦(広島工大)・本間義久(パソニック)・石原秀昭(デンソー)・岩田佳英(日本テキサス・インスツルメンツ)・林越正紀(ルネサス エレクトロニクス)・野田光彦(ラピセミコンダクター)・土肥義康(富士通研)

5日午前

1. [招待講演] 「部品」としてのマイコン・半導体 秋田純一(金沢大)

ICD-2. 送信機能内蔵低消費電力 EEG センサー用 ASIC の設計

○鎌田隆嗣・王 軍(阪大)・岡田隆志(フオリスト)・

大原賢治(阪大)・宮田愛子(フオリスト)・松岡俊匡(阪大)

3. メタマテリアルアンテナを用いた低電力小型送信モジュール ○平石一貴・和田敏輝・久保圭史・大津雄太郎・池辺将之・佐野栄一(北大)

ICD-4. 3D Imaging LADAR 用アレイ ROIC の開発

○平井暁人・堤 恒次・小竹論季・辻 秀伸・今城勝治・亀山俊平・谷口英司・平野嘉仁(三菱電機)

ICD-5. センサネットワーク電源用0.5V 起動フィードフォワード制御による1入力2出力オンチップ昇圧DC-DCコンバータ ○中瀬泰伸・井戸康弘・大石 司・熊本敏夫・清水 徹(ルネサス エレクトロニクス)

5日午後(13:15~)

ICD-6. [招待講演] 連続時間型ΔΣ変調器の高性能化手法—高効率と高SN比の実現に向けたLSI開発の取り組みを振り返って— 道正志郎(パソニック)

ICD-7. 0.25-1.8V 動作のインバータ-オペアンプ切り替え積分器を利用したΔ-Σ変調器 ○吉岡健太郎・富山陽介・徐 照夫・石黒仁揮(慶大)

ICD-8. A 1.0-V 12-bit Digitally Calibrated SAR ADC Using Hybrid DAC Technique ○Masanori Furuta・Hiroto Ishii・Tomohiko Sugimoto・Toru Okawa・Masazumi Shiochi・Tetsuro Itakura(Toshiba)

9. 複数位相型TDC付きシングルスロープADCの動作タイミングによる低電力化 ○内田大輔・染谷慎人・池辺将之・本久順一・佐野栄一(北大)

ICD-10. 1-GHz, 8-bit サプレジング型AD変換器(1)—低電力化技術— ○岩元雅太郎・吉村 渉・下藪 太・田平大基・大島賢一(鹿児島大)

ICD-11. 1-GHz, 8-bit サプレジング型AD変換器(2)—評価結果と不良解析— ○吉村 渉・岩元雅太郎・下藪 太・田平大基・大島賢一(鹿児島大)

ICD-12. 最適オンオフ制御を用いた磁界結合パルス通信用間欠動作LNA ○徐 照男・小平 薫・浦野雄貴・黒田忠広・石黒仁揮(慶大)

ICD-13. Independent-Double-Gate-FinFET の1/fノイズ特性に関する研究 ○坂井秀男(慶大)・大内真一・遠藤和彦・松川 貴・柳 永シユン・石川由紀・塚田順一・中川 格・関川敏弘・小池帆平・昌原明植(産総研)・石黒仁揮(慶大)

ICD-14. 高周波能動素子における基板結合の評価とモデリング ○東 直矢・永田 真(神戸大)

ICD-15. 低電源電圧におけるフリップフロップの故障モードの解析 ○藤田隆史・川島潤也(京大)・越智裕之(立命館大)・筒井 弘・佐藤高史(京大)

ICD-16. 2V有機トランジスタを集積化した義手の制御向け1μm厚の表面筋電位測定シート ○更田裕司・吉岡和顕・篠塚康大・石田光一・横田知之・松久直司・井上雄介・関野正樹・関谷 毅・高宮 真・染谷隆夫・桜井貴康(東大/JST)

◆映像情報メディア学会;情報センシング研究会連催. IEEE SSCS Japan/Kansai Chapter 共催

◎電気学会;電子回路研究会併催 (<http://ieej.vlsi.ee.noda.tus.ac.jp/ect/ectp/index.html>)

◎4日研究会終了後,懇親会を予定していますので御参加下さい.

☆ICD研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

8月1日(木), 2日(金) 金沢大角間キャンパス [締切済]



テーマ：低電圧／低消費電力技術，新デバイス・回路とその応用

9月5日（木），6日（金） 会津大〔未定〕テーマ：第5回アクセラレーション技術発表討論会—コンピュータでゲームの定石が作れるか？—

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikom.html>

#### 【問合先】

吉田 毅（広島大）  
TEL & FAX [082] 424-7643  
E-mail : tyoshida@dsl.hiroshima-u.ac.jp

### —東北支部における開催—

#### ★ネットワークシステム研究会（NS）

専門委員長 漆谷重雄 副委員長 平松 淳  
幹事 木下和彦・柴田哲良 幹事補佐 金子雅志

#### ★光通信システム研究会（OCS）

専門委員長 水落隆司 副委員長 富澤将人  
幹事 乾 哲郎・斎藤恒聡

#### ★フォトニックネットワーク研究会（PN）

専門委員長 坂野寿和  
副委員長 荒木壮一郎・戸出英樹・大木英司  
幹事 長谷川 浩・荒川伸一 幹事補佐 品田 聡・釣谷剛宏

◎本研究会はNS研究会とOCS研究会，PN研究会の併催です。  
研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 6月20日（木） 13：30～18：35

21日（金） 9：00～15：00

会場 日本大学工学部郡山キャンパス（郡山市田村町徳定字中河原1，郡山駅から日本大学下車（日大行バス20分），<http://www.ce.nihon-u.ac.jp/links/access.html> TEL [024] 956-8788 柴田 宣）

議題 コア・メトロシステム，フォトニックネットワーク・システム，光ネットワーク運用管理，光ネットワーク設計，トラヒックエンジニアリング，シグナリング，GMPLS，ドメイン間経路制御，ネットワーク監視，イーサネット，光伝達網（OTN），高速インタフェース，光制御（波長変換・スイッチング・ルーティング），光ノード技術，光クロスコネク（OXC），光分岐挿入多重（OADM），光多重・分離装置，光信号処理，光スイッチ素子，一般

20日

OCS-1. 光ファイバ伝送における偏波間位相変調を用いた16QAM伝送の非線形耐力 神尾享秀（NICT）

OCS-2. 光16QAM信号のLMSアルゴリズムによる適応分散変化の数値的検討 ○吉武 豊・寺島由規・海老澤賢史・前田譲治（東京理科大）

OCS-3. 112 Gbps DP-QPSK信号に重畳したFSKライトラベルの特性評価 ○中川剛二・小田祥一郎・曾根恭介・青木泰彦・廣西一夫・谷村崇仁（富士通研）・星田副司（富士通）・イエンス ラスムセン（富士通研）

PN-4. 日本の地域特性を考慮したフォトニックネットワークモ

デルの検討

○坂野寿和・築島幸男（NTT）・長谷川 浩（名大）・釣谷剛宏（KDDI研）・廣田悠介・荒川伸一（阪大）・戸出英樹（阪府大）  
PN-5. Topological Characteristic of Japan Photonic Network Model  
○Shin'ichi Arakawa（Osaka Univ.）・Toshikazu Sakano・Yukio Tukishima（NTT）・Hiroshi Hasegawa（Nagoya Univ.）・Takehiro Tsuritani（KDDI）・Yusuke Hirota（Osaka Univ.）・Hideki Tode（Osaka Prefecture Univ.）  
PN-6. Interconnectivity Demonstration of Multi-Vendor Optical Networks for Emergent Optical Network Reconstruction and Control in Disaster Recovery ○Sugang Xu（NICT）・Noboru Yoshikane（KDDI R & D Labs）・Masaki Shiraiwa・Hideaki Furukawa（NICT）・Takehiro Tsuritani（KDDI R & D Labs）・Yoshinari Awaji・Naoya Wada（NICT）

OCS-7. パイロットトーンによる位相雑音低減効果の解析  
○吉田光輝・山崎悦史・小林孝行・佐野明秀・宮本 裕（NTT）

OCS-8. パイロットシンボル挿入によるフーリエ符号化同期OCDFM信号のファイバ伝送におけるデジタル波長分散補償  
○飯島 理・埜 雅典（山梨大）

OCS-9. 擬位相整合による平坦で21 dBの利得を持つNF4 dB未満のファイバ光パラメトリック増幅器 ○高坂繁弘・味村 裕（古河電工）・松浦 寛（東北学院大）・森本政仁・高橋正典・杉崎隆一（古河電工）

NS-10. [招待講演] 100G デジタルコヒーレント光伝送技術の研究開発 山崎悦史（NTT）

21日午前

NS-1. 広域OpenFlowテストベッドRISE 3.0に関する一検討  
○石井秀治・河合栄治・金海好彦・齋藤修一（NICT）・小林和真（倉敷芸術科学大）・下條真司（阪大）

NS-2. ピークレート確保機能を使用する輻輳回避法を持つMACツリー状リング網の提案 ○龍野秀雄（龍野研）・水野恒雄（水野国際特許事務所）

NS-3. マルチレイヤネットワーク設計問題におけるリング型トポロジーを用いた計算時間の高速化手法 ○高橋昂大・見越大樹・竹中豊文（日大）

NS-4. L2ベーススイッチ上での仮想OpenFlowネットワークの構築 ○山中広明・河合栄治・石井秀治・下條真司（NICT）

PN-5. Performance Evaluation of Preventive Start-Time Routing Optimization for Hose Model  
○Ravindra Sandaruwan Ranaweera・Islam Mohammad Kamrul・Eiji Oki（Univ. of Electro-Comm.）

PN-6. 階層化光バスネットワークにおける波長変換・波長群変換器導入のコスト削減効果 ○沈 志舒・長谷川 浩・佐藤健一（名大）

PN-7. 可変長光パケットスイッチのための大規模ファイバ遅延線バッファの解析及び初期実験 ○品田 聡・古川英昭・和田尚也（NICT）

21日午後（13：20～）

OCS-8. マルチコアファイバを用いた大容量・高信頼光切替装置  
○野本悦子・田中健一（日立）・菅原俊樹（元日立）・比留間健之・李 英根（日立）

OCS-9. 多方路CDC-ROADM向けSiフォトニクス適用高集積

トランスポンダアグリゲータ光スイッチの開発

○竹下仁士・樋野智之・中村 滋・田島章雄 (NEC)・  
石井紀代・来見田淳也・並木 周 (産総研)

OCS-10. 光通信システムへのサイバー攻撃とその防御技術—  
子エニグマ暗号の開発に向けて— 広田 修 (玉川大)

PN-11. A Simple Proof against Y-00 太田昌孝 (東工大)

◎20日研究会終了後に懇親会を行いますので是非御出席下さい。

☆NS研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

7月17日(水)～19日(金) アクトシティ浜松 [締切済]  
テーマ:無線分散ネットワーク, M2M (Machine-to-Machine), D2D (Device-to-Device), 一般

9月12日(木), 13日(金) 東北大 [7月12日(金)] テーマ:ポストIPネットワーク, 次世代・新世代ネットワーク (NGN), 障害対策・BCP, ネットワークコーディング, セッション管理 (SIP・IMS), 相互接続技術/標準化, ネットワーク構成管理及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

NS研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: ns-secretariat@mail.ieice.org

武田知典 (NTT) TEL [0422] 59-7434

栗本 崇 (NTT) TEL [0422] 59-3121

◎最新情報は, NS研ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/ns/jpn/>

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

☆OCS研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

7月25日(木), 26日(金) すみだ産業会館 [締切済] テーマ:【光通信機器】光変復調方式, 多値光変復調, コヒーレント光通信, 非線形・偏波問題, 分散補償デバイス, 光信号処理, 光測定器, 光通信用デジタル信号処理, 光通信計測, 光通信用LSI, 誤り訂正, 一般

8月22日(木), 23日(金) 小樽市民会館 [6月7日(金)] テーマ:光ファイバケーブル・コード, 通信用光ファイバ, 光ファイバ線路構成部品, 光線路保守監視・試験技術, 接続・配線技術, 光ファイバ測定技術, 光コネクタ, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ, 光信号処理, 光ファイバ型デバイス, 光測定器, レーザ加工, ハイパワーレーザ光輸送, 光給電, 一般

【問合せ先】

斎藤恒聡 (古河電工)

TEL [0436] 42-1725, FAX [0436] 42-9340

E-mail: tsune@ch.furukawa.co.jp

◎OCS ホームページ

<http://www.ieice.org/ocs/jpn-new/index.php>

◎OCS研究会では, 2007年より「光通信システム研究会奨励賞」及び「光通信システム研究会論文賞」を設立しました。毎年9月～翌年8月のOCS研究会に投稿した論文を対象に選考し, 翌年12月の光通信システムシンポジウムにて表彰します。詳しくはOCSホームページを御覧下さい

☆PN研究会

【問合せ先】

大木英司 (電通大)

TEL [042] 443-5195, FAX [042] 443-5926

E-mail: oki@ice.uec.ac.jp

長谷川 浩 (名大)

TEL [052] 789-4423, FAX [052] 789-3641

E-mail: hasegawa@nuee.nagoya-u.ac.jp

## ★磁気記録・情報ストレージ研究会 (MR)

専門委員長 杉田龍二

幹事 稲葉信幸・小出大一 幹事補佐 白鳥聡志・神邊哲也

期日 6月21日(金)

会場 東北大学

議題 記録システム, 一般

◎開催プログラムはMR研究会のHP等を御参照下さい。

## ——信越支部における開催——

### ★音声研究会 (SP)

専門委員長 川端 豪 副委員長 河井 恒

幹事 鈴木基之・戸田智基 幹事補佐 大谷大和・大庭隆伸

### ★福祉情報工学研究会 (WIT)

専門委員長 井野秀一 副委員長 泉 隆

幹事 和田親宗・酒向慎司・若月大輔

幹事補佐 伊藤 尚・雨宮智浩

日時 6月13日(木) 10:30～18:00

14日(金) 9:45～17:00

会場 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」(新潟市中央区笹口1-1 プラウカ1・2階。JR新潟駅南口すぐ。 <http://www1.niigata-u.ac.jp/tokimate/> 岩城 護)

議題 音声/福祉/デジタル信号処理/聴覚一般

13日午前 実験・評価

1. 地磁気センサを用いた操作スイッチ GSN/1 の振戦時における性能評価 ○遠藤雅也・林 豊彦 (新潟大)・織田 孝 (JALSA)・遁所直樹 (自立生活福祉会)・山口俊光 (新潟市障がい者ITサポートセンター)
2. 音声提示式娯楽ゲームの評価と検討 ○松葉絃史・谷 賢太郎 (新潟大)・伊藤 尚 (富山高専)・前田義信 (新潟大)・新川拓也 (阪電通大)
3. 仮設住宅における高齢者見守りシステムを用いた認知症早期発見の実証実験に関する報告 ○柏葉俊輔・坂本泰伸・松澤 茂・武田敦志・松本章代 (東北学院大)

13日午後 障害者支援システム(1)

4. 視覚障害をもつ児童生徒のための携帯電話 I/F を想定した移動ロボットプログラミング教材 ○江頭尚弥・井手亮太 (福岡工大)・寺岡章人 (九州先端科学技研)・山口明宏・家永貴史・木室義彦 (福岡工大)
5. 触地図作成支援のための手書き地図の自動翻訳手法について 陳 建軍・○出町駿明・高木 昇 (富山県立大)
6. 拡張現実の音声出力コミュニケーションエイドへの応用 ○近松直弘・林 豊彦 (新潟大)・青木さつき (明倫短大)・入山満恵子 (新潟大)

障害者支援システム(2)

7. スペクトル補正及び統計的音源生成に基づくハイブリッド電気音声強調 ○田中 宏・戸田智基・Neubig Graham

Sakti Sakriani・中村 哲 (奈良先端大)

8. 聴覚障害・構音障害児童のための発音指導支援システム

○勝瀬郁代 (近畿大)・白石君男 (九大)・

小山博幸 (福岡県教育センター)・平島ユイ子 (国際医療福祉大)

9. 発話障害のある肢体不自由者のための音声による文字入力と PC 操作を可能にするシステム—音声認識エンジン Julius での開発—

○谷岡稔真・岡崎泰久 (佐賀大)・

渡辺健次 (広島大)・近藤弘樹 (佐賀大)

音声・福祉一般

10. ユーザに優しい対話のこぼし 市川 熹 (千葉大)

11. 補聴器装用下の音源定位 ○中川辰雄 (横浜国大)・佐藤正幸 (筑波技大)・高橋優宏 (横浜市大)

12. Ryry: 弾き飛ばし・弾き直しを含む演奏に追従する音響信号による自動伴奏システム ○酒向慎司・山本龍一・北村 正 (名工大)

14 日午前 安全・安心な社会を創る音声・聴覚情報処理 (一般講演 1)

1. 母音発声学習に用いる構音状態の可視化手法と定量的評価指標の検討 ○坂田 聡・三代国将・上田裕市 (熊本大)

2. 正規化ホルマント情報を用いたリアルタイム声道形状表示ツールの開発 ○三代国将・坂田 聡・上田裕市 (熊本大)

安全・安心な社会を創る音声・聴覚情報処理 (招待講演)

3. [招待講演] 屋外拡声系による音声了解度の評価とサイン音の開発—災害情報の屋外音声伝達性能の向上に関する技術開発— ○崔 正烈・森本政之 (東北大)・佐藤逸人 (神戸大)・坂本修一 (東北大)・岩谷幸雄 (東北学院大)・齋藤文孝・鈴木陽一 (東北大)

14 日午後 安全・安心な社会を創る音声・聴覚情報処理 (一般講演 2)

4. 雑音下の音声明瞭性に対するスペクトルエネルギー最適化の効果 田高礼子・清山信正・○今井 篤 (NHK)

5. Combining perceptually-motivated spectral shaping with loudness and duration modification for intelligibility enhancement of HMM-based synthetic speech in noise

Cassia Valentini-Botinhao (Univ. of Edinburgh)・

○Junichi Yamagishi (NII/Univ. of Edinburgh)・

Simon King (Univ. of Edinburgh)・

Yannis Stylianou (FORTH)

6. 災害報道字幕制作のための言語モデル更新 ○奥 貴裕・藤田悠哉・小林彰夫・佐藤庄衛 (NHK)

7. 高齢者に適した番組音調整装置の開発—家庭内で聞きとりやすい受信機を目指して— ○小森智康 (NHK エンジニアリングシステム)・今井 篤・清山信正・田高礼子 (NHK)・都木 徹 (NHK エンジニアリングシステム)・及川靖広 (早大)

聴覚・知覚

8. 音声刺激に対する聴性脳幹反応における若年者と高齢者の比較 ○藤平晴奈・白石君男 (九大)

9. /r-/l/ 訓練における年齢効果: 聴覚機能劣化の影響の有無 ○久保理恵子・赤木正人 (北陸先端大)

10. 韻律情報の知覚における個人性の識別 ○摺木啓一郎 (立命館大)・森勢将雅 (山梨大)・山下洋一 (立命館大)

◆日本音響学会; 音声研究会/聴覚研究会共催. IEEE Signal Processing Society Japan Chapter 協賛

◎14 日 15:00~15:15 に 2012 年度音声研究会研究奨励賞授賞式を行います。

第一種研究会開催案内

☆SP 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

7 月 25 日 (木)~27 日 (土) 壮鳳 (遠刈田温泉) [締切済]

テーマ: 認識, 理解, 対話, 一般

【問合先】

大谷大和 (東芝)

TEL [044] 549-2410, FAX [044] 520-1308

E-mail: yamato.ohtani@toshiba.co.jp

☆WIT 研究会

【問合先】

伊藤 尚 (富山高専)

E-mail: ito.nao@nc-toyama.ac.jp

★インターネットアーキテクチャ研究会 (IA)

専門委員長 石橋圭介

副委員長 秋山豊和・地引昌弘・中村 豊

幹事 衛藤将史・松浦知史

幹事補佐 義久智樹・山本 寛・渡里雅史

★情報通信システムセキュリティ研究会 (ICSS)

専門委員長 菊池浩明 副委員長 三宅 優・盛合志帆

幹事 西出隆志・白石善明 幹事補佐 植田 武

日時 6 月 20 日 (木) 13:40~17:15

21 日 (金) 10:15~14:55

会場 アオーレ長岡市民交流ホール A (長岡市大手通 1-4-10.

JR 長岡駅から徒歩 3 分. <http://www.city.nagaoka.niigata.jp/ao-re/access/>)

議題 インターネットセキュリティ, 一般

20 日 招待講演

1. [招待講演] 調整中

ICSS—セキュリティ

2. Hard Learning Problems に基づいた三者間における安全な匿名認証方式 ○岸部功太郎 (神戸大)・伊沢亮一 (NICT)・森井昌克 (神戸大)

3. Vulnerability of RC4 in SSL/TLS ○Yuhei Watanabe・Takanori Isobe (Kobe Univ.)・

Toshihiro Ohigashi (Hiroshima Univ.)・

Masakatu Morii (Kobe Univ.)

IA—ネットワーク管理

4. OpenFlow を用いた災害時の通信品質の向上—位置情報に基づく災害 ID 付与方式の提案— ○小川康一 (産技大)・吉浦紀晃 (埼玉大)

5. PAT: Privacy aware transformation method and applications for location services ○Ikuro Nakagawa・

Yoshifumi Hashimoto (Intec)・Masahiro Hiji (Tohoku Univ.)・

Hideaki Imaizumi (Toyota ITC)・Hiroshi Esaki (Univ. of Tokyo)

6. 広域分散ストレージを用いた長距離ライブマイグレーションの評価実験 ○北口善明 (金沢大)・近堂 徹 (広島大)・

柏崎礼生 (阪大)・中川郁夫 (インテック)

7. 岡山大学における電子メールシステムの運用と問題点 ○山井成良・岡山聖彦・藤原崇起・大隅淑弘 (岡山大)

21 日午前 IA—センサネットワーク

1. 長岡市における降積雪センサーネットワークの実証実験

○小林誠也・山本 寛 (長岡技科大)・

星 立人 (金井度量衡)・稲川雄一 (エヌ・シー・ティ)・

告 19

吉武晃一 (ネットワーク応用技研)・山崎克之 (長岡技科大)

2. Android を活用した除雪車支援アプリケーションの検討

○山本 寛・久保田祐介・西間木 哲・久蔵 健・  
山崎克之 (長岡技科大)

3. 複数配信元による P2P 型センサデータストリーム配信システムにおける負荷均等化手法の評価

○川上朋也 (神戸大)・石 芳正・義久智樹 (阪大)・寺西裕一 (NICT/阪大)

21 日午後 ICSS—ネットワーク観測

4. 擬似インターネットを用いたマルウェア動的解析のためのパケット転送制御方式の開発

○廣野壮志 (名大)・大平健司 (奈良先端大)・山口由紀子 (名大)・八幡博史 (東京電機大)・高倉弘喜 (名大)

5. データ実行防止機能を用いた汎用的なアンパッキング手法の提案

○伊沢亮一 (NICT)・神蘭雅紀 (NICT/セキュアブレイン)・井上大介 (NICT)

6. nictcr によるネットワーク観測および分析レポート—ネットワークインシデントの前兆—

○中里純二 (NICT)・島村隼平 (clwit)・衛藤将史・井上大介・中尾康二 (NICT)

7. nictcr の観測データを利用したリモート分析環境システムの提案

竹久達也 (ニッソ)

◎20 日 18:00~20:00 に懇親会, 21 日 14:40~14:50 に学生研究奨励賞授賞式を行います。

☆IA 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

9 月 IIJ [未定]

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

IA 研究会事務局 (九工大電子情報工学科尾家研究室)

TEL & FAX [0948] 29-7652

E-mail : ia-submission@mail.ieice.org

◎IA 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/ia/jpn/index.htm>

☆ICSS 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

7 月 18 日 (木), 19 日 (金) 札幌コンベンションセンター  
〔締切済〕 テーマ: セキュリティ, 一般

【問合せ先】

三宅 優 (KDDI 研)

TEL [049] 278-7367, FAX [049] 278-7510

E-mail : icss-request@mail.ieice.org

◎最新情報は, ICSS 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/icss/index.html>

—東海支部における開催—

★教育工学研究会 (ET)

専門委員長 赤倉貴子 副委員長 小西達裕

幹事 國宗永佳・光原弘幸 幹事補佐 東本崇仁・森本容介

日時 6 月 22 日 (土) 13:30~17:00

会場 南山大学名古屋キャンパス (名古屋市昭和区山里町 18.  
地下鉄名城線: 名古屋大学駅 1 番出口または地下鉄名城線: 八事日赤駅より徒歩約 8 分。 <http://www.nanzan-u.ac.jp/Information/access.html>)

議題 教育・学習支援に対する新展開/一般

1. 統計用語に注目して助言を行うデータ処理実習支援システム

○吉根勝美 (南山大)・磯本征雄 (名古屋女子大)・

長谷川 信 (岐阜聖徳学園大短大部)

2. 暗算を動的に補助する算数教材 宮田昌近 (白嶺情報科学研)

3. [招待講演] これからの高等教育機関に期待される役割—e  
テストシステムにおける個人認証モデルの展開—

赤倉貴子 (東京理科大)

4. 評価タグ機能を有した技能評価を目的とした映像アノテーションシステムの提案

○戸井英晃・國宗永佳・

新村正明 (信州大)

5. オンライン学習における学生ノートの記述内容がテスト得点に与える効果

○中山 実 (東工大)・六浦光一 (信州大)・

山本洋雄 (東工大)

6. Non-negative Matrix Factorization to Identify Motivation and Learning Strategies from Portfolio

○Dinh Thi Dong Phuong・Fumiko Harada・

Hiroimitsu Shimakawa (Ritsumeikan Univ.)

◆IEEE Education Society Japan Chapter 共催

☆ET 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

7 月 27 日 (土) 熊本大〔締切済〕 テーマ: e-Learning 新展開/一般

9 月 28 日 (土) 広島大東広島キャンパス [7 月 16 日 (火)]  
テーマ: 学習支援システムの新展開/一般

10 月 19 日 (土) 富山大五福キャンパス [8 月 12 日 (月)]  
テーマ: LMS と e-ポートフォリオ/一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

國宗永佳 (信州大)

TEL [026] 269-5502

E-mail : kunimune@cs.shinshu-u.ac.jp

◎原稿締切日までに原稿がアップロードされない場合には, 自動的に発表キャンセルとなります。原稿がない発表は認めていませんので御注意下さい。

★マイクロ波研究会 (MW)

専門委員長 黒木太司

副委員長 中津川征士・川上憲司・九鬼孝夫

幹事 河合 正・山之内慎吾 幹事補佐 清水隆志・大平昌敬

日時 6 月 27 日 (木) 11:00~16:35

28 日 (金) 9:00~14:45

会場 名古屋工業大学 6 号館 11 階大会議室 (名古屋市昭和区御器所町。中央本線: 鶴舞駅下車, 名大病院口から東へ約 400 m。地下鉄鶴舞線: 鶴舞駅下車, 4 番出口から東へ約 500 m。または, 地下鉄桜通線: 吹上駅下車, 5 番出口から西へ約 900 m。 <http://www.nitech.ac.jp/access/index.html>  
TEL [052] 735-7916 平田晃正)

議題 マイクロ波信号発生と計測技術/一般

27 日午前 2012 年度学生マイクロ波回路設計試作コンテスト受賞者による特別講演

1. [特別講演] 平行平板シリーズスタブと伝送線路ループによる立体的なマイクロ波帯バンドパスフィルタ

○南 昂孝・

大平 孝 (豊橋技科大)

2. [特別講演] 並行結合ストリップラインを用いた 5 段バンドパスフィルタ

○小原寛貴・近藤丈志・前田篤史・

- 松雪恵之・松永 樹 (佐賀大)
3. [特別講演] 2GHz帯集中定数素子面実装型フィルタの設計と試作 ○岡本仁成・清水隆志・古神義則 (宇都宮大)
  4. [特別講演] 誘電体やマイクロストリップ共振器を用いたフィルタのシールドによる高減衰実現の検討 ○澤原裕一・石崎俊雄 (龍谷大)
- 27日午後 2012年度学生マイクロ波回路設計試作コンテスト受賞者による特別講演 (13:30~)
5. [特別講演] コンポジット共振器を用いた低損失マイクロストリップ帯域通過フィルタの試作評価 ○青山裕之・大平昌敬・馬 哲旺 (埼玉大)
  6. [特別講演] ヘヤピン共振器を用いた9段チェビシェフ特性バンドパスフィルタの設計と試作 ○小坂修平・石崎俊雄 (龍谷大)
  7. [特別講演] タップ給電で減衰極を形成した2GHz帯8段スパイラル共振器バンドパスフィルタの開発 ○中谷圭吾・石崎俊雄 (龍谷大)
  8. [特別講演] 4段キャビティ型コムライン・フィルタの設計・試作と調整法の検討 三木拓典・○米田真喜・石崎俊雄 (龍谷大)

#### IEEE MTT-S名古屋チャプター特別講演

9. [特別講演] マイクロ波マンモグラフィの開発 桑原義彦 (静岡大)
10. [特別講演] 先進自動車エレクトロニクスの開発動向 ○佐藤和夫・服部佳晋 (豊田中研)

#### 28日午前 一般講演

1. 同相同期式K帯プッシュプッシュ共振器の試作 ○高橋勇人・塩見英久・岡村康行 (阪大)
2. 金属ロッド共振器を用いた60GHz帯反射型自己注入型NRDガイドガン共振器の発振特性 一瀬健人・國重健吾・○黒木太司 (呉高専)
3. Series/Shunt構成を用いた60GHz帯90nm Si-CMOS高耐電力T/Rスイッチ ○谷藤正一・亀田 卓・末松憲治・高木 直・坪内和夫 (東北大)
4. 折り返し左手系導波管を用いた方向性結合器の設計 ○竹本周平・岸原充佳・大久保賢祐・滝本裕則 (岡山県立大)・太田 勲 (兵庫県立大)
5. 直列型H面導波管TE<sub>10</sub>-TE<sub>p0</sub>モード変換器とその応用 池内裕章・○太田 勲・河合 正 (兵庫県立大)・岸原充佳 (岡山県立大)
6. TM<sub>010</sub>モード円筒空洞共振器を用いた複素誘電率摂動法の電磁界解析に基づく高精度補正 ○川端広一 (東毛産技センター)・小林禎夫 (サメテック)

#### 28日午後 (13:15~)

7. 誘電泳動と進行波電界を用いた血液細胞の分離 ○江口正徳・山川 烈 (フジシステム研)
8. 誘電泳動を用いた細胞分離用電極の高周波特性の計算 ○黒木太司・明石 歩 (呉高専)・江口正徳・山川 烈 (フジシステム研)
9. On Quasi-static Approximation in SAR Evaluation Due to Wireless Power Transfer System ○Akimasa Hirata・Fumihito Itoh・Ilkka Laakso (Nagoya Inst. of Tech.)

◆IEEE MTT-S Nagoya Chapter 共催, IEEE MTT-S Japan Chapter, IEEE MTT-S Kansai Chapter 協賛

◎27日研究会終了後,懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆MW研究会今後の予定 [ ]内発表申込締切日

- 7月18日(木), 19日(金) 稚内総合文化センター [締切済]  
 テーマ:マイクロ波フォトニクス技術, 一般  
 9月12日(木), 13日(金) NHK技研 [7月10日(水)]  
 テーマ:マイクロ波ミリ波, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

#### 【問合せ先】

清水隆志 (宇都宮大)  
 TEL & FAX [028] 689-6132  
 E-mail: tshimizu@cc.utsunomiya-u.ac.jp  
 河合 正 (兵庫県立大)  
 TEL & FAX [079] 267-4873  
 E-mail: kawai@eng.u-hyogo.ac.jp

### ——北陸支部における開催——

#### ★情報ネットワーク研究会 (IN)

専門委員長 浅見 徹 副委員長 小林秀承  
 幹事 五十嵐弓将・荒井大輔 幹事補佐 野村啓仁・大下裕一

日時 6月20日(木) 14:00~17:00  
 21日(金) 10:00~14:40

会場 福井大学文京キャンパスアカデミーホール (福井市文京3-9-1, JR福井駅東口で乗り換え, えちぜん鉄道:福井駅で三国芦原線に乗車(約10分)し, 福大前西福井駅下車, [http://www.u-fukui.ac.jp/cont\\_about/outline/access.html](http://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/outline/access.html))

議題 データ分析・処理基盤, セキュリティ・プライバシー保護技術, ネットワークコーディング, 信頼性技術, DDoS, 認証/ID管理, 及び一般

#### 20日

1. A Community Oriented Information-Centric Network ○Ruidong Li・Hitoshi Asaeda (NICT)
2. C言語による動的リコンフィギュラブルハードウェアへのWindow Joinの実装 ○福田エリック駿 (北大)・川島英之 (筑波大)・井上浩明 (NEC)・浅井哲也・本村真人 (北大)
3. ファイルの操作履歴を可視化するトレーサビリティ基盤技術の適用 五郎丸秀樹 (NTT西日本)
4. [招待講演] クラウドコンピューティング・SDNの検証環境の構築と運用について—StarBEDの現状と今後— 三輪信介 (NICT)
5. [招待講演] 「ひかりTV」の現状と今後の取り組みについて 高屋和幸 (NTTふら)

#### 21日午前

1. 広域分散ストレージの品質保証 (SLA) の提案と安定性試験 ○渡邊英伸・岩間 司・村田健史 (NICT)・鶴川健太郎・村永和哉・鈴木 豊 (セック)・木村映善 (愛媛大)・建部修見 (筑波大)
2. 大規模スケールアウトにおける仮想マシン起動時間短縮手法の提案と評価 ○近藤 毅・首藤裕一・波戸邦夫 (NTT)
3. [招待講演] 情報通信システムにおけるシミュレーションの歩みと今後の可能性—OpenFlow技術へのシミュレーション適用の可能性について— 多田正浩 (情報工房)

#### 21日午後

4. ノードが密集した環境下でのMANETの経路構築法の検討

○池間優司・水野 修 (工学院大)

舟木 剛 (阪大)

5. Power Adjustment Based on Anti-Windup Control in Cognitive Radio Networks Yukinori Nakamura

5. 電力変換回路に適用するインダクタの大信号銅損モデルに関する一検討 井淵貴章・舟木 剛 (阪大)

(Tokyo Univ. of Agriculture and Tech.)・

○Takuji Tachibana (Univ. of Fukui)

6. Robustness-based Topology Design with SINR and Spatial Reuse in Multi-hop Wireless Network ○Noritsugu Handa・

6. CMOS 基板内寄生結合を考慮した LSI 電源系の高周波等価回路の抽出 松嶋 徹・木村 誠・久門尚史・和田修己 (京大)

Takuji Tachibana・Toshikazu Hori (Univ. of Fukui)

7. 人工衛星及び宇宙ステーションからの雷放電電磁波観測 菊池博史 (阪大)・森本健志 (近畿大)・吉田 智・牛尾知雄・

7. 大規模ワイヤレスセンサネットワークにおけるデータ収集手法の一検討 ○石橋孝一・柚 信吾・曾我部靖志 (三菱電機)

河崎善一郎 (阪大)・佐藤光輝 (北大)・鈴木 睦 (JAXA)

☆IN 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

午後 (13:35~)

7月18日(木), 19日(金) 北大〔締切済〕テーマ:クラウドネットワーク技術, SDN, OpenFlow, プライベートネットワーク (VPN), オーバレイネットワーク・P2P, ネットワーク構成技術及び一般

EMCJ-8. プリント配線板給電配線の CMRR 測定における測定系の影響 ○鳥崎 睦 (三菱電機)・浅井秀樹 (静岡大)

8月 休会

EMCJ-9. 1ポート測定による相反3ポート回路のSパラメータの推定 ○前田 登・福井伸治 (日本自動車部品総研)・

9月12日(木), 13日(金) 東北大〔7月12日(金)〕テーマ:ポストIPネットワーク, 次世代・新世代ネットワーク (NGN), 障害対策・BCP, ネットワークコーディング, セッション管理 (SIP・IMS), 相互接続技術/標準化, ネットワーク構成管理及び一般

関根敏和・高橋康宏 (岐阜大)

EMCJ-10. 複素透磁率の周波数分散に対する反磁界の影響

—Maxwell 方程式と LLG 方程式の適切な使い分け—

EMCJ-11. 導電材料と磁性材料を層状に複合したノイズ抑制シートの試作と評価 ○山本一美 (戸田工業)・仁井田麻理・

穂園秀樹 (日本モレックス)・生畠量久・藤坂尚登・神尾武司 (広島市大)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

EMCJ-12. 金属被覆された不織布による電界抑制効果のシート抵抗依存性 ○室賀 翔・浅妻裕己 (東北大)・田中智也・

#### 【問合せ先】

IN 研究会幹事及び幹事補佐

岡村知恵・岡嶋真一・加藤一史 (旭化成<sup>株</sup>)・

E-mail: in\_ac-kanji-2007@mail.ieice.org

五十嵐弓将 (NTT)

山口正洋 (東北大)

TEL [0422] 59-2873, FAX [0422] 59-5671

野村啓仁 (NTT)

EMCJ-13. 駆動ケーブルに流れるコモンモード妨害波に対するスイッチタイミングの影響に関する基礎検討 ○内田敏哉・

TEL [0422] 59-3946, FAX [0422] 59-5671

◎IN 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/in/jpn/>

桑原伸夫 (九工大)・佐藤秀也 (大和冷機)

◎なお, 原稿の締切日を過ぎますと技報への掲載ができなくなり, 原稿なしでの御発表となります。プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

EMCJ-14. 金属線周期配列材と誘電体積層構造の反射・透過特性 山本真一郎・○末崎健太・畠山賢一 (兵庫県立大)・

### —— 関西支部における開催 ——

#### ★環境電磁工学研究会 (EMCJ)

専門委員長 多氣昌生 副委員長 曾根秀昭

幹事 王 建青・秋山佳春 幹事補佐 平井義人・肖 鳳超

EMCJ-15. [特別講演] 半導体集積回路の EMC—マクロモデルと国際標準化— 和田修己 (京大)

日時 6月21日(金) 9:30~17:40

会場 京都大学吉田キャンパス工学部電気総合館 (3号館北棟東隣)3階中講義室(京都市左京区吉田本町, 京都市バスにて百万遍または京大農学部前下車, [http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r\\_y.htm](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r_y.htm) TEL[075]383-2244 和田修己)

議題 EMC, 一般

◆電気学会; 電磁環境技術委員会連催, IEEE EMC Society Sendai Chapter 協賛

◎研究会終了後, 懇親会を予定していますので奮って御参加下さい。

☆EMCJ 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

7月11日(木) 機械振興会館〔締切済〕テーマ:若手研究者発表会

7月12日(金) 機械振興会館〔締切済〕テーマ:放電, 実装, EMC, 一般

8月 休会

9月13日(金) 北大〔7月15日(月)〕テーマ:生体, EMC, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

#### 【問合せ先】

青柳貴洋 (東工大大学院社会理工学研究科人間行動システム専攻)

〒152-8552 目黒区大岡山 2-12-1-W9-110

TEL & FAX [03] 5734-2992

E-mail: emcj@mail.ieice.org

## ★コンピューテーション研究会 (COMP)

専門委員長 今井桂子 副委員長 伊藤大雄  
幹事 河村彰星・全 眞嬉

日時 6月24日(月) 10:00~16:20

会場 奈良女子大学記念館2階講堂(奈良市北魚屋西町, 最寄  
駅: 近鉄奈良駅, 交通案内及び駅から会場までのアクセスマ  
ップ: <http://www.nara-wu.ac.jp/map/accessmap.html> 松澤  
淳一)

### 議題

- Morpion Solitaire: A new upper bound of the maximum score  
Akitoshi Kawamura (Univ. of Tokyo)・  
○Takuma Okamoto・Yuichi Tatsu・Yushi Uno・  
Masahide Yamato (Osaka Prefecture Univ.)
- 道路ネットワークでの枝刈りパスラベリングによる最短路ク  
エリ ○河田祐樹・秋葉拓哉・岩田陽一(東大)
- Errors and improvements of the Bethe approximation for  
constraint satisfaction problems  
Ryuhei Mori (Tokyo Inst. of Tech.)
- [チュートリアル講演] 計算複雑さへの招待(3): 数理論計画  
法から攻める計算限界 上野賢哉(京大)
- 単調論理関数双対化を用いたパラメトリック整数計画アルゴ  
リズムについて 夫 紀恵(NII)・○渋谷敬史(九大)
- Stronger Methods of Making Quantum Interactive Proofs  
Perfectly Complete Hirotsada Kobayashi (NII)・  
Francois Le Gall (Univ. of Tokyo)・  
○Harumichi Nishimura (Nagoya Univ.)

☆COMP 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

9月3日(火) 鳥取環境大 [6月5日(水)]

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

### 【問合先】

河村彰星(東大大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻)

〒113-8656 文京区本郷7-3-1

E-mail: kawamura@is.s.u-tokyo.ac.jp

## ——九州支部における開催——

## ★スマートインフォメディアシステム研究会 (SIS)

専門委員長 尾上孝雄 副委員長 棟安実治・田中宏和  
幹事 筒井 弘・目黒光彦 幹事補佐 田中 豪・原田康祐

日時 6月13日(木) 10:30~16:10

14日(金) 10:00~11:50

会場 宝山ホール第5会議室(鹿児島市山下町5-3, JR鹿児島  
中央駅またはJR鹿児島駅より鹿児島市電: 朝日通駅下車, 朝  
日通駅より徒歩3分, <http://www.houzanhall.com/access/>  
TEL [099] 223-4221 (会場) 尾上孝雄(阪大))

議題 スマートパーソナルシステム, 一般

13日午前

- 耐災害 ICT 機能を有するストレージデータ階層的伝送シス  
テム ○仲地孝之・金 順暎・藤井竜也 (NTT)
- 時空間符号化伝送の誤り制御方式の検討 ○山崎彰一郎・  
松嶋智子(職能開発大)・田中宏和(東芝)
- 反転 MPSC 系列を用いた照明光 CDMA 通信システムの評価

第一種研究会開催案内

○松嶋智子・角山正樹・山崎彰一郎(職能開発大)・  
村田悠也(東工大)・寺町康昌(脳機能研)

13日午後

- [チュートリアル講演] 暗号領域における信号処理—暗号化  
された信号を処理する技術の開発— 宮崎明雄(九州産大)
- 頂点彩色アルゴリズムを用いたグレースケール変換の一提案  
田中 豪(名古屋大)
- ファジィクラスタリングを用いた出力切替型適応荷重平均値  
フィルタ 今井雄大・○棟安実治(関西大)
- QR 分解を用いた JPEG2000 符号化画像のための電子透かし  
法 ○黒崎正行・松尾宗明・尾知 博(九工大)
- スケーラブル DVC における変換量子化回路の VLSI 設計  
○田中鳴海・岡田雅司(阪大)・迫水 和仁(阪大/OKI)・  
尾上孝雄(阪大)
- [招待講演] 福岡システム LSI カレッジの活動について  
(仮) 佐伯博海(福岡県産業・科学技術振興財団)

14日

- [チュートリアル講演] 画像処理ハードウェア IP の設計事例  
—適応的輝度補正 IP の開発— 筒井 弘(京大)
- 結合型プライシングによる時系列パラメータの同時変化のモ  
デル化とベイズ手法によるその推定 ○時永祥三(九大)・  
池田欽一(北九州市大)
- 線形予測理論を用いた類似発音単語識別のためのロバスト音  
声認識 ○渡邊真紀・宮永喜一(北大)
- Efficiency improvement in dynamic time warping algorithms  
for isolated word recognition ○Xihao Sun・  
Yoshikazu Miyayama (Hokkaido Univ.)

☆SIS 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

9月12日(木), 13日(金) 東京 [未定] テーマ: 知的マル  
チメディアシステム, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

### 【問合先】

筒井 弘(京大)

E-mail: tsutsui@easter.kuee.kyoto-u.ac.jp

## ★ニューロコンピューティング研究会 (NC)

専門委員長 古川徹生 副委員長 小池康晴  
幹事 宮下真信・林 勲 幹事補佐 木村聡貴・山崎 匡

日時 6月27日(木) 13:40~17:00

28日(金) 9:30~18:20

会場 沖縄科学技術大学院大学(国頭郡恩納村字谷茶1919-1,  
<http://www.oist.jp/ja/> TEL [098] 966-8594 吉本潤一郎)

議題 機械学習によるバイオデータマイニング, 一般  
27日 一般

- Sparse k-mer graph アルゴリズムの評価と Velvet への実装  
○吉川舜亮・石田貴士・関嶋政和・秋山 泰(東工大)
- 情報科学的手法による non-coding RNA の遺伝子発現制御機  
構の解析 ○林 知里・権 娟大・宮崎 智(東京理科大)
- 医薬品の構造式を起点とした ADME 予測モデルの構築  
○川島悠一・権 娟大・宮崎 智(東京理科大)
- 3次元 fused Lasso を用いた脳活動解析  
吉田光佑(京大/OIST)
- Elucidation of the soil microbial community in agricultural

告 23

- soils ○Yudai Suzuki (Chuo Univ.)・Kazunari Yokoyama (National Agricultural Research Center)・Naomi Sakuramoto (DGC Tech.)・Y-h. Taguchi (Chuo Univ.)
- NC-6. 埋め込み型皮質脳波・NIRS 複合脳活動計測フレキシブルプローブの設計と試作 ○木村学人・山川俊貴 (静岡大)・井上貴雄・藤井正美・鈴木倫保 (山口大)・庭山雅嗣 (静岡大)
- NC-7. 遮蔽輪郭における多重解像度曲率情報に基づく一般物体認識手法 ○松田雄馬・小川雅嗣 (NEC)・矢野雅文 (東北大)
- NC-8. 形状空間法を用いた火星航空機翼型の分析 ○糸永恭平 (九工大)・薬師寺 翔 (カナル)・大山 聖 (JAXA)・古川徹生 (九工大)

28 日午前

- NC-1. 両手力制御における短期干渉と長期協調 ○阿部匡樹・渡邊克巳 (東大)
- NC-2. 視線と頭部姿勢からの車線変更意図推定—熟練者と非熟練者の差異— ○加藤綾華・柴田智広 (奈良先端大)・坂東啓司 (アソ)・池田和司 (奈良先端大)
- NC-3. 自己連想記憶に最適な STDP と位相応答曲線の探索 ○宮田龍太 (東工大/学振)・佐藤圭太・青西 亨 (東工大)
- NC-4. 混合ルールセルラーオートマトンへの周期信号の学習とその安定性 ○澤山 良・斎藤利通 (法政大)
- NC-5. 動的バイナリニューラルネットのスパース性と安定性 ○森安淳吾・斎藤利通 (法政大)

28 日午後 (13:10~)

- NC-6. マカクザルにおける統計的単語分割に関する神経相関の特定 ○田村 潤・久保孝富 (奈良先端大)・Ivana Wongwajarachot・長坂泰勇・大杉直也 (理研)・池田和司 (奈良先端大)・藤井直敬 (理研)
- NC-7. 軸索伸長因子の主要相互作用推定 ○丸野由希 (奈良先端大)・作村諭一 (愛知県立大)・池田和司 (奈良先端大)
- NC-8. 局所脳冷却のてんかん性放電抑制効果に関するシミュレーションによる評価 ○山村頼子・久保孝富 (奈良先端大)・山川俊貴 (静岡大)・池田和司 (奈良先端大)
- NC-9. 共進化型追跡ゲームでの移動戦略獲得における有性生殖の優位性の検証 ○佐藤 尚 (沖縄高専)・比嘉康晴 (ピタサー)
- 合同企画セッション：バイオデータマイニング
- NC-10. ニューラルネットによるパターン分類におけるパターンコーディングの効果 ○丹野智博・堀江和正・小林高彰・森田昌彦 (筑波大)
- NC-11. スパイクデータ解析のためのグラフ構造モデリング ○樋口 翔・野田淳史 (早大)・日野英逸 (筑波大)・村田 昇 (早大)
12. Distinction of Type 2 diabetes using SVM, miRNA as features ○Shodai Katsukawa・Y-h. Taguchi (Chuo Univ.)
13. Protein Subcellular Location Prediction Using Principal Component Analysis ○Daichi Nogami・Yuichi Nakano・Y-h. Taguchi (Chuo Univ.)
14. スパース統計モデルによる薬物-疾患ネットワークの予測 ○岩田浩明・山西芳裕 (九大)
15. 機械学習を用いたマスマスペクトルデータからの糖鎖構造推定法の開発 ○雲崎翔太郎・佐藤健吾・榊原康文 (慶大)

招待講演

16. SRPBS for BMI Research and Decoded Neurofeedback Mitsuo Kawato (ATR)
- ◆情報処理学会；バイオ情報学研究会連催。日本神経回路学会、IEEE Computational Intelligence Society Japan Chapter 共催
- ◎28 日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。
- ☆NC 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日
- 7 月 19 日 (金), 20 日 (土) 徳島大 [締切済] テーマ: ME, 一般
- 9 月 新潟大

【問合先】

木村聡貴 (NTT コミュニケーション科学基礎研究所)  
〒243-0198 厚木市森の里若宮 3-1  
TEL [046] 240-3681, FAX [046] 240-4721  
E-mail: kimura.toshitaka@lab.ntt.co.jp

◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●第 24 回サイバーワールド (CW) 研究会

テーマ：自動車の安全の増強と自動走行(自動運転)の技術と施策  
サイバーワールド (CW) 二種研究会では、下記のとおり第 24 回目の研究会を開催します。皆様の多数の御参加と活発な意見交換をお待ちしております。

国土管理における情報技術の活用など地図情報の共有化が進んでいる。また、自動車については自動ブレーキが販売が好調であり、欧州のアセスメントプログラム EuroNCAP2014 年から取り上げられ、自動運転の実験がマスコミを通じて流れるなど、自動運転は近いところにあるようにも見えます。そこで第 24 回 CW 研究会では、「自動車の安全の増強と自動走行 (自動運転) の技術と施策」と題し、図面や地図情報の共有化、自動車の安全の増強と自動走行に関わる技術や施策について、現状、方向性、連携や応用の試みについて、活発な議論を行いたいと思います。同時に、自動車以外の分野での研究、情報処理との関連について考えていきたいと思っています。

また、皆様の日頃の研究成果やビジネスでの御活用など、通常の研究会とは違った広い範囲での「研究成果」の御発表を募集致します。また、様々な討議の場として御活用頂ければ幸いです。皆様、奮って御参加下さい。

キーワード：自動車 自動走行 自動運転 地図情報

期日 平成 25 年 6 月 7 日 (金)

会場 国土交通省国土技術政策総合研究所

参加費：無料 (資料代 2,000 円)

資料代は当日現金にてお支払い下さい。

研究会プログラム 未定 (招待講演 未定)

懇親会 研究会終了後 (18:30~)、懇親会 (有料・参加希望者のみ) を企画しております。是非御参加下さい。

【第 24 回研究会問合先】

高橋 亨 (日立ソフトウェア事業部新分野事業推進室)

E-mail: toru.takahashi.bq@hitachi.com

成田雅彦 (産技大産業技術研究科)

E-mail: masahiko-narita@aait.ac.jp

【問合先】 幹事



石川彰夫 (NICT)

E-mail : ao-ishikawa@nict.go.jp

河野義広 (東京情報大)

E-mail : ykawano@rsch.tuis.ac.jp

主催 サイバーワールド時限研究専門委員会

<http://www.ieice.org/~cw/jpn/index.html>

### ●第3回安全・安心な生活のための情報通信システム (ICSSSL) 研究会

委員長 岡田和則 (NICT) 副委員長 田村 裕 (中大)

日時 平成25年6月13日(木) 13:30~17:15

14日(金) 10:00~12:00

会場 芝浦工業大学豊洲キャンパス交流棟4階401教室(江東区豊洲3-7-5. [http://www.shibaura-it.ac.jp/about/campus\\_toyosu.html](http://www.shibaura-it.ac.jp/about/campus_toyosu.html))

#### 概要

2011年3月11日の東日本大震災以降、南海トラフ地震、首都直下型地震等の被害想定が見直されるなど、私たちの生活は、新たな脅威にさらされています。このような大規模な自然災害だけではなく、交通事故、誘拐等児童への犯罪等の様々な脅威が、私たちの日常生活を脅かしています。これらの被害を避ける、軽減する、更には、大規模災害時の復興や地域再生のために、情報通信システムが果たすべき役割は大きいと考えられます。当研究会では、真に役立つシステムの実現のため、これらの情報通信技術の研究開発だけでなく、災害時に求められる情報の在り方などの社会科学分野などとの学際的な検討を目指しています。

第3回研究会では、消防庁消防大学校消防研究センターの細川直史氏から「消防防災の応急対応を支援する情報通信」と題した特別講演と、柴山和久氏((株)Agoop)からの特別講演「安全・安心な社会実現のための携帯端末の通信インフラを活用した空間解析(仮題)」を企画しており、一般講演の最新の研究成果だけでなく、消防防災でのICTの活用や携帯端末を活用した位置情報ソリューションの動向を知ることができる有意義な研究会になるものと期待されます。また、懇親会を13日夕方に企画しておりますので、奮って御参加下さい。

#### プログラム

##### 13日

1. 大規模災害時における再呼を考慮したトラヒック特性に関する一考察—マルチビーム衛星リソース割当簡易モデルでの評価—  
○大森和久・岡田和則(NICT/電通大)
2. センサネットワーク長寿命化のための遺伝的アルゴリズムを用いたクラスタツリー構成法  
○Tianchen Ren・六浦光一・半田志郎・田中 清・エルナンアギレ・笹森文仁・田久 修(信州大)
3. 新潟エリアにおけるETC安全対策の取り組みについて  
○太田和宏・佐藤雅英・白井智徳(東日本高速道路)
4. [特別講演] 安全・安心な社会実現のための携帯端末の通信インフラを活用した空間解析(仮題) 柴山和久(Agoop)
5. [特別講演] 消防防災の応急対応を支援する情報通信  
細川直史(消防研究センター)

##### 14日

1. アドホックネットワークにおけるネットワークコーディングを用いたルーティングプロトコルと端末の負荷分散  
名達明裕・○田村 裕(中大)・篠田庄司(早大)
2. 無線LANを用いた歩行者支援システムの検討

第二種研究会開催案内

○高子晴一郎・三浦真幸・秋月 治(宮城大)

3. 物々交換モデルに従うDTN通信について ○升田 隆・

中野敬介・宮北和之・浅間祐人・前田義信(新潟大)

4. 利用者数の偏りを考慮した電気自動車の充電設備配置に関する考察  
○佐藤 駿・中野敬介・宮北和之(新潟大)

#### 【参加申込】

参加費 3,000円(資料代含む)

参加申込 氏名、連絡先、懇親会参加の有無を下記問合先へ6月11日(火)までに、お申し込み下さい。

#### 【申込先・問合先】

中野敬介(新潟大)

TEL & FAX [025] 262-6751

E-mail : nakano@ie.niigata-u.ac.jp

川上 博(NTTドコモ)

TEL [046] 840-3870, FAX [046] 840-3781

E-mail : kawakamih@nttdocomo.co.jp

◎最新情報を研究会 Web ページ (<http://www.ieice.org/ess/icsssl/>) で掲載致しますので御参照下さい。

主催 安全・安心な生活のための情報通信システム時限研究専門委員会

協賛 IEEE Circuits and Systems Society Japan Chapter

日本シミュレーション学会多次元移動通信網研究専門委員会

### ●次世代ナノ技術に関する時限研専主催研究会

材料デバイスサマーマーケティング「ナノデバイスを  
用いたフォトニクス応用の広がり」

委員長 小森和弘(産総研)

概要 フォトニクス技術の最新の応用展開をエネルギー・センサ・バイオ・エレクトロニクス等の領域融合の観点で探究します。

日時 平成25年6月21日(金) 13:25~17:05

会場 機械振興会館地下3階1号室(港区芝公園3-5-8. 東京メトロ日比谷線:神谷町駅下車徒歩10分, JR:浜松町駅下車徒歩20分, 都営地下鉄三田線:御成門駅・大江戸線:赤羽橋駅下車徒歩10分. [http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map\\_kaikan.htm](http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map_kaikan.htm) TEL [03] 3434-8211)

#### プログラム(題名仮)

1. 委員長挨拶
  2. フォトニクス・エネルギー融合 野田 進(京大)
  3. フォトニクス・センシング融合 稲田博史(住友電工)
  4. フォトニクス・バイオ融合 一木隆範(東大)
  5. フォトニクス・エレクトロニクス融合 中村隆宏(PETRA)
- 定員 40名(定員になり次第締め切らせて頂きます。)

参加費 一般4,000円, 学生1,000円(資料代含む。当日会場にてお支払い下さい。)

申込方法 氏名、連絡先(会社あるいは学校名、所属、郵便番号、所在地、電話番号)、領収書の有無を明記の上、E-mailまたはFAXで下記問合先までお送り下さい。もしくは、ホームページを御覧下さい。申し込み後、当委員より御連絡を差し上げます。  
申込締切 6月18日(火)

◎研究会終了後、交流会を予定しております。(参加費4,000円、準備の都合上、事前の参加登録をお願いします。)

#### 【問合先】

加々見丈二(神港精機)

E-mail : g-kagami@shinko-seiki.com

FAX [078] 991-3018

告25

主催 次世代ナノ技術に関する時限研究専門委員会

<http://www.ieice.org/~nnn/index.html> “次世代ナノ技術”で検索

## ●光応用電磁界計測 (PEM) 時限研究専門委員会第4回研究会

委員長 陳 強 (東北大)

本時限研究専門委員会は、急速に進化・変貌を遂げつつある電磁界環境を正確に評価・計測するために、電磁界と光・物質との多彩な応答を利用した、新しい電磁界計測技術を追求することを目標としています。計測対象とする電磁界は、アンテナや高周波回路だけでなく、プラズマ電磁界、宇宙到来電磁波など、人工及び自然発生電磁界全般を含みます。第4回のPEM研究会は、光応用電磁界計測のキーデバイスである光電界センサ (EO センサ) の特集として開催します。研究会の出席は自由で事前申し込みは不要です。多数の皆様のお参加をお待ちしております。

日時 平成25年6月28日 (金) 10:00~15:30 (予定)

会場 北海道大学大学院情報科学研究科会議室 (札幌市北区北14条西9丁目)

テーマ「光電界センサの基礎と最新の技術動向」

内容 (予定)

[チュートリアル講演] 電気光学効果と光電界センサ

村田博司 (阪大)

[一般講演] 光電界センサの安定性向上 (仮題)

鳥羽良和 (精工技研)

[一般講演] 広帯域メタルフリー光電界センサのタイムドメイン計測 (仮題)

セツト ジ イオン (アルネアラボラトリ)

[一般講演] 光電界プローブを用いた全身平均 SAR 測定系の構築 (仮題)

日景 隆 (北大)

[招待講演] 光技術を用いた高電圧・放電プラズマ計測

日高邦彦 (東大)

参加費 (資料代金込み): 2,000円

**【問合先】** 幹事

村田博司 (阪大大学院基礎工学研究科)

TEL [06] 6850-6306

E-mail murata@ee.osaka-u.ac.jp

都甲浩芳 (NTT マイクロシステムインテグレーション研究所)

TEL [046] 240-2070

E-mail togo.hiroyoshi@lab.ntt.co.jp

◎前日 (6月27日 (木)) に、同じ会場で電気学会計測研究会が開催されます。詳細のプログラムは、<http://www2.iee.or.jp/~aim/>を御覧下さい。

☆PEM 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切

10月3日 (木), 4日 (金) 金沢大サテライトプラザ [8月10日 (土)] AP研究会, AMT研究会併催

申し込み及び投稿に関する問い合わせは、PEM 研幹事までお願いいたします。

◎PEM 研の今後の予定などについては、PEM 研ホームページ <http://www.ieice.org/~pem/>で御覧頂けます。

主 催 光応用電磁界計測時限研究専門委員会

併 催 電気学会; 計測研究会

協 賛 アルネアラボラトリ

## ●Workshop (OECC/PS 2013) : Future perspective of photonic transport network

Part I Beyond 100G technologies and standardization

Part II Space division multiplexing for petabit/fiber transmission

日時 平成25年6月30日 (日) 13:30~18:00

会場 国立京都国際会館 (京都市左京区宝ヶ池。JR 京都駅から地下鉄烏丸線: 国際会館行乗車, 国際会館下車, 徒歩5分。  
<http://www.icckyo.or.jp/>)

概要

100 Gb/s-digital coherent systems are beginning to enter commercial use. Advanced multiplexing technologies offering higher capacities are being actively studied. However, the optical signal power is approaching the fiber input power limit. Recently, enhancement of the transmission capacity with space-division-multiplexing (SDM) has been studied to sidestep this limit. In this workshop, we report current technical trends in high speed devices and network architectures, and current standardization activities for beyond 100G systems (Part 1). The states and problems of SDM technologies for Pb/s-class large capacity transmission are discussed from the viewpoints of optical fibers, optical devices, and transmission technologies (Part 2).

プログラム

Part1 : Beyond 100G technologies and standardization

1. Standardization activities on next generation 100 GbE and beyond for future small form factor optical transceiver for high-density and high-bandwidth client side optical interfaces enabling multi-Tbps front panel bandwidth

Kiyohisa Hiramoto (Oclaro)

2. Next generation DSP for beyond 100G

Etsushi Yamazaki (NTT)

3. Next generation transponder and system design

Maxim Kuschnerov (NSN Optical GmbH)

4. Flexible modulation formats in next-generation packet-optical transport systems

Dirk van den Borne (Juniper)

5. Elastic optical network design : What impacts are brought by flexible grid

Motoyoshi Sekiya (Fujitsu Lab. of America)

6. MIMO and OFDM for 100 Gb/s and Beyond Long-Haul Transmission

Neda Cvijetic (NEC Lab. America)

Part2 : Space division multiplexing for petabit/fiber transmission

1. Recent progress in multicore fibers for large capacity SDM

Kunimasa Saitoh

Masanori Koshiha (Hokkaido Univ.)

Katsuhiko Takenaga

Shoichiro Matsuo (Fujikura)

2. Multicore EDFA for Space Division Multiplexing

Yukihiro Tsuchida

Koichi Maeda

Masateru Tadakuma

Ryuichi Sugizaki (Furukawa)

3. Few-mode doped fibers for SDM amplifiers

Massimiliano Salsi (Alcatel-Lucent)

4. Large capacity multicore transmission technologies

Akihide Sano (NTT)

5. Long distance multicore fiber transmission

Hidenori Takahashi (KDDI R & D Labs.)

6. Recent progress within the EU project FP7 IST Modgap

H. de Waardt・H. Chen・V.J.A.M. Sleiffer・

R.G.H. Uden・C.M. Okonkwo・

A.J.M. Koonen (Eindhoven Univ.)

7. Heterogeneous Multicore Fiber for Record Petabit/s Transmission at over 100 b/s/Hz Ezra Ip (NEC Lab. America)・

Ming-Jun Li (Corning)

8. Panel discussion Moderator: Toshio Morioka (DTU)

参加資格 特に関いません。

参加費 CLEO-PR & OECC/PS 2013 へのレジストレーションが必要で

【参加申込】 申込み方法につきましては、下記ホームページを御参照願います。

<http://www.cleopr-oecc-ps2013.org/index.html>

【問合せ先】 OCS 研究会幹事

斎藤恒聡 (古河電工)

TEL [0436] 42-1725, FAX [0436] 42-9340

E-mail: tsune@ch.furukawa.co.jp

主催 光通信システム研究専門委員会, 光ファイバ応用技術専門委員会, 光通信インフラの飛躍的な高度化に関する時限研究専門委員会

## ●第 51 回機能集積情報システム研究会

委員長 肥川宏臣 (関西大)

期日 平成 25 年 7 月 5 日 (金)

会場 桐生市市民文化会館 (桐生市織姫町 2-5. <http://www.kiryu-piif.jp/map/map.html>)

概要

本研究会は、ディベンダブルコンピューティング研究専門委員会の下での第二種研究会として開催します。本研究会は、平成 3 年に設置された「ウェーハスケール集積システム時限研究専門委員会」以降、複数の時限研究専門委員会の下での研究会を経て現在の研究会に引き継がれました。近年の LSI 製造技術の進歩により、大規模かつ斬新な情報処理機能をシリコンウェーハあるいは大規模 IC チップ上に集積・実装する情報システム FIIS (Functional Integrated Information System) の構築技術が注目されています。そこで、本研究会では次に示す幅広い研究分野を対象としています。

まず、IC チップ製造段階では、チップの歩留まり解析、歩留まり向上設計法、レイアウト解析、フォールトトレラント手法などが挙げられます。また、IC チップ上の情報システム構築 (SOC: System On Chip) 技術としては、IC 内部の欠陥検出法 (テスト手法や BIST: Build In Self Test) や誤り訂正・回復技術、故障を許容する高並列プロセッサや相互結合網の再構成方式、耐故障再構成可能情報システムの構築技術、動的再構成可能情報システムの構築技術、低消費電力技術などが挙げられます。更には、故障モデルの解析、信頼度解析、性能評価などの理論的解析手法も挙げられます。

本機能集積情報システム (FIIS) 研究会は、上述したような技術を、応用分野の枠を超えた高性能・高信頼性・低消費電力のマイクロ情報システム実現のための強固な枠組みであると捉えています。本研究会では上記内容を中心としていますが、それらにとらわれず、各種応用研究を含めた広い研究分野からの研究発表を歓迎致します。

次回の第 51 回機能集積情報システム研究会は、桐生市市民文化会館 (桐生市) で開催致します。皆様奮って御参加下さい。

第二種研究会開催案内, 発表募集案内

プログラム

1. ディスクアレイにおけるディスク稼働状態に応じた動的データ符号化法の検討 ○太田康介・金子晴彦 (東工大)

2. 位相変調信号と DPLL を用いた Winner-Take-All ニューラルネットワークの検討 ○東 正樹・肥川宏臣 (関西大)

3. プリント基板電源品質の改善手法の基礎検討 ○芝坂一馬・安永守利 (筑波大)・甘楽孝之 (サイバネティクス)

4. 画像伝送によるセグメント分割伝送線の信号品質評価  
○井上栄史・安永守利 (筑波大)・相部範之 (susubox)・甘楽孝之 (サイバネティクス)

5. TDC を用いた LOC によるオンチップパス遅延測定法  
○加藤健太郎 (鶴岡高専)・金内貴史 (東北電力)

6. オンウエハーテストベース RF-CMOS の統計モデリング手法に関する研究  
○青木 均・小林春夫 (群馬大)

7. インターリーブ ADC でのタイミングスキューのデジタル校正技術  
○浅見幸司 (アドビテスト)・易 茹・呉 明輝・片山敦弘・小林春夫 (群馬大)・加藤健太郎 (鶴岡高専)

8. [招待講演] AD/DA 変換器のデジタル自己校正・補正技術  
小林春夫 (群馬大)

◎最新の情報は Web ページ (<http://kaneko-www.cs.titech.ac.jp/fiis/>) を御覧下さい。

◎研究会終了後に懇親会 (会費 5,000 円程度) を予定しております。御参加を希望される方は、下記問合せ先まで御連絡下さい。

参加資格 特に制限はありません

参加費 1,000 円 (会場でお支払い下さい。学生は無料です。)

【問合せ先】

金子晴彦 (東工大大学院情報理工学研究所)

E-mail: hkaneko@fuji.cs.titech.ac.jp

主催 ディベンダブルコンピューティング研究専門委員会

## ◇ ◇ 第二種研究会発表募集案内 ◇ ◇

## ●2013 年度第 2 回ネットワークソフトウェア研究会

委員長 新津善弘 (芝浦工大)

研究会の内容

ネットワークシステム研専配下の第二種研究会であり、ネットワークの変革がソフトウェア技術にもたらすインパクトや、ソフトウェアの技術革新がネットワークサービスに及ぼす変革に対して問題意識を持ち、ネットワークソフトウェア技術に対する要求条件や実現技術について研究・実用化の両面に関して議論をします。

期日 平成 25 年 7 月 26 日 (金)

会場 芝浦工業大学豊洲キャンパス (江東区)

テーマ 将来に向けたネットワーク制御ソフトウェアの技術一般

概要

スマートフォンの爆発的な人気によるトラフィックの増大や LTE 網の音声サービス開始に向けて、通信キャリアは有限である回線の帯域制御を余儀なくされており、ユーザのポリシーに応じた QoS 制御の導入を進めている。また OpenFlow スイッチの登場によりトラフィック制御を代表とするネットワーク制御技術は変貌を遂げようとしている。このような、ネットワーク制御技術は、ネットワーク自体が社会インフラとして高度なスケーラビリティ

ティ、信頼性、可用性、セキュリティ等の確保を求められているために生まれた技術であり、今後も幅広いネットワーク制御技術の発展が望まれている。このような視点から、本研究会では、以下のようなテーマで研究発表を募り、ネットワーク制御ソフトウェアの将来像に向けて幅広く議論を行う。

- ・将来のサービスに求められるネットワーク制御ソフトウェア技術
- ・将来のネットワークに求められる QoS 制御及びトラフィック制御ソフトウェア技術
- ・ネットワークの可用性、信頼性確保に向けたネットワーク管理ソフトウェア技術
- ・将来のサービス、ネットワーク管理に貢献するポリシー管理ソフトウェア技術
- ・その他一般

#### 本研究会の特徴

参加者の産学のバランスがよく、更に時間にとらわれず活発に議論する風土がありますので、発表者は様々な角度から多数のフィードバックを得ることができます。また、他研究会には例を見ない独特の発表形式を採用しておりますので、発表者は目的に応じた議論を自由に展開することができます。これにより、検討結果の発表だけでなく検討経過や問題提起等についても発表・議論して頂けます。

また、本研究会では、議論を促進することを目的としてディスカッション賞を設けています。受賞対象は有意義なディスカッションを頂きました参加者となりますので、是非活発な議論をお願い致します。

**【発表形式】** 下記2種類の発表形式からお選び下さい。

一般講演：掘り下げた議論を御希望の方向へ

1件当り標準で50分。発表者からのプレゼンテーションは20～25分とし、残りの時間を質疑応答に割り当てることで、深く掘り下げた議論や多様な視点からの広範なフィードバック獲得が可能となります。

ポジションペーパー：構想段階等にて意見を収集したい方向へ

1件当り約5～10分程度で、一般講演するほどの内容ではないが、是非意見交換をしたい内容などについて、発表者の目的に応じた自由な形式で議論して頂けます。

#### 【各種締切】

- 一般講演申込み：6月26日（水）
- 一般講演原稿提出：7月10日（水）
- ポジションペーパー申込み：7月10日（水）
- 研究会参加申込み：7月10日（水）
- 参加費振り込み：7月25日（木）

#### 【一般講演の申込と原稿提出】

・申込方法  
講演者氏名、共著者名、所属、講演題目、概要（400字程度）、連絡先（住所、E-mail アドレス、電話番号、FAX 番号）、講演者の方の参加費種別（一般／学生）を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。講演者の方は参加申込もされたものとみなしますので、下記参加申込に関する注意事項も合わせて御確認下さい。

・原稿提出方法  
PDF ファイルにて、電子メールでお送り下さい。原稿の体裁は規定していませんが、PowerPoint などの発表スライドを原稿として提出される場合は、1ページ当り1スライドとなるようPDF 化して下さい。発表スライドで頂きました原稿は、投稿状況に応じて1ページ当り2スライドまたは4スライドの形式で予

稿集へ掲載させていただきますので、あらかじめ御了承下さい。

#### 【ポジションペーパーの申込と原稿提出】

申込方法は、上記の一般講演と同様です。原稿は、PDF ファイル（A4 判1枚・様式自由）にて、電子メールでお送り下さい。

※ポジションペーパーの申込・原稿提出は上記期日を過ぎてからも受け付けます。ただし期日以降の申込・原稿提出を御希望の方は、事前に電子メール等にてお問い合わせ下さい。また期日以降の申込では予稿集に氏名・所属が掲載されませんので御注意下さい。

#### 【参加申込】

氏名、所属、連絡先（住所、E-mail アドレス、電話番号、FAX 番号）、参加費種別（一般／学生）を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。研究会に参加した方々の議論・意見交換活性化のため、当日紙配布する参加者名簿に氏名・所属・E-mail を掲載予定ですが、問題等ございましたら御連絡下さい。

#### 【参加費（予定）と参加費支払方法】

一般 7,000 円 学生 3,000 円

参加費を下記の期日までにお振り込み下さい。なお、振込後の参加費の返還には応じかねますので、御了承下さい。請求書が必要な場合は、参加申込の際にその旨をお知らせ下さい。

振込先

みずほ銀行 三鷹支店  
口座名：ネットワークソフトウェア研究会  
口座番号：普通 4298770

#### 【講演・参加申込先・原稿提出先】

原 大輔（NTT）  
〒180-8585 武蔵野市緑町3-9-11  
TEL [0422] 59-6941  
E-mail : nws-kanji@mail.ieice.org

#### 【研究会全般に関する問合せ先】

奥谷武則（NTT）  
TEL [0422] 59-3805  
主催 ネットワークシステム研究専門委員会ネットワークソフトウェア研究会運営委員会  
<http://www.ieice.org/~nws/>

● ..... 2013年ソサイエティ大会開催案内 ..... ●

期 日 2013年9月17日(火)~20日(金)

会 場 福岡工業大学(福岡市)

電子情報通信学会ソサイエティ大会の講演申込み登録・原稿送付については、インターネットによる講演申込み・PDFによる原稿送信となっています。

募集期間

2013年4月26日(金)~7月3日(水) 17:00(厳守)

2013年ソサイエティ大会ホームページ

[http://www.toyoag.co.jp/ieice/S\\_top/s\\_top.html](http://www.toyoag.co.jp/ieice/S_top/s_top.html)

(1) 講演申込みについて

「インターネット講演申込登録の交付期間」

「講演申込登録の修正・取消」

「論文集 PDF 原稿の送信期限」については、全て上記の期間となります。

(2) 講演機器について

講演機器はPCプロジェクターです。PCは御持参下さいませようお願いします。

(3) 原稿の提出について

原稿提出期限内に原稿を頂けない場合は、講演申込み登録されている場合でも講演申込みを取り下げたものと致しますので御注意下さい。

(4) 講演申込み Web 登録上のごお願い

講演申込み締切日とその2~3日前は回線が大変混雑して、アクセスに大変時間が掛かります。スムーズな登録のため余裕を持って早めの登録をして頂くようお願い申し上げます。

(5) 非会員の方も講演登録ができます。

講演参加費(本会会員:不課税, 本会会員外:消費税込)

講演参加費につきましては、DVD論文集(全講演収録・参加章)のほか聴講参加費が含まれますので、聴講申込みは必要ありません。(発行日:9月初旬)

7月下旬に講演者の方に講演参加費の請求書を発送致しますので、請求書到着後、振込みを行って下さい。

一般セッション

名誉員・正員 : 10,000円(講演発表料+DVD)

学生会員 : 3,000円(講演発表料+DVD)

非会員・社会人 : 20,000円(講演発表料+DVD)

非会員・学生 : 6,000円(講演発表料+DVD)

シンポジウムセッション

名誉員・正員 : 11,000円(講演発表料+DVD)

学生会員 : 3,500円(講演発表料+DVD)

非会員・社会人 : 22,000円(講演発表料+DVD)

非会員・学生 : 6,500円(講演発表料+DVD)

\*電気学会、照明学会、映像情報メディア学会、情報処理学会の会員、本会と協定を締結した海外の学会は会員扱いとなります。  
[講演申込みの流れ]

(1) 論文集原稿(PDF)の電子投稿について

学会 Web 上の「講演申込手順」に従って申込み登録を行い、正しく登録が受け付けられますと最後に、「受付番号」・「登録内容にアクセスするためのパスワード」等が記入された「登録受理票」が表示されますので、申込者で必ずプリントアウトして保管して下さい。また、登録完了時点で入力項目のために「E-mail」が申込者に送付されます。必ず内容の確認を行って下さい。講演申込み受付期間内は受付番号とパスワードにより登録データの修正・取消が可能です。詳細は「講演申込内容の確認・修正」、「講演申込内容の取消要領」に従って下さい。論文集原稿の投稿は、トップメニューにある「PDF原稿送信」から「受付番号」・「パスワード」を使って論文集原稿をPDFファイルで送信して下さい。(PDF原稿はメール添付での申込みはできません。)

(2) ソサイエティ大会聴講参加・冊子講演論文集申込み案内等については、2013年7、8月号会告にて御案内致します。

〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内

電子情報通信学会 大会担当

TEL [03] 3433-6691, FAX [03] 3433-6659

E-mail : taikai@ieice.org

情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループにつきましては、鳥取大学(鳥取)においてFIT2013を開催致します。開催案内は下記を御覧下さい。

<http://info.ipsj.or.jp/event/fit/fit2013/>



# FIT2013 第 12 回情報科学技術フォーラム

## 聴講参加・懇親会参加並びに講演論文集 事前予約申込の御案内

FIT2013Web サイト：<http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2013/>

電子情報通信学会（情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーションングループ）と情報処理学会とは 2002 年から合同で毎年秋季に FIT (Forum on Information Technology) を開催しており、2013 年 9 月には第 12 回目を鳥取大学で開催致します。

つきましては、聴講参加、懇親会参加並びに講演論文集、DVD-ROM の事前予約申込の御案内を致します。皆様、奮ってお申込み下さい。

聴講参加費は、当日参加よりも事前予約の方がお得になっております。また、講演論文集、DVD-ROM は、FIT 開催中にも会場販売を行います。残部のある限りということになりますので、確実に御入手頂くには期限内のお申込みをお勧め致します。

会 期：2013 年 9 月 4 日（水）～6 日（金）  
会 場：鳥取大学鳥取キャンパス（鳥取市湖山町南 4-101）  
交 通：鳥取空港からタクシー約 5 分、徒歩約 30 分。

鳥取駅から山陰本線で約 10 分、鳥取大学前駅下車徒歩 3 分。  
鳥取駅前北口バスターミナルからバスで約 30 分、「鳥大」下車すぐ、または「鳥商前」下車徒歩 5 分。

※鳥取空港～鳥取大学間は、航空便ダイヤにあわせてシャトルバスを運行予定 約 10 分  
※お車（自家用車）での御来場は御遠慮下さい。

### ■開催イベント企画【予定】

今回の FIT では以下の講演会、パネル討論等のイベント開催を予定しております。（詳細は逐次 FIT2013 Web サイトに掲載致します）

#### ◎船井業績賞受賞記念講演

5 日 14:00-15:15 第 1 イベント会場（共通教育棟 A 棟 2F A20）  
「Ruby が成し遂げたこと」

まつもとゆきひろ（Ruby アソシエーション理事長）

#### ◎FIT 学術賞表彰式

5 日 13:00-13:50 第 1 イベント会場（共通教育棟 A 棟 2F A20）

#### ◎イベント企画

第 1 イベント会場（共通教育棟 A 棟 2F A20）

4 日 9:30-12:00 国際情勢の変化から見るサイバー攻撃—その本質を探る—  
13:00-15:00 第 2 回統一の評価基準に基づく電子透かしコンテンツ—  
チャレンジングな評価基準を超えられるか！—

15:30-17:30 身近になったライフログ

5 日 13:00-13:50 FIT 学術賞表彰式

14:00-15:15 船井業績賞受賞記念講演

15:30-17:30 ビッグデータ時代到来！—ウェブ最先端企業が最新動向を語る—

6 日 9:30-12:00 環境問題とサイバーワールド—身近な問題にどうやって取り組むか—  
13:00-16:00 映像符号化の最新動向—HEVC 標準化—

第 2 イベント会場（共通教育棟 C 棟 2F C21）

4 日 9:30-12:00 人文科学における時空間情報の活用

13:00-15:00 ビッグデータ時代のオンライン学習アルゴリズム

15:30-17:30 受賞者フォーラム：メディア認識・理解の最前線と若手へのメッセージ

5 日 9:30-12:00 ICT における産業界が望むヒューマンリソース—ICT の将来を担うキャリアを究める—

15:30-17:30 ソーシャルメディアの分析—経済物理学、数理モデルの観点から—

6 日 9:30-12:00 学びを科学する：MOOCs で Cloud な Big Data を Learning Analytics!  
13:00-16:00 基礎理論が導く最先端技術：計算限界解明への取り組みと超高速アルゴリズム開発

### ■聴講参加費（税込）

参加区分	事前予約（7/12 まで）	当日
会 員	8,000 円	10,000 円
非会員	17,000 円	20,000 円
学 生	無料	無料

※会員、非会員の聴講参加費にはプログラム・参加章・DVD-ROM が含まれております。

※学生の聴講参加はプログラム・参加章のみとなっております。

※会員、非会員、学生の参加区分の区別は以下のとおりです。

会 員：電子情報通信学会、情報処理学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会（IEEK、APSIPA、ECIT、IEEE/ComSoc、KICS、VDE/ITG、KIEES、CIC、IEEE/PHO、IEEE/MTT-S、IEEE/CS、KIISE）または情報処理学会と協定を締結し

た海外の学会（ACM、IEEE、IEEE/CS、KIISE、CSI）の個人会員に限り、

非会員：上記の学会会員以外で学生以外の方。

学 生：会員/非会員を問わず無料（DVD-ROM は付きません）。

■懇親会【予定】※参加を希望される方は必ず事前予約をお願いします。

開催日時：9 月 5 日（木）18:45～20:45

会 場：ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間（東）

参加費（税込）：社会人 5,000 円、学生 2,000 円

一般講演座長または査読者 3,000 円

※ FIT 会場から懇親会場への移動はシャトルバスを運行予定

### ■冊子講演論文集・DVD-ROM 販売価格（税込）

申込種別	個人購入価格	法人購入価格
講演論文集セット	57,000 円	57,000 円
講演論文集分冊	12,000 円	15,000 円
講演論文集 DVD-ROM	8,000 円	55,000 円

※講演論文集セットは冊子講演論文集全分冊（カバー付き）、DVD-ROM

※学生の方は、会場にて DVD-ROM 割会場販売価格 4,000 円

※講演論文集の掲載分野（予定分冊構成）

第 1 分冊：モデル・アルゴリズム・プログラミング、ソフトウェア、ハードウェア・アーキテクチャ

第 2 分冊：データベース、自然言語・音声・音楽、人工知能・ゲーム、生体情報科学

第 3 分冊：画像認識・メディア理解、グラフィクス・画像、ヒューマンコミュニケーション&インタラクション、教育学・福祉工学・マルチメディア応用

第 4 分冊：ネットワーク・セキュリティ、ユビキタス・モバイルコンピューティング、教育・人文科学、情報システム

DVD-ROM：上記全論文とプログラムを取録

（著者、所属、キーワードによる索引付き）

※FIT 査読付き論文の採択論文は各投稿分野の論文集分冊へそれぞれ収録されます。

※受取方法：お申込みの際に「会場受取り」または「FIT 終了後郵送（10 月上旬）」のいずれかを選択して下さい。「会場受取り」にされた方には申込受付完了メールに引換券（PDF）が添付されておりますので、御来場の際はプリントアウトして御持参頂き、総合受付に御呈示下さい。

### ■聴講参加・懇親会参加・講演論文集・DVD-ROM の申込み・送金方法

申込締切：2013 年 7 月 12 日（金）

申込方法：FIT2013 Web サイトからお申込み下さい。

送金方法：申込締切後、見積・納品・請求書、郵便振替用紙、送金連絡票をお送りしますので指定口座へお振込みをお願い致します。

送金期日：2013 年 10 月 31 日（木）

※ FIT 会場での現金でのお支払いは一切お受け致しませんのであらかじめ御了承下さい。

※聴講参加または懇親会参加申込を頂いた方には、申込受付完了メールに引換券（PDF）が添付されておりますので、御来場の際はプリントアウトして御持参頂き、総合受付に御呈示下さい。

※DVD-ROM（講演論文集セット付属のものは除く）は、全て事前発送（8 月下旬予定）となります。

### ■次年度の FIT2014 開催

2014 年 9 月 筑波大学にて開催予定

### ■問合せ（FIT2013 幹事学会）

〒101-0062 千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F

一般社団法人情報処理学会事業部門

TEL [03] 3518-8373, FAX [03] 3518-8375

E-mail : jigvo@ipsj.or.jp

## ●…………… 支 部 大 会 ……………●

### ——平成 25 年度電気関係学会

### 東海支部連合大会——

講演申込締切 7月12日(金) 23:00

論文投稿締切 7月16日(火) 23:00

連合大会 Web <http://www2.iee.or.jp/~tokai/rengo2013/>

#### 【大会の概要】

1. 期日 平成 25 年 9 月 24 日 (火), 25 日 (水)
2. 会場 静岡大学浜松キャンパス (浜松市中区城北 3-5-1)  
(地図参照) <http://www.eng.shizuoka.ac.jp/outlines/p07/>
3. 特別講演: 1 件, 合同企画シンポジウム: 1 件, 各学会企画シンポジウム: 3 件 (以上全て依頼)
4. 一般講演: (公募)
5. 懇親会: 平成 25 年 9 月 24 日 (火)

#### 投稿論文募集 (一般講演)

主催及び共催学会に関わる一般講演論文を幅広く募集します。分量は A4 判 1 ページ, 通常の口頭発表のほか, ポスターセッションも開催します。投稿時にこれら発表形式を選択可能です (詳細は Web 参照)。

#### 一般講演について

(ア) 講演者は原則として主催または, 共催学会会員に限りませんが, 非会員の講演も認めます (講演参加費が異なるので注意)。また, 講演は一人 1 件に限り, ただし, 複数の応募論文に共著者として参加することは差し支えありません。

(イ) 最近の研究・工事計画・現場試験・新製品の紹介等で未発表のもの。ただし, 内容の類似したものが数件にわたることは認めません。実行委員会でご不適当と認めた論文は, 講演を断ることがあります。また, 講演論文は, 原則として和文としますが, 英文も認めます。

(ウ) 講演時間は 1 件当り発表 10 分, 質問時間 2~3 分とします。

プロジェクト以外の機器が必要な場合は各自用意下さい。

#### 参加費

講演者 (CD-ROM 付) (会 員: 事前登録) 4,000 円

〃 (非会員: 事前登録) 8,000 円

聴講者 (CD-ROM 付) (会 員: 事前登録) 4,000 円

〃 (会 員: 当日参加) 5,000 円

〃 (非会員: 事前登録) 8,000 円

〃 (非会員: 当日参加) 9,000 円

聴講者: 学生専用 (CD-ROM なし)

(会 員・非会員: 事前登録) 無料

〃 (当日参加) 1,000 円

・CD-ROM 付の講演者・聴講者は, 一般・学生とで同一料金です。CD-ROM は当日受付で配布されます。

・支払いはカード・コンビニ決済を予定しています。

※学生の聴講者のみ, 特別料金 (CD-ROM なし) で参加することができます。

広告募集・企業展示 プログラム及び連合大会 Web における広告を募集致します (詳細は Web を参照)。協賛会員及び広告出展社には, 会場における企業展示ブースを提供致します。

奨励賞 過去に受賞歴がなく, かつ受賞審査を希望する発表当日満 35 才以下の会員で, 特に優秀と認められる講演者に贈呈します。

#### 連合大会事務局

〒464-8603 名古屋市千種区不老町

名古屋大学 IB 電子情報館北棟 704 小島寛樹研究室内

TEL [052] 789-5874, FAX [052] 789-5374

jimkyoku@tokai-section.org

<http://www2.iee.or.jp/~tokai/rengo2013/>

主 催 電子情報通信学会, 電気学会, 情報処理学会, 照明学会, 映像情報メディア学会, 日本音響学会各東海支部, IEEE 名古屋支部

共 催 電気設備学会中部支部, 静岡大学

### ——平成 25 年度 (第 66 回) 電気関係学会

### 九州支部連合大会——

期 日 平成 25 年 9 月 24 日 (火), 25 日 (水)

会 場 熊本大学黒髪南地区 (熊本市中央区黒髪 2-39-1)

#### 重要な日程

1. 講演申込 (タイトルとアブストラクト)

6月17日(月)~7月16日(火) 24:00

講演費の振込期限: 7月17日(水)

2. 講演論文原稿受付

6月17日(月)~8月6日(火) 24:00

3. 聴講事前申込, 追加 CD-ROM 事前申込

6月17日(月)~8月16日(金) 24:00

聴講費・CD-ROM 購入費の振込期限: 8月19日(月)

講演者 主催学会会員に限り (当支部所属に限りません)。

Web での申込時に会員番号の入力が求められますので, 特に, 本大会で講演予定の学生については早めにいずれかの学会への入会をお勧め下さい。学会によっては, 入会申込から入会承認まで 2 か月ほどかかる場合もあります。

講演内容 最近行った研究, 計画及び工事報告, 現地試験報告, 新製品の紹介など。

参加費 講演: 1 件 4,000 円

聴講: 会員 4,000 円, 学生 1,000 円, 非会員 6,000 円

※聴講は事前申込の払込期限までに支払の場合 1,000 円引き

#### 協賛企業講演・協賛企業展示

協賛頂いた企業の皆様に活動内容・製品などについて講演頂ける機会を設けております。また, 同内容を御展示頂けるスペースを用意致します。詳しくは大会サイトを御覧下さい。

大会サイト <http://www.jceee-kyushu.jp/>

問合先 電気関係学会九州支部連合大会事務局

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-2-28 南館 8F

info2013@jceee-kyushu.jp

主 催 電気関係学会九州支部連合大会委員会 (電子情報通信学会, 電気学会, 情報処理学会, 照明学会, 電気設備学会, 映像情報メディア学会, 日本音響学会の各九州支部, IEEE Fukuoka Section)

●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 …… ●

——東海支部——

●平成 25 年度第 1 回一般講演会

日 時 平成 25 年 6 月 11 日 (火) 16:20~17:10  
会 場 キャッスルプラザ 3F 孔雀の間 (名古屋市中村区名駅 4-3-25)  
演 題 高信頼制御通信研究の新しさ・面白さ  
講 師 片山正昭 (名大)  
参加費 無料  
参加資格 会員以外の方でも入場できます。  
その他 詳しくは東海支部 HP: <http://www.ieice.org/tokai/> を御覧下さい。  
主 催 電子情報通信学会東海支部

●平成 25 年度第 2 回一般講演会

日 時 平成 25 年 6 月 21 日 (金) 13:00~14:30  
会 場 豊田工業高等専門学校 図書館多目的ホール (豊田市栄生町 2-1)  
演 題 電気自動車の走行中給電技術  
講 師 大平 孝 (豊橋技科大)  
参加費 無料  
参加資格 会員以外の方でも入場できます。  
その他 詳しくは東海支部 HP: <http://www.ieice.org/tokai/> を御覧下さい。  
主 催 電子情報通信学会東海支部

——関西支部——

●電気四学会関西支部照明技術講演会

下記のとおり、照明技術講演会を開催致しますので、多数御来聴下さいますよう御案内申し上げます。

日 時 平成 25 年 6 月 13 日 (木) 15:00~17:00  
会 場 大学コンソーシアム大阪 D・E ルーム (大阪市北区梅田 1-2-2-400 大阪駅前第 2 ビル 4 階キャンパスポート大阪内)

照明学会関西支部賞授与式:

15:30-15:35 挨拶・授与 照明学会関西支部支部長  
照明技術講演会:(講演タイトルは仮称です)

- (1) スタイルマテックの照明 松本浩作 (スタイルマテック)
  - (2) 人間視覚系の機能と特徴に基づいた照明応用技術 篠田博之 (立命館大)
  - (3) 閉講挨拶 照明学会関西支部庶務幹事
- 聴講料 主催学会員/正員 4,000 円, 準員/学生員 2,000 円  
会員外/一般 5,000 円, 学生 3,000 円  
(懇親会費別途 4,000 円)

定 員 80 名 (定員になり次第, 締め切ります)  
申込方法 電話, FAX または E-mail で所属, 氏名を下記まで御連絡下さい。

申込先 照明学会関西支部事務局  
〒600-8816 京都市下京区中堂寺栗田町 93  
京都市サテライトパーク 6 号館 304 号  
セクレタリアット内 林 康恵  
TEL & FAX [075] 315-8472 [iej-kansai@secretari.jp](mailto:iej-kansai@secretari.jp)

主 催 電子情報通信学会・照明学会・電気学会・映像情報メディア学会各関西支部

●電気四学会関西支部専門講習会「デジタル時代の新しいテレビ視聴」

今年ではテレビ放送が誕生してから 60 年の節目の年です。また、地上デジタル放送の整備が始まってから 10 年になります。放送と通信の連携による「次世代テレビ」や「新たなビジネスモデル」などの言葉を巡り議論がなされてきました。今回は、「デジタル時代の新しいテレビ視聴」と題し、テレビ視聴の嗜好・形態の多様化を踏まえ、テレビサービスの最新の動向を御講演頂きます。是非、皆様御参加下さい。

日 時 平成 25 年 6 月 28 日 (金) 10:00~17:15  
会 場 中央電気倶楽部 513 号室 (大阪市北区堂島浜 2-1-25, 堂島地下街南詰を右側に上がり, 右へ約 50m, 左側のレンガ造り建物)

講演内容

- (1) 開講の挨拶 映像情報メディア学会関西支部支部長
- (2) テレビ 60 年を迎えた視聴者の現在 平田明裕 (NHK)
- (3) IPTV Forum が規定したハイブリッドキャスト技術仕様解説と想定されるサービス 坂本典哉 (東芝)
- (4) 放送通信連携システムハイブリッドキャスト 真島恵吾 (NHK)
- (5) IPDC を利用した放送通信連携サービス 齊藤浩史 (毎日放送)
- (6) まもなく始まる 4K 放送, 8K 試験放送 塚本 拓 (アストロデザイン)
- (7) 閉講の挨拶 映像情報メディア学会関西支部庶務幹事

聴講料 主催学会会員 (正員 10,000 円, 準員・学生員 無料) (会員不課税)  
会員外 (一般 15,000 円, 学生 5,000 円) (会員外消費税込み)

定 員 80 名 (定員になり次第, 締め切らせて頂きます)  
申込方法 講習会題目・開催日・会員種別・氏名・連絡先 (会社学校名・所属・郵便番号・所在地・電話番号) 等を映像情報メディア学会関西支部の HP (<http://www.ite.or.jp/kansai/>) からお申込み下さい。後日, 参加章と請求書を郵送します。なお, FAX, E-mail の場合は下記宛てにお申込み下さい。

申込先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25 中央電気倶楽部内 関西電気関連学会事務センター  
TEL (06) 6341-2529, FAX (06) 6341-2534  
[denki4g@ares.eonet.ne.jp](mailto:denki4g@ares.eonet.ne.jp)

主 催 電子情報通信学会・映像情報メディア学会・電気学会・照明学会各関西支部

●電気四学会関西支部専門講習会「非有効接地系統および UHV 系統の絶縁協調技術—JEC-0102-2010 技術解説」

電力機器・設備の絶縁試験全般にわたる基本規格 JEC-0102「試験電圧標準」は 2010 年に改訂されました。JEC-0102-2010 では, 22 kV 系統及びガス絶縁変電所を対象とした 66~154 kV 系統の機器に対して, これまでの試験電圧に比べ低減された試験電圧が追加され, 更には, 1,000 kV 系統の機器に対する試験電圧が規定されました。

「非有効接地系統および UHV 系統の絶縁協調技術協同研究委員会」では, JEC-0102-2010 の改訂過程で検討された過電圧 (雷過電圧, 開閉過電圧, 短時間過電圧) の算定過程と新たに追加された試験電圧の決定根拠など, 改訂の基となった技術の調査が行われ, その報告がまとめられています。本講習会では, 委員



会での成果とその後の最新動向を交え、広く紹介致します。奮っての御参加をお待ちしています。

日 時 平成 25 年 7 月 30 日 (火) 13:00~16:45

会 場 中央電気倶楽部 317 号室 (交通等前掲参照)

題目と講師 (司会) 五島久司 (電力中研)

・開講の挨拶 電気学会関西支部支部長

(1) 総論—絶縁協調の基本的考え方— 日高邦彦 (東大)

(2) 非有効接地系統に発生する過電圧と試験電圧の考え方

(2-1) 雷過電圧解析と対地雷インパルス耐電圧試験術

新開裕行 (電力中研)

(2-2) 開閉過電圧解析と対地開閉インパルス耐電圧試験

出丸俊樹 (三菱電機)

(2-3) 短時間過電圧解析と対地商用周波耐電圧試験

羽柴靖人 (関西電力)

(2-4) 相間絶縁試験 才田敏之 (東芝)

(2-5) 雷インパルス試験電圧と商用周波試験電圧とのバランス

山本捷敏 (東芝)

(3) 22/33 kV 系統に発生する過電圧と試験電圧の考え方

石井綱吉 (東京電力)

(4) 1000 kV 系統に発生する過電圧と試験電圧の考え方

山田剛史 (東京電力)

(5) 試験電圧決定における諸課題と今後の方向性

本山英器 (電力中研)

・閉講の挨拶 電気学会関西支部総務企画幹事

参加費 主催学会 会員 4,000 円, 准員 1,500 円 (会員不課税), 会員外 5,000 円 (会員外消費税込み), 学生無料 (テキスト代別)

テキスト 電気学会技術報告 第 1258 号「非有効接地系統および UHV 系統の試験電圧の考え方—JEC-0102-2010 技術解説—」(冊子価格: 会員 3,024 円, 一般 3,780 円, PDF 価格: 会員 4,536 円, 一般 5,670 円 (税込)), 及び, JEC 規格「JEC-0102-2010 試験電圧標準」(価格 3,570 円 (税込)) を使用します。希望者には特別価格 (技術報告 2,900 円 (税込), JEC 規格 3,500 円 (税込)) で頒布致します。テキストが必要な方は 7 月 16 日 (火) までに事前お申込みをお願い致します。はがきは締切日必着でお願いします。Web 申込みでは連絡事項欄に「テキスト希望」を、はがき/FAX/E-mail には、「テキスト希望」と書いて下さい。テキストは当日お渡し致します。

定 員 30 名程度

申込方法 講習会題目, 開催日, 会員種別, 氏名, 連絡先 (会社あるいは学校名, 所属, 郵便番号, 所在地, 電話番号) 並びにテキストの要否を、はがき, FAX または E-mail で下記の申込先まで御連絡下さい。後日, 参加章と請求書をお送りします。なお, 電気学会関西支部 HP (<http://www2.iee.or.jp/ver2/kansai/>) から申込み頂けます。なお, お知らせ頂きました個人情報は, 行事の運営に必要な場合のみに使用致します。

申込先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25 中央電気倶楽部内 関西電気関連学会事務センター

TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534

denki4g@ares.eonet.ne.jp

主 催 電子情報通信学会・電気学会・照明学会・映像情報メディア学会各関西支部

●電子情報通信学会関西支部中・高生向け講座「コンピュータの内部について学ぼう!!」

パーソナルコンピュータ (パソコン) は, 一般家庭にも広く普及し, 我々の日常生活になくはならないものになりました。一方で, ソフトウェアを勉強する人であっても, コンピュータの基本的な仕組みや, 実際の内部構成についてはよく知らないということも起きております。大阪府立大学工業高等専門学校・総合工学システム学科では, パソコンの組立てを通し, コンピュータの基礎知識を深める講座を開講致します。

日 時 平成 25 年 8 月 1 日 (木) 10:00~16:00

会 場 大阪府立大学工業高等専門学校棟 1・情報技術実習室 (1 階) (寝屋川市幸町 26-12)

募集対象者 中学生・高校生

募集人員 8 グループ (1 グループは 1~3 名)

参加費 無料

プログラム

9:30~10:00 受付

10:00~10:05 開会挨拶 須崎昌己 (阪府大高専)

10:05~11:00 コンピュータについての説明&パソコン組立てのガイダンス 早川 潔 (阪府大高専)

11:00~12:00 パソコン組立て前半

12:00~13:00 昼食休憩

13:00~15:45 パソコン組立て後半 (完成), OS のインストール

15:45~16:00 修了証書授与・閉会挨拶

電子情報通信学会関西支部

申込方法 電子メールで下記項目を御記入の上, 申し込んで下さい。

e-kouza@osaka-pct.ac.jp

①受講代表者の住所, 氏名 (ふりがな), 性別, 年齢, 学校名・学年, 電話番号, 参加人数

②受講者の氏名 (ふりがな), 性別, 年齢をお書き下さい。保険申請のため, 年齢は開催日時点でお願いします。件名は「コンピュータ」として下さい。

申込期限 平成 25 年 7 月 19 日 (金)

受講希望グループが定員を超えた場合は, 先着順で選ばせて頂きます。

問合先 (担当者) 大阪府立大学工業高等専門学校・総合工学システム学科・電子情報コース 福嶋茂信

fukusima@osaka-pct.ac.jp, TEL [072] 820-8514

主 催 電子情報通信学会関西支部, 大阪府立大学工業高等専門学校

●電子情報通信学会関西支部中・高生向け講座「e-Gadget を用いたロボット制御」

ロボット制御には, ハードウェア, ソフトウェアに関するマイコン技術やセンサ技術などの幅広い知識が必要です。e-Gadget (ダイセン電子工業社製) は, 自律型のロボット製作キットで, 比較的初心者でも実際に動かしながら制御プログラムを学ぶことができます。大阪府立大学工業高等専門学校・総合工学システム学科では, この e-Gadget を教材として, ロボット制御を体験する講座を開講致します。

日 時 平成 25 年 8 月 2 日 (金) 10:00~16:00

会 場 大阪府立大学工業高等専門学校図書館ゼミナール室 (2F) (住所前掲参照)

募集対象者 中学生・高校生

募集人員 15 名

参加費 無料

プログラム

9:30~10:00 受付

10:00~10:05 開会挨拶 藪 厚生(阪府大高専)

10:05~11:00 e-Gadget-TT のガイダンス  
梅本敏孝(阪府大高専)

11:00~12:00 e-Gadget を動かしてみよう(前半)

12:00~13:00 昼食休憩

13:00~15:45 e-Gadget を動かしてみよう(後半)

15:45~16:00 修了証書授与・閉会挨拶

電子情報通信学会関西支部

申込方法 電子メールで下記項目を御記入の上、申し込んで下さい。

e-kouza@osaka-pct.ac.jp

受講希望者の氏名(ふりがな)、性別、学校名・学年、住所、電話番号、開催日時点の年齢をお書き下さい(保険手続きが必要となります)。件名は「ロボット」として下さい。

申込期限 平成25年7月19日(金)必着

受講希望者が定員を超えた場合は、先着順で選ばせてきます。

問合先(担当者) 大阪府立大学工業高等専門学校・総合工学システム学科・電子情報コース 福嶋茂信

fukusima@osaka-pct.ac.jp, TEL [072] 820-8514

主催 電子情報通信学会関西支部, 大阪府立大学工業高等専門学校

——本会・ソサイエティ・グループ・

研究専門委員会等主催・共催——

### ●エレクトロニクスシミュレーション講習会「モーメント法による電磁界数値解析の基礎と応用」

委員長 柴田随道(NTT)

エレクトロニクスシミュレーション研究会では、以下の趣旨・講義内容で講習会を開催致します。奮って御参加下さい。

日時 平成25年7月5日(金) 13:00~17:00

会場 青山学院大学青山キャンパス総研ビル10階第18会議室

講師 陳 強(東北大)

【趣旨】 モーメント法は電磁界の数値解析法として、アンテナや電波伝送路、高周波デバイスなどの電磁界シミュレーションによく用いられています。近年、モーメント法の電磁界シミュレータの高機能化と低価格化が急速に進み、シミュレータを利用した研究開発が容易にできるようになりました。しかしながら、シミュレータを利用した電磁界の数値シミュレーションを正確に行うために、モーメント法の基礎知識と基本技法を正しく身に付ける必要があります。また、構造が複雑な解析モデルや電気長が大きい解析対象などに対してシミュレーションを可能にするために、モーメント法の得意と不得意、範囲と限界を理解しなければいけません。

本講習会は、電磁気学の基礎知識を有する大学の学部生と大学院生や、モーメント法などの電磁界解析シミュレータを利用してアンテナの研究開発に携わる企業の技術者を受講の対象者と想定しており、モーメント法の基礎と特徴、アンテナや高周波デバイスに対するモデリングとそのポイント、大規模の解析モデルに対する高速モーメント法の基礎などについて解説します。

内容

1. モーメント法の基礎

1.1 モーメント法の原理, 1.2 基底関数と試行関数, 1.3 ガラーキン法と点整合法, 1.4 例題と解説

2. アンテナの電磁界数値解析

2.1 アンテナ解析の原理, 2.2 電界積分方程式と境界条件, 2.3 線状アンテナの細線近似, 2.4 励振と給電モデル, 2.5 導体損と集中定数のモデル化, 2.6 解析モデル作成中の注意事項, 2.7 複雑な解析モデルの取扱い, 2.8 得意と不得意の解析モデル, 2.9 例題と解説

3. 高速モーメント法の基礎

3.1 行列方程式の高速解法, 3.2 高速多重極法の原理と応用, 3.3 特性基底関数法の原理と応用, 3.4 GPUによる高速化

受講料 一般非会員 20,000円, 一般会員 15,000円

学生非会員 10,000円, 学生会員 5,000円

申込方法 研究会 HP: <http://www.ieice.org/es/est/> を御覧の上、お申込み下さい。定員(20名)に達し次第、申込みを締め切らせて頂きます。

問合先 須賀良介(青学大)

TEL [042] 759-6298, rsuga@ee.aoyama.ac.jp

主催 電子情報通信学会エレクトロニクスソサイエティエレクトロニクスシミュレーション研究専門委員会

——本会が協賛等のもの——

(※は参加費割引あり)

連続セミナー2013「ビッグデータの深化と真価～最新技術から活用事例まで～」(※)

期間 平成25年6月~12月(全6回)

会場 化学会館(東京都千代田区)

問合先 情報処理学会事業部門

TEL [03] 3518-8373, FAX [03] 3518-8375

jigyo@ipsj.or.jp

GITI フォーラム—ユーザセントリックな情報通信社会の発展を目指して—

期日 平成25年6月5日(水)

会場 早稲田大学早稲田キャンパス(東京都新宿区)

問合先 早稲田大学GITI/GITS連絡事務局

TEL [03] 5286-9839, FAX [03] 5286-3832

gitiforum@list.waseda.jp

<http://www.giti.waseda.ac.jp/GITI/forum/2013/>

第19回画像センシングシンポジウム(SSII 2013)

期日 平成25年6月12日(水)~14日(金)

会場 パシフィコ横浜(横浜市)

問合先 画像センシング技術研究会事務局 喜多(アドコム・メディア) TEL [03] 3367-0571, FAX [03] 3368-1519

n.kita@adcom-media.co.jp <http://ssij.jp>

第10回日本写真学会光機能性材料セミナー—光励起制御を目指した金属ナノ構造の構築—(※)

期日 平成25年6月17日(月)

会場 富士フィルム東京ミッドタウン本社(東京都港区)

問合先 日本写真学会事務局(東京工芸大学内)

TEL [03] 3373-0724, FAX [03] 3299-5887

<http://www.spstj.org>

第 125 回技術講習会「音源定位と音源分離の基礎」講習会（※）

期 日 平成 25 年 6 月 27 日（木）、28 日（金）  
会 場 全国家電館（東京都文京区）  
問合先 日本音響学会事務局  
TEL〔03〕5256-1020, FAX〔03〕5256-1022

講習会「マルチボディシステム運動学の基礎」

期 日 平成 25 年 7 月 1 日（月）  
会 場 東京大学生産技術研究所（東京都目黒区）  
問合先 日本機械学会機械力学・計測制御部門 担当 大竹  
TEL〔03〕5360-3505, FAX〔03〕5360-3509  
otake@jsme.or.jp  
<http://www.jsme.or.jp/kousyu2.htm>

講習会「マルチボディシステム動力学の基礎」

期 日 平成 25 年 7 月 2 日（火）  
会 場 東京大学生産技術研究所（東京都目黒区）  
問合先 日本機械学会機械力学・計測制御部門 担当 大竹  
TEL〔03〕5360-3505, FAX〔03〕5360-3509  
otake@jsme.or.jp  
<http://www.jsme.or.jp/kousyu2.htm>

Women in Engineering 2013「女性が拓く未来のテクノロジー」

期 日 平成 25 年 7 月 6 日（土）  
会 場 東京電機大学東京千住キャンパス（東京都足立区）  
問合先 中野美由紀（東京大学生産技術研究所）  
TEL〔03〕5452-6256, FAX〔03〕5452-6457  
miyuki@tkl.iis.u-tokyo.ac.jp

ソフトウェア・シンポジウム 2013

期 日 平成 25 年 7 月 7 日（日）～10 日（水）  
会 場 長良川国際会議場（岐阜市）  
問合先 ソフトウェア技術者協会 事務局 伊藤（VCAD ノ  
リレーションズ内）  
TEL〔03〕5942-8070  
office@sea.jp <http://sea.jp/ss2013/>

第 77 回半導体・集積回路技術シンポジウム

期 日 平成 25 年 7 月 11 日（木）、12 日（金）  
会 場 東京工業大学蔵前会館（東京都目黒区）  
問合先 電気化学会電子材料委員会  
TEL〔03〕3234-4213, FAX〔03〕3234-3599  
ikezuki@electrochem.jp  
<http://semicon.electrochem.jp/>

神奈川工科大学「リケメン・リケジョの IT 夢コンテスト 2013」  
（KAIT 夢コン 2013）

期 日 平成 25 年 7 月 20 日（土）  
会 場 神奈川工科大学メディアホール（厚木市）  
問合先 神奈川工科大学情報学部 田中 博  
TEL〔046〕291-3203, FAX〔046〕242-8490  
h\_tanaka@ic.kanagawa-it.ac.jp

第 41 回薄膜・表面物理セミナー（2013）「放射光を用いた構造・  
電子状態解析の最前線：硬 X 線光電子分光（HAXPES）と X 線  
吸収微細構造（XAFS）」—最先端解析手法により電子状態・反  
応挙動をみる—（※）

期 日 平成 25 年 8 月 6 日（火）、7 日（水）  
会 場 東京工業大学田町キャンパス（東京都港区）  
問合先 応用物理学会事務局 分科会担当 上村  
TEL〔03〕5802-0863, FAX〔03〕5802-6250  
kamimura@jsap.or.jp  
[https://annex.jsap.or.jp/phpESP/public/survey.php?  
name=HakuhyouSeminar41](https://annex.jsap.or.jp/phpESP/public/survey.php?name=HakuhyouSeminar41)

第 5 回役に立つ真空技術入門講座（※）

期 日 平成 25 年 8 月 21 日（水）、22 日（木）  
会 場 大阪電気通信大学寝屋川駅前キャンパス（寝屋川市）  
問合先 日本真空学会関西支部 同講座担当 川西教介（キャ  
ンパネルバ）  
TEL〔06〕6821-9701, FAX〔06〕6821-9702  
shinku-kansai@e3.eei.eng.osaka-u.ac.jp

平成 25 年電気学会電力・エネルギー部門大会

期 日 平成 25 年 8 月 27 日（火）～29 日（木）  
会 場 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター（新潟市）  
問合先 電気学会事業サービス課 猿渡  
TEL〔03〕3221-7313, FAX〔03〕3221-3704  
sawatari@iee.or.jp  
[http://www2.iee.or.jp/ver2/pes/svs/02-conference/in  
dex.html](http://www2.iee.or.jp/ver2/pes/svs/02-conference/index.html)

第 30 回センシングフォーラム計測部門大会—新たな地平を切り  
開くセンシング—（※）

期 日 平成 25 年 8 月 29 日（木）、30 日（金）  
会 場 信州大学繊維学部（上田市）  
問合先 計測自動制御学会事務局 部門協議会担当  
TEL〔03〕3814-4121  
bumon@sice.or.jp  
<http://fiber.shinshu-u.ac.jp/sice/sf30/index.html>

第 53 回（2013 年度）真空夏季大会（※）

期 日 平成 25 年 9 月 3 日（火）～6 日（金）  
会 場 ヤマハリゾートつま恋（掛川市）  
問合先 日本真空学会事務局 担当 大工原  
TEL〔03〕3431-4395, FAX〔03〕3433-5371  
ofc-vs@vacuum-jp.org

第 26 回日本セラミックス協会秋季シンポジウム「誘電材料の新  
展開」（※）

期 日 平成 25 年 9 月 4 日（水）～6 日（金）  
会 場 信州大学長野キャンパス（長野市）  
問合先 名古屋大学エコトピア科学研究所 坂本 渉  
TEL〔052〕789-2751, FAX〔052〕789-2133  
sakamoto@esi.nagoya-u.ac.jp  
<http://www.ceramic.or.jp/ig-syuki/26th/>

第 15 回日本感性工学会大会「しなやかな感性」(※)

期 日 平成 25 年 9 月 5 日 (木)~7 日 (土)  
 会 場 東京女子大学 (東京都杉並区)  
 問合先 同大会事務局  
 jske15@jske.org  
 http://www.jske.org/taikai/jske15/

ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム 2013 (SES2013)

期 日 平成 25 年 9 月 9 日 (月)~11 日 (水)  
 会 場 東洋大学白山キャンパス (東京都文京区)  
 問合先 SES2013 運営委員会広報委員長 亀井靖高 (九州大学)  
 kamei@ait.kyushu-u.ac.jp  
 https://sites.google.com/site/sesip2013/

ヒューマンインタフェースシンポジウム 2013 (※)

期 日 平成 25 年 9 月 10 日 (火)~13 日 (金)  
 会 場 早稲田大学西早稲田キャンパス (東京都新宿区)  
 問合先 ヒューマンインタフェース学会事務局  
 TEL [075] 315-8475, FAX [075] 326-1332  
 http://www.his.gr.jp/sympo/his2013.html

ライフエンジニアリング部門シンポジウム 2013 (LE2013) (※)

期 日 平成 25 年 9 月 12 日 (木)~14 日 (土)  
 会 場 慶應義塾大学日吉キャンパス (横浜市)  
 問合先 計測自動制御学会事務局 部門協議会担当  
 TEL [03] 3814-4121 bumon@sice.or.jp

日本認知科学会第 30 回大会

期 日 平成 25 年 9 月 12 日 (木)~14 日 (土)  
 会 場 玉川大学視聴覚センター (町田市)  
 問合先 大会委員長 大森隆司  
 omori@lab.tamagawa.ac.jp  
 http://www.jcss.gr.jp/meetings/JCSS2013/

CEATEC JAPAN 2013

期 日 平成 25 年 10 月 1 日 (火)~5 日 (土)  
 会 場 幕張メッセ (千葉市)  
 問合先 日本エレクトロニクスショー協会 CEATEC JAPAN 運営事務局 担当 金子  
 TEL [03] 6212-5233, FAX [03] 6212-5226  
 kaneko@jesa.or.jp

第 34 回超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウム

期 日 平成 25 年 11 月 20 日 (水)~22 日 (金)  
 会 場 同志社大学室町キャンパス寒梅館 (京都市)  
 問合先 東京工業大学総合理工学研究科黒澤研究室 小野寺輝子 (総務担当)  
 TEL [045] 924-5598, FAX [045] 924-5593  
 terry@ip.titech.ac.jp

ビジョン技術の実利用ワークショップ (ViEW2013)

期 日 平成 25 年 12 月 5 日 (木), 6 日 (金)  
 会 場 パシフィコ横浜 (横浜市)  
 問合先 画像応用技術専門委員会事務局「ViEW2013」係 (アドコム・メディア内)  
 TEL [03] 3367-0571  
 iaip@adcom-media.co.jp  
 http://www.tc-iaip.org/view/

——各種証明, 閲覧の手数料について——

電子情報通信学会では, 各種の証明, 閲覧について, 下記のとおり料金を頂きますので御了承下さい。

なお, 突然来局された場合すぐに対応できない場合がありますので, 必ず前もって御連絡下さるようお願い致します。

TEL [03] 3433-6691 ※は, TEL [03] 3433-6692

種 類	内 容	料 金 (税 込)	備 考
証明手数料	特許証明	会 員 200 円/件 非会員 500 円/件	
	在会証明書	無 料	
閲覧手数料	会誌・論文誌※ 技術研究報告 各種大会論文集 その他本会出版物	会 員 無 料 非会員 300 円/冊 コピー 10 円/枚	料金は 1 冊 (綴) ごととします。

(注) 会員からの依頼で非会員が代行される場合は, 非会員の料金となります。

●…………… 国 際 会 議 ……………●

第 35 回ドライプロセス国際シンポジウム (DPS2013) (※)

期 日 2013 年 8 月 29 日 (木), 30 日 (金)  
会 場 ラマダプラザ済州ホテル, 韓国  
問合先 名古屋大学大学院工学系研究科 田嶋聡美 (DPS2013  
実行委員, DSP2013 事務局)  
TEL & FAX [052] 788-6077  
dps2013@plasma.engg.nagoya-u.ac.jp  
http://www.dry-process.org/2013

第 45 回ストカスティックシステムシンポジウム (SSS '13)

期 日 2013 年 11 月 1 日 (金), 2 日 (土)  
会 場 琉球大学研究者交流施設・50 周年記念館 (沖縄県)  
問合先 立命館大学理工学部電気電子工学科 SSS 組織委員会  
Secretary 久保幸弘  
TEL [077] 561-5972, FAX [077] 561-2663  
ykubo@se.ritsumei.ac.jp  
http://sci-sss.org

7th International Conference on Project Management, 2013  
(ProMAC 2013)

期 日 2013 年 11 月 6 日 (水)~9 日 (土)  
会 場 Hilton Hanoi Opera Hotel, Hanoi, Vietnam  
問合先 ProMAC 2013 事務局 promac@spm-hq.jp  
http://www.spm-hq.jp/promac/2013/

シーグラフアジア/SIGGRAPH ASIA 2013

期 日 2013 年 11 月 19 日 (火)~22 日 (金)  
会 場 Hong Kong Convention and Exhibition Centre  
問合先 北村善文 東北大学電気通信研究所  
kitamura@riec.tohoku.ac.jp  
http://www.icd.riec.tohoku.ac.jp

第 19 回人工生命とロボットに関する国際シンポジウム (AROB  
19th '14)

期 日 2014 年 1 月 22 日 (水)~24 日 (金)  
会 場 B-con Plaza (別府市)  
問合先 人工生命とロボット国際学会内 AROB 事務局  
TEL [097] 594-0181, FAX [097] 547-9242  
arobsecr@isarob.org  
http://isarob.org/symposium/

複製される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複製に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複製を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複製については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター((社)学術著作権協会が社内利用目的複製に関する権利を再委託している団体)と包括複製許諾契約を締結している場合にあつては、その必要はございません。(社外頒布目的の複製については、許諾が必要です。)

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 3F FAX [03] 3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複製以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

Please obtain permission from the following Japan Reproduction Rights Center (JRRC) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.

Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

Website <http://www.jaacc.jp/> E-mail: info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619

● ..... 受賞候補者募集等 ..... ●

——平成 25 年度学術奨励賞・受賞候補者推薦用紙——

今年度の学術奨励賞は、2013 年総合大会（岐阜大学）及び、2013 年ソサイエティ大会〔基礎・境界，通信，エレクトロニクスの 3 ソサイエティになります〕（福岡工業大学）の講演者を対象に選定致します。受賞者は、上記 2 大会における各座長，各ソサイエティ学術奨励賞選定委員会委員・投票委員及び一般会員等からの推薦を各ソサイエティ学術奨励賞選定委員会が所定の手続に従い審査して理事会で決定致します。

つきましては、今回は 2013 年総合大会の講演者を対象として募集致しますので、下記の推薦要領を御参照の上多数の会員の方々が御推薦下さるようお願い致します。

- ＜被推薦者の条件＞
1. 本会会員であること
  2. 2013 年総合大会において講演者として登録かつ講演を行った者（一般講演，シンポジウム講演）であること。
  3. 当該大会の開催年の 12 月 31 日において 33 歳未満の者であること。ただし翌年 1 月 1 日が誕生日の者は選定の対象とする。
  4. 過去に本奨励賞を受けたことのない者であること。

＜推薦者の資格及び推薦数・推薦用紙＞  
 本会正員に限る。前記被推薦者の条件 1.～4. 項に該当し、適格と認められる者 1 名を推薦。下記の推薦用紙を切り取り所定事項を漏れなく記入し、電子情報通信学会事務局大会・研究会部宛てに郵送すること。

＜締切期日＞ 平成 25 年 7 月 12 日（金）必着（以後の到着は無効となります）

..... 切 取 線 .....  
 .....

平成 25 年度学術奨励賞・受賞候補者の推薦用紙

ふりがな 講演者氏名 (条件 2) 所属	会員番号： (条件 1)	年齢： (条件 3)
発表大会名	2013 年総合大会(岐阜大学)	
(講演番号)	( )	
題 名		
推 薦 理 由		
推 薦 者	正 員 (会員番号： )	
氏 名		

(注) ・推薦理由は、必ず記入して下さい。  
 ・御推薦の講演者の中には同姓同名の方がいらっしゃいますので、お分かりでしたら会員番号を御記入頂きますようお願い申し上げます。(氏名、会員番号等は個人情報ですでお取扱いには御注意下さい。)

——大川情報通信基金 2013 年度——

●研究助成

助成対象分野 情報・通信分野に関する調査・研究  
助成金 1 件当たり 100 万円  
研究期間 原則として 1 年間

●大川賞

表彰対象 情報・通信分野における研究、技術開発及び事業  
において、顕著な社会的貢献のあった方、原則として  
日本人の研究者、海外の研究者各 1 名を表彰する。  
表彰内容 賞状並びに副賞（金メダル、賞金 1,000 万円）

●大川出版賞

表彰対象 情報・通信分野に関して技術の発展及び社会的啓  
発に貢献のあった優れた図書（2010 年 1 月 1 日以  
降に発行されたもの）、原則として数件程度を表彰。  
表彰内容 著者に対して賞状並びに副賞（銀メダル、賞金  
100 万円）、また、出版社に対して、賞状及び賞牌  
を贈呈。

応募締切 平成 25 年 7 月 12 日（金）必着

問合せ先 大川情報通信基金事務局  
TEL [03] 3556-6028, FAX [03] 3288-2280  
<http://www.okawa-foundation.or.jp/>

締切 平成 25 年 9 月 20 日（金）（必着）

・井上リサーチアワード

趣旨 自然科学の基礎的研究で優れた業績をあげ、更に開拓  
的發展を目指す若手研究者の独創性と自立を支援する  
目的で、研究を助成する。

対象分野 自然科学の全分野

応募資格 自然科学の基礎的研究で博士の学位を取得した研究  
者で、学位取得後 9 年未満（平成 26 年 3 月 31 日現在）  
の国公立大学並びに大学共同利用機関に所属または  
所属予定の研究者。ただし、出産または子の養育のた  
めに、やむを得ず研究活動を中断した場合には、その中  
断期間は学位取得後の年限には含めないものとする。  
助成金の額と期間 助成金の額は、一人当たり 500 万円とし、期  
間は 2 年。

採択予定数 4 名以内。うち、1 名以上を女性研究者とする。

応募方法 自薦とする。

提出書類 所定の申請書（下記 Web からダウンロードすること）  
に必要事項を記載し、所属長の承認を得て送付のこと。

締切 平成 25 年 7 月 31 日（水）（必着）

問合せ先 井上科学振興財団

TEL [03] 3477-2738, FAX [03] 3477-2747  
[inoue-fs@inoue-zaidan.or.jp](mailto:inoue-fs@inoue-zaidan.or.jp)  
<http://www.inoue-zaidan.or.jp/>

——第 30 回井上學術賞、第 30 回井上研究奨励賞、  
第 6 回井上リサーチアワード——

・井上學術賞

候補者の対象 自然科学の基礎的研究で特に顕著な業績をあげ  
た本年 9 月 20 日現在で 50 歳未満の研究者。

學術賞 本賞 賞状及び金メダル 副賞 200 万円 受賞件数は  
5 件以内

（注）受賞者は、原則として 1 件につき 1 名とする。  
特に複数であることを必要とするときは、それ  
らの研究者の寄与が同等であることを示すこ  
と。ただし、この場合も 1 件として取り扱う。

推薦方法 所定の用紙（下記 Web からダウンロードすること）  
に必要事項記載の上、平成 25 年 7 月 12 日  
（金）までに本会事務局会員サービス部調査課宛て  
提出のこと。本会からの推薦候補者（2 件以内）は  
理事会で選考し会長名で推薦します。

・井上研究奨励賞

推薦の対象 2010 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日の過去 3 年間  
に、理学・工学・医学・薬学・農学等の自然科学の基  
礎的研究において、新しい領域を開拓する可能性のあ  
る優れた博士の学位を取得した 35 歳未満（2013 年 9  
月 20 日現在。ただし医学、歯学、獣医学の学位取得  
者については 37 歳未満。）の研究者。

受賞件数及び研究奨励金 受賞予定件数は 40 件、受賞者には、  
賞状及び銅メダル 副賞 50 万円

推薦者 原則として、博士論文の作成を指導した研究者。

提出手続 推薦者（博士論文指導者）は、所定の推薦書用紙  
（下記 Web からダウンロードすること）に必要事項  
を記入し、候補者が博士の学位を取得した大学の学長  
に提出願います。

受賞候補者募集等

——2014 年～2015 年開催藤原セミナー募集——

目的 科学技術の振興に寄与することを目的として、2014 年  
～2015 年の間に「藤原セミナー」の開催を希望する研  
究者に対し、開催に必要な経費を援助する。

対象分野 自然科学の全分野

応募資格 我が国の大学等学術研究機関に所属する常勤の研究者  
申請方法 開催希望者は、「藤原セミナー開催申請書」を、所属  
組織長を経由して当財団に提出すること。

件数 2 件以内 援助額 12,000 千円以内/件（総額 24,000 千  
円以内）

申請締切日 平成 25 年 7 月 31 日（水）必着

問合せ先 藤原科学財団 TEL [03] 3561-7736,

FAX [03] 3561-7860 <http://www.fujizai.or.jp>

——平成 25 年度島津賞及び研究開発助成——

・島津賞

表彰の対象：科学技術、主として科学計測及びその周辺の領域  
における基礎的な研究において、近年著しい成果をあげた  
功労者。

表彰の内容：賞状、賞牌、副賞賞金 300 万円

表彰件数：1 件

推薦の方法：当財団の指定学会からの推薦によることとし、連  
名は不可。推薦書は当財団所定のものに限る。平成 25 年  
9 月 30 日（月）必着。

（注、なお、本会よりの推薦件数の制限はなし。応募書類  
を本会事務局会員サービス部調査課宛てへ 8 月 16 日（金）  
までに送付して下さい。）

・研究開発助成

助成の対象：科学技術、主として科学計測及びその周辺の領域

における基礎的な研究。

応募の資格：原則として、国内の研究機関に所属する45歳以下の新進気鋭の研究者。

助成の金額：総額 1,200万円（1件につき100万円以下）

応募の方法：当財団所定の申請書に必要事項を記入して、当財団に直接送付して下さい。

申込締切：平成25年9月30日（月）必着（厳守）

問合せ先 島津科学技術振興財団事務局

TEL〔075〕823-3240, FAX〔075〕823-3241

http://www.shimadzu.co.jp/SSF

ssf@zaidan.shimadzu.co.jp

### ——平成25年度（第3回）RIEC Award——

**趣 旨** 電気情報通信分野の学術研究の発展に顕著な貢献があり、将来にわたり、当該分野の発展に寄与することが期待される優秀な若手研究者を顕彰することで、当該分野の発展を図ることを目的としている。特に本賞は、大きな賞の受賞経験のない、将来性の高い若手研究者を対象としている。

**対象分野** 電気情報通信に関連する、広い意味での電気工学、電子工学、情報工学、通信工学各分野。

**受賞条件** (1) 関連分野で、将来的な発展が期待できる顕著な研究業績をあげた者。

(2) 平成25年4月1日現在45才以下であること。

**推薦方法** (1) 封筒には「RIEC Award 申請書類在中」と朱書き下さい。

(2) 候補者の推薦は他薦によるものとし自薦不可。

(3) 必要書類は、下記URLよりダウンロードできます。

<http://www.riec.tohoku.ac.jp/riecaward/>

(4) 提出期限は、平成25年7月26日（金）必着

**受賞等** 受賞者は毎年度1名とし、受賞者には賞状、賞牌及び副賞として賞金20万円を贈呈。

問合せ先 東北大学電気通信研究所

TEL〔022〕217-5420 shomu@riec.tohoku.ac.jp

### ——平成25年度東レ科学技術賞及び

### 東レ科学技術研究助成——

東レ科学振興会から本会宛てに上記候補者の推薦依頼がありましたのでお知らせ致します。なお、東レ科学振興会内の選考において国家的な賞を既に受けている場合は、東レ科学技術賞の授賞対象外となるようですので念のため申し添えます（例えば文化勲章、学士院賞など）。

**東レ科学技術賞 候補者の対象** 本会に関する分野で、下記に該当する方。

- (1) 学術上の業績が顕著な方
  - (2) 学術上重要な発見をした方
  - (3) 効果が大きい重要な発明をした方
  - (4) 技術上重要な問題を解決して、技術の進歩に大きく貢献した方
- 1件につき賞状、金メダル及び賞金500万円（2件以内）

**東レ科学技術研究助成 候補者の対象** 本会に関する分野で国内の研究機関において自らのアイデアで萌芽的研究に従事しており、かつ今後の研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる若手研究者。（原則として推薦時45才以下）総額1億3,000万円、1件最高3,000万円程度まで計10件程度。

本会からの候補者推薦可能件数 東レ科学技術賞 2件以内

東レ科学技術研究助成 2件以内

**推薦方法** 所定の用紙に必要事項記載の上、平成25年8月16日（金）までに本会事務局会員サービス部調査課宛て提出のこと。本会からの推薦候補者は理事会で選考し会長名で推薦します。所定の用紙送付希望は上記調査課宛て返信用アドレス（そのまま貼れる形で）を明記の上郵送またはFAXで申し出るか、下記HPからダウンロード（6月中旬から可）して下さい。

問合せ先 東レ科学振興会

TEL〔047〕350-6103, FAX〔047〕350-6082

<http://www.toray.co.jp/tsf/index.html>

## 総合版ハンドブック

### 「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開を開始しております。一般公開は、会員限定β版での公開後3か月を経過した一部のコンテンツが対象となります。

閲覧にあたっては、本会ホームページ（トップページ）→「総合版ハンドブック「知識ベース」」または、以下のURLからお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>





## ●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合先：電子情報通信学会編集出版部

TEL [03] 3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

## ——教官・教員募集——

## ●大阪大学

公募人員 大学院工学研究科電気電子情報工学専攻 助教1名  
 専門分野 マルチメディア処理  
 応募資格 博士の学位を有し、教育及び研究指導を日本語で担当できる方  
 着任時期 平成25年10月1日以降の可能な限り早い時期  
 応募締切 平成25年6月28日(金)必着  
 問合先 電気電子情報工学専攻教授 馬場口 登  
 TEL [06] 6879-7744  
 babaguchi@comm.eng.osaka-u.ac.jp  
 詳細 <http://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/cgi/offering.cgi>

## ●宮崎大学

公募人員 准教授1名  
 専門分野 通信システム工学、信号処理、画像計測・処理などの情報通信工学分野  
 応募締切 平成25年6月28日(金)必着  
 問合先 工学教育研究部電気システム工学科 担当 横田光広  
 t0b210u@cc.miyazaki-u.ac.jp

## ●岡山大学

公募人員 大学院自然科学研究科 助教1名  
 専門分野 デバイス設計学分野(電子・光・電磁波・音響に関する新規デバイスの計算科学的、材料工学的的手法などによる設計と実証)  
 採用時期 平成25年度のできるだけ早い時期  
 応募締切 平成25年7月29日(月)必着  
 問合先 電気電子機能開発学講座主任 鶴田健二  
 TEL [086] 251-8142  
 tsuruta@okayama-u.ac.jp  
 詳細 [http://www.gnst.okayama-u.ac.jp/other/koubo\\_index.html](http://www.gnst.okayama-u.ac.jp/other/koubo_index.html)

## ●兵庫県立大学

公募人員 大学院工学研究科電気系工学専攻 准教授1名  
 専門分野 二次電池などのエネルギーデバイスに向けた新機能材料の創製とその物性評価  
 応募資格 着任時に博士の学位を有し、研究を積極的に推進する意欲があり、電気系工学の基礎科目を担当できる方  
 着任時期 本年度中、10月1日以降できるだけ早く  
 応募締切 平成25年8月2日(金)必着  
 問合先 電気系工学専攻教授 中村龍哉  
 TEL [079] 267-4867, koubo150@eng.u-hyogo.ac.jp  
 詳細 <http://www.u-hyogo.ac.jp/koubo/uh/index.html>

## ●岐阜大学

公募人員 工学部電気電子・情報工学科情報コース 准教授1名  
 専門分野 ソフトウェアサイエンスの基礎分野(ソフトウェア工学、ソフトウェア基礎論)  
 担当科目 情報系基礎科目(情報数学を含む)一般教養の授業を担当して頂くこともあります  
 着任時期 平成26年1月1日以降のできるだけ早い時期  
 応募締切 平成25年8月30日(金)必着  
 問合先 工学部電気電子・情報工学科情報コース 河瀬順洋  
 kawase@gifu-u.ac.jp

## ●芝浦工業大学

公募人員 助教若しくは准教授1名  
 専門分野 生体電子工学、電子回路  
 応募資格 博士の学位を有する方で、教育・研究に熱意がある方、大学院(修士・博士課程)の教育・研究もできる方  
 着任時期 平成26年4月1日  
 応募締切 平成25年8月31日(土)必着(簡易書留)封筒に「電子工学科教員応募書類在中」と朱書のこと  
 問合先 〒135-8548 江東区豊洲3-7-5 芝浦工業大学工学部電子工学科 橋本法子, TEL [03] 5859-8200  
 denshi-koubo@lab.ele.shibaura-it.ac.jp

## ●北見工業大学

公募人員 工学部電気電子工学科 助教1名  
 専門分野 計測工学をベースとした医療工学関連分野  
 応募資格 博士の学位を有する方(着任までに取得が確実な方も含む)  
 着任時期 平成26年4月1日  
 応募締切 平成25年9月20日(金)当日消印有効  
 問合先 電気電子工学科長 谷本 洋  
 TEL [0157] 26-9278, htanimot@mail.kitami-it.ac.jp  
 詳細 <http://www.kitami-it.ac.jp/kenkyusya.html>

## ——研究・開発者募集——

## ●豊田中央研究所

公募職種 客員研究員(最長3年間の契約, 1年ごとの更新)1名  
 職務内容 運転の数理モデリング、走行データ処理に関する研究  
 専門分野 知能情報処理、システム制御  
 応募資格 制御理論または機械学習に関する経験を持つ博士の方  
 応募締切 順次選考、採用が決定次第終了。着任時期は応相談  
 提出書類 職務内容を明記の上、以下の書類をお送り下さい  
 履歴書、研究実績、論文リスト、主要論文別刷  
 送付先 〒480-1192 長久手市横道41-1 人事室採用担当  
 TEL [0561] 63-6509, saiyo@mosk.tytlabs.co.jp  
 詳細 <http://www.tytlabs.co.jp/>

◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/koukoku/kyokanshainboshu.html>

◎次回締切 8月号掲載分 平成25年6月25日(火)必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページに掲載しております。下記からお入り頂くと今月号だけではなく、締切前の求人が全て御覧になれます。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanboshu.html>

——転勤・転居及び学生員申請の届出について——

住所変更及び所属変更等の内容を本会 Web サイト上「会員サービス→マイページ」より御連絡下さい。※最初にマイページ専用のパスワード登録が必要となります。

書面 (E-mail, FAX, 郵送) でも承りますので、「会員番号, 氏名, 変更内容 (住所), 連絡先電話番号」を明記の上, 事務局会員サービス部会員課宛てに御連絡下さい。毎月 1 日までに御連絡を頂いたものは翌月号の発送から変更となります。

なお, 転居先不明等で長期にわたり届出がありませんと, 停止していた間の会誌等をお送りできない場合もありますので, お早めに御連絡下さいませようお願い致します。

また, 4 月以降大学院等への進学で学生員の継続を希望される方は, Web サイト上「会員サービス→学生員申請」より御申請下さい。書面 (E-mail, FAX, 郵送) でも承りますので、「学生員申請」と明記し、「会員番号, 氏名, 学校 (院) 名, 博士・修士課程別, 修了予定年月」を御連絡下さい。

E-mail: kaiin@ieice.org, FAX [03] 3433-6659

——平成 24 年度「子供の科学教室基金」

募金活動報告——

小中高生科学教室委員会

平成 24 年度の会費請求時に会員の皆様に御協力をお願い致しました『子供の科学教室基金』募金活動の平成 25 年 3 月末までの集計結果を御報告申し上げます。

平成 25 年 3 月末現在 950,694 円 (個人会員 202 名と 1 社)。

御協力ありがとうございました。頂きました御寄付は子供の科学教室の活動に適宜活用させて頂いております。平成 24 年度は 15 回の教室を開催したところ, 約 650 名の参加者がありました。

御協力頂いた方々のお名前につきましては下記ホームページに掲載しております。

<http://www.ieice.org/jpn/kagaku/kifuichiran.html>

また, 活動報告につきましては <http://www.ieice.org/jpn/kagaku/houkoku.html> に掲載致しておりますので是非御覧下さい。

——論文誌の冊子体の廃止について——

本会では, 1999 年 8 月から論文誌の電子的公開を開始し, 2006 年 4 月からは個人の会員の皆様への論文誌の配布媒体をオンライン版とし, 冊子体はオプションとしております。また, 2009 年 4 月からは特殊員の皆様に対し, サイトライセンスを開始してきました。これらにより, 近年オンライン版での閲覧が定着し, オプションとして冊子体を希望される方は減少しております。

一方, 現在, 電子情報通信学会・横断システム (IEICE Knowledge Discovery (略称: I-Scover)) などの新たなシステムの構築, 会員管理システム刷新, 既存の論文査読/公開システムの更改などを行っており, 利用者の皆様のサービス向上及びオ

ンラインを活用した学術情報発信強化に向けた取組みを進めているところ です。

少子化等により会員数が漸減していく中で, 今後も引き続き学会活動を持続可能なものにしていくために, リソースの集中を図ることが必要になっております。

その一環として, 論文誌の冊子体を 2014 年 4 月号から廃止することが 2013 年 4 月 15 日の理事会で決定されました。これまで冊子体に親しんでこられた会員の皆様につきましても, 今後はオンライン版の御活用をお願い致します。

御不便をおかけしますが, 何とぞ御理解のほどよろしくお願い申し上げます。

なお, 論文誌の別刷は引き続き作成致します。

——平成 25 年 6 月号及び 7 月号

和・英論文誌特集・小特集テーマ——

和・英論文誌編集委員会

(基礎・境界ソサイエティ)

6 月号 [和文] 周波数発生・制御デバイスの新展開

6 月号 [英文] Discrete Mathematics and Its Applications  
・Circuit, System and Computer Technologies

(通信ソサイエティ)

6 月号 [和文] 震災復興や新興国の近未来に役立つ情報ネットワーク技術

6 月号 [英文] Heterogeneous Networks for Future Cellular Systems

7 月号 [和文] 若手研究者のためのブラッシュアップ

7 月号 [英文] Internet Architectures, Protocols, and Management Methods that Enable Sustainable Development

(エレクトロニクスソサイエティ)

6 月号 [和文] エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術の進展

6 月号 [英文] Analog Circuits and Related SoC Integration Technologies

7 月号 [英文] Recent Advances in Integrated Photonic Devices (情報・システムソサイエティ)

6 月号 [和文] インターネット技術とその応用

6 月号 [英文] Formal Approach

——先端半導体デバイスの基礎と応用小特集

(英文論文誌 C) 論文募集——

先端半導体デバイスの基礎と応用小特集編集委員会

情報化社会の進展は、半導体集積回路・半導体デバイスの技術進歩なしには望めません。また、将来の知識基盤社会の構築にも、半導体デバイスの革新的な進歩に期待が寄せられています。微細化の限界を打破するためのシリコン ULSI デバイス技術、通信容量を格段に飛躍させる化合物半導体デバイス、新機能を創出する量子効果デバイスなど、半導体デバイスの大きな挑戦が進んでいます。最近では、化合物半導体とシリコンの融合集積化も研究が進められています。このような背景から、最先端半導体デバイスの研究動向を紹介することを目的に「先端半導体デバイスの基礎と応用」と題して小特集(平成 26 年 5 月号)を企画致しました。多くの方々の積極的な御投稿をお願い致します。

1. 対象分野

- ・集積回路及び先端集積化技術
- ・集積回路プロセス技術
- ・高周波デバイスと回路応用
- ・パワーデバイス
- ・ワイドバンドギャップ材料とデバイス
- ・新しい材料、デバイス、回路
- ・MOSFET、バイポーラトランジスタ、集積デバイス
- ・化合物半導体材料とデバイス応用
- ・マイクロ波/ミリ波デバイス
- ・TFT の材料・デバイス・応用
- ・量子効果デバイス、単電子デバイス
- ・評価技術・シミュレーション技術

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一です。刷り上がりペーパー 8 ページ、ブリーフペーパー 4 ページ以内(厳守)を原則とします。詳細は Information for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_es.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html)) を御参照下さい。査読後の再提出期間(通常は 60 日)を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。投稿方法は下記を御参照下さい。

3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため、本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1: [https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx) から登録を行って下さい。なお登録時には必ず“Journal/Section”で [Special-FU] Fundamentals and Applications of Advanced Semiconductor Devices を選択して下さい。[Regular-EC] を選択しないで下さい。

手順 2: 著作権譲渡承諾書(Copyright Transfer and Page Charge Agreement)と仮登録確認用紙(Confirmation Sheet of Manuscript Registration)を電子メール(推奨)、FAX、あるいは郵送にて下記まで送付して下さい。これらの書類がないと査読が開始されません。なお、電子メール利用の場合、著作権譲渡承諾書は、サイン済みの用紙をスキャンしたファイルを添付下さい。

4. 論文投稿締切日 平成 25 年 8 月 25 日(日)必着

5. 郵送先及び問合せ先

葛西誠也  
北海道大学大学院情報科学研究科情報エレクトロニクス専攻  
〒060-0814 札幌市北区北 14 条西 9 丁目  
TEL [011] 706-6509, FAX [011] 716-6004  
E-mail: kasai@rciqe.hokudai.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長: 奈良安雄(富士通セミコンダクター)  
幹事: 笹子佳孝(日立), 野村晋太郎(筑波大), 葛西誠也(北大)

委員: 新井 学(新日本無線), 安斎久浩(ソニー), 池田浩也(静岡大), 井田 実(NTT), 大野雄高(名大), 大見俊一郎(東工大), 岡田 浩(豊橋技科大), 大島知之(ネオフォトニクス), 小野行徳(富山大), 尾辻泰一(東北大), 川中 繁(東芝), 川村博史(シャープ), 木本恒暢(京大), 国清辰也(ルネサスエレクトロニクス), 後藤哲也(東北大), 佐々木公洋(金沢大), 佐道泰造(九大), 杉井寿博(LEAP), 鈴木寿一(北陸先端大), 重川直輝(阪市大), 高橋芳浩(日大), 田中愼一(芝浦工大), 野口 隆(琉球大), 西岡泰城(日大), 羽路伸夫(横浜国大), 東脇正高(NICT), 平野博茂(パナソニック), 平本俊郎(東大), 藤代博記(東京理科大), 冬木 隆(奈良先端大), 前澤宏一(富山大), 松尾直人(兵庫県立大), 松田敏弘(富山県立大), 松永高治(NEC), 松本智(慶大), 宮本恭幸(東工大)

7. 付記

\*論文採録の場合は掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。

\*投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

——アナログ回路技術と SoC 向け混載技術に

関する小特集(英文論文誌 C) 論文募集——

アナログ回路技術と SoC 向け混載技術に  
関する小特集編集委員会

アナログ回路技術とその集積化技術は、コンピュータによるデジタル情報化社会、インターネット社会の発展をハードウェアの側面から支えてきましたが、今日に至っては、セキュリティや医療、福祉など日常生活から地球環境・資源エネルギー問題や宇宙応用まで、あらゆる分野への役割が期待されています。このためには、センサ、フィルタ、増幅器、A-D・D-A 変換器、電源回路技術など従来技術の高度化のみならず、デバイス、回路設計から製造、実装、テストまで広い技術領域の進化が求められます。更に新しい応用分野の実現には、革新的なアナログ回路技術への挑戦が強く期待されます。

本小特集(平成 26 年 6 月号)では、農業から医療・福祉まであらゆる分野の応用を目指して、アナログ回路に関連した提案や新技術などの論文を広く募集し、研究・開発が相互に発展するこ

とを願っています。多くの皆様からの投稿をお待ちします。(必須ではありませんが) チップ実現・測定結果を含んだ論文を歓迎します。

### 1. 対象分野

主な分野は以下のとおりですが、これらに限定するものではありません。

- ・ワイヤレス回路技術, ワイヤライン回路技術
- ・高周波回路技術
- ・広帯域回路技術
- ・光通信回路技術
- ・低電圧・低消費電力回路技術
- ・高速・高精度 A-D・D-A 技術
- ・SoC 向け混載技術
- ・アナログ回路向け実装技術 (パッケージング, SiP, モジュール, EMC 対策, 電源/デジタル雑音対策など)
- ・ミックスドシグナル応用領域 (RFID, ストレージ, チューナ, 車載, 医療/ヘルスケア, センサ・MEMS インタフェースなど)
- ・高性能化のためのアナログ要素技術一般 (高周波 ESD 保護回路, 電源回路など) アナログ回路向けデバイス技術 (CMOS, BiCMOS, 化合物, MEMS など)
- ・半導体デバイス・モデリング技術, デバイス/回路シミュレーション技術
- ・アナログ向け DFM・テストビリティ

### 2. 論文の執筆と取扱い

本小特集ではペーパーとブリーフペーパーのみ受け付けます。原則として刷り上がりペーパー 8 ページ, ブリーフペーパー 3 ページ以内とします。詳細は Information for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_es.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html)) を御参照下さい。査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合がありますので, あらかじめ御了承下さい。本小特集への論文投稿については下記を御参照下さい。

### 3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため, 本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1: [https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx) から登録を行って下さい。なお登録時には必ず "Journal/Section" で [Special-CT] Analog Circuits and Related SoC Integration Technologies を選択して下さい。[Regular-EC] を選択しないで下さい。

手順 2: 著作権譲渡承諾書 (Copyright Transfer and Page Charge Agreement) と仮登録確認用紙 (Confirmation Sheet of Manuscript Registration) を下記まで郵送, FAX, または電子メール添付で送付して下さい。これらの書類がないと査読が開始されません。

### 4. 論文投稿締切日 平成 25 年 10 月 4 日 (金) 必着

### 5. 送付先及び問合せ先

塚田敏郎

東京理科大学理工学部電気電子情報工学科

〒278-8510 野田市山崎 2641

TEL [04] 7124-1501 Ext. 3756, FAX [04] 7122-5171

E-mail: tsukada.t@rs.tus.ac.jp

### 6. 小特集編集委員会

委員長 兵庫 明 (東京理科大)

幹事 塚田敏郎 (東京理科大), 古田雅則 (東芝)

委員 青木 均 (モーデック), 秋田一平 (豊橋技科大), 伊

藤正雄 (ルネサスエレクトロニクス), 上野憲一 (アナログ・デバセズ), 岡田健一 (東工大), 尾野孝一 (ソニー), 香川景一郎 (静岡大), 佐藤隆英 (山梨大), 傘 昊 (東京都市大), 島 健 (神奈川大), 杉本泰博 (中大), 谷本 洋 (北見工大), 東原恒夫 (会津大), 中村宝弘 (日立), 新津葵一 (名大), 廣瀬哲也 (神戸大), 藤本竜一 (東芝), 榊井昇一 (富士通), 美濃谷直志 (NTT), 武藤浩二 (長崎大), 森 健一 (パナソニック), 吉村隆治 (テキサス・インスツルメンツ)

### 7. 重要なお知らせ

投稿に際しては, 著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし, 招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については, 投稿を受け付けませんこととなりますので御注意下さい。

## ——実世界の音声情報処理のモデル化手法の進展とその応用小特集 (英文論文誌 D) 論文募集——

実世界の音声情報処理のモデル化手法の進展とその応用小特集編集委員会

近年, 音声認識・合成技術を応用した商用サービスが一気に身近なものとなりましたが, そのコアとなる技術は, まだ人間の能力にははるかに及ばない性能であり, 日常生活のあらゆる場面で自然に使われるようになるためには, 飛躍的な性能向上が必要です。このため, より多様な音声現象を精密にモデル化できる新たな手法を模索して地道な努力が多く研究者により続けられています。

こうした状況を踏まえ, 電子情報通信学会英文論文誌 D では, 音声情報処理におけるモデル化手法に関する研究を促進することを目的として, 2014 年 6 月号において『実世界の音声情報処理のモデル化手法の進展とその応用小特集』 (Advances in Modeling for Real-world Speech Information Processing and its Application) を企画致しました。下記分野及び関連分野のオリジナル論文を募集しますので, 奮って御投稿下さい。

### 1. 対象トピックス

- ・DNN ベースの音声認識モデル
- ・大規模データによる音響モデル・言語モデル学習
- ・クラウドベースのコーパス作成・評価実験
- ・i-vector ベースの話者認識
- ・音声合成モデルの高精度化
- ・統計的手法による声質変換
- ・統計的音声合成による歌声合成
- ・集合知によるモデル・辞書開発
- ・生成モデルと識別モデルの統合
- ・統計的対話制御
- ・音声ドキュメント検索
- ・音声からのデータマイニング
- ・speaker diarization
- ・大規模・複雑タスクへの音声認識応用

### 2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一です。ページ数は, 原則として, 論文の場合は刷り上がり 8 ページ, レターの場合は刷り上がり 2 ページとします。初期投稿時のレターの最大ページ数は 4 ページです。

標準ページ数を超えると掲載別刷代が急に高くなります。詳細は Information for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_iss.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html)) を御参照下さい。

### 3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

- (1) [https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx) から登録を行って下さい。登録時には必ず“Journal/Section”で [Special-RO] Advances in Modeling for Real-world Speech Information Processing and its Application を選択して下さい。
- (2) 登録時に生成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付にてお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 2013 年 9 月 20 日 (金)

### 5. 投稿書類送付先及び問合せ先

河井 恒  
KDDI 研究所  
〒356-8502 ふじみ野市大原 2 丁目 1 番 15 号  
TEL [049] 278-7432, FAX [049] 278-7510  
E-mail: hi-kawai@kddilabs.jp

### 6. 小特集編集委員会

委員長 山下洋一 (立命館大)  
幹事 森 大毅 (宇都宮大), 鈴木基之 (阪工大), 河井 恒 (KDDI 研)  
委員 岩野公司 (東京都市大), 大谷大和 (東芝), 北岡教英 (名大), Jinsong Zhang (北京言語大), 全 炳河 (Google), 戸田智基 (NAIST), 西村竜一 (和歌山大), 藤本雅清 (NTT), 翠 輝久 (NICT), 渡部晋治 (MERL)

### 7. 注意事項

- \* 締切日を厳守して下さい。
- \* 条件付採録の場合の改訂原稿再提出までの期限は、通常の 60 日より短縮される場合があります。
- \* 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代 (別刷 50 部含む) が必要となります。
- \* 著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けません。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

## 本会発行新刊案内

IT 社会を支える ULSI 素子はどうなっているの？

# 新版 ULSI デバイス・プロセス技術

菅野卓雄 監修・伊藤隆司 編著  
A5 判上製 定価 5,880 円(税込)

ULSI は高度情報化社会を支えるハードウェアの基幹要素あるいはそれ自体機能システムとして私たちの生活の隅々にまで入り込んでいる。情報処理速度あるいは記憶容量の飛躍的な増大要求に応えるために、ULSI を構成する技術要素は高度化・多様化し、材料としては化合物半導体、有機半導体あるいは炭素系材料等の取り込みが始まっている。本書は、シリコン集積回路技術の更なる発展及びそれを基盤とする新しい電子デバイスの将来展開を念頭に置き、ULSI デバイス・プロセスの研究開発に携わる研究者・技術者あるいは今後様々な形で関わるであろう大学院生を対象として、ULSI の基礎から体系的に理解できるように配慮し、初版本を全面的に改定し執筆されている。

《内容目次》 ULSI 概要 / バイポーラデバイスの動作機構 / MOS デバイスの動作機構 / ULSI デバイス構造 / 微細加工 / 材料とプロセス / 信頼性と検査 / ULSI の新展開

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館内 振替口座 00120-0-35300

TEL [03] 3433-6691(代) FAX [03] 3433-6659 E-mail: kaiin@ieice.org

正員、学生員等の個人会員の方の注文を承ります。2 割引・送本費 500 円 上記番号で御注文下さい。

一般社団法人 電子情報通信学会

## 会誌 DVD 第 2 版「学会誌 90 年の歩み」好評発売中 ——創刊号から平成 19 年 12 月号までの記事を集約——

平成 17 年 2 月に販売した会誌 DVD に引き続き、現在会誌 DVD 第 2 版を好評発売中です。

今回の DVD は、前回のものから平成 17 年 1 月号以降の 3 年間分を追加した「創刊号から平成 19 年 12 月号までの会誌記事」と本会の「50 年史」、「75 年史」を DVD 2 枚組みにして収録し、1976 年以降のものは全文検索ができます。

期間限定の割引価格にて販売しておりますので、この機会にぜひお申し込み頂きたく御案内申し上げます。  
なお、前回の DVD を御購入頂いている会員の方には、特別価格で販売しておりますのでお申し出下さい。

### ◎ 期間限定割引価格

個人会員	10,000 円 (定価 12,000 円)
個人非会員	30,000 円 (定価 50,000 円)
企業・図書館等	50,000 円 (定価 80,000 円)

下記の申込書をコピーの上、郵送またはファクシミリにて本会宛お送り下さい。



..... キ リ ト リ .....

### 会誌 DVD 第 2 版購入申込書 (この用紙をコピーの上、郵送または FAX して下さい。)

※ FAX の誤送信に御注意下さい。

- (1) 会誌 DVD 第 2 版 (DVD 2 枚組み) \_\_\_\_\_ 組を申し込みます。
- (2) 必要書類  
・本会書式の請求書 \_\_\_\_\_ 通, 見積書 \_\_\_\_\_ 通, 納品書 \_\_\_\_\_ 通が必要  
(書類は現品に同封してお送り致します)  
・請求関係書類の記載名義 \_\_\_\_\_
- (3) 該当箇所の  にチェックして下さい。  
 個人会員 (会員番号 \_\_\_\_\_)       個人非会員       企業・図書館等
- (4) 送付先 ・住 所 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\* 部課名, 研究室名, アパート名等まで御記入願います。  
・氏 名 \_\_\_\_\_
- (5) 連絡先    TEL : \_\_\_\_\_    E-mail : \_\_\_\_\_

申込み先 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館  
一般社団法人電子情報通信学会会員サービス部会員課  
FAX [03] 3433-6659 TEL [03] 3433-6691 E-mail : kaiin@ieice.org

# IEICE Communications Express (ComEX)

## 投稿のご案内

IEICE Communications Express 編集委員会

通信ソサイエティでは、2012年6月にWebを用いたオンライン英文レター誌 IEICE Communications Express (ComEX)を創刊致しました。査読付き原著論文のオンラインジャーナルで、下記の特徴を有します。

- 本文 3,000 語程度, 図表 3 葉以下の簡潔フォーマット(大会の内容を海外発信するのに最適)
- 迅速な編集体制・論文公開 (約 19 日で 5 割の投稿を判定通知, 校閲を終え次第, 随時発行)
- 動画等のマルチメディアコンテンツの掲載が可能

○ 対象分野

基礎, 光, ネットワーク, 無線, 無線システム, マルチメディアシステムなど, 通信ソサイエティ英文論文誌と同一分野

詳細は, 下記 URL をご参照下さい。

<http://www.comex.ieice.org/>

○ 問合せ先

一般社団法人 電子情報通信学会 編集出版部 (comex@ieice.org)

IEICE Communications Express 編集委員会 (2013 年 4 月 1 日現在)

編集委員長: 菊間信良(名工大)  
編集副委員長: 山田寛喜(新潟大), 太田能(神戸大)  
編集委員: 大槻知明(慶大), 上山憲昭(NTT), 関口高志(三菱電機),  
関屋大雄(千葉大), 関谷勇司(東大), 太郎丸真(福岡大),  
長谷川幹雄(東京理科大), 原井洋明(NICT), 萬代雅希(上智大),  
藤元美俊(福井大), 山口良(ソフトバンクモバイル),  
松本隆太郎(東工大), 米永一茂(NTT), Jian Yang(清華大)

アドバイザーメンバ(国内):  
青山友紀(慶大), 井上友二(トヨタ IT 開発センター), 酒井善則(放送大),  
吉田進(京大)

アドバイザーメンバ(海外):  
Vijay K. Bhargava (The University of British Columbia, Canada) ,  
Nevil Brownlee (The University of Auckland, New Zealand) ,  
Serge Fdida (Pierre and Marie Curie University, France) ,  
Lajos Hanzo (University of Southampton, UK) ,  
Jim Kurose (University of Massachusetts, USA) ,  
Kyeong-Sik Min (Korea Maritime University, Korea) ,  
Toshio Morioka (Technical University of Denmark, Denmark) ,  
Theodore S. Rappaport (New York University, USA) ,  
Raymond Wai-Ho Yeung (The Chinese University of Hong Kong, China)

# IEICE Electronics Express 投稿ご案内

IEICE Electronics Express 編集委員会

**完全ペーパーレスの査読つき英文論文誌で  
あなたの素晴らしい研究成果を  
すばやく公開しませんか？**

IEICE Electronics Express (ELEX) は、2004年4月に創刊した web を用いたペーパーレス英文論文誌です。論文投稿から掲載までの更なる迅速化を図るために、2012年4月からは随時発行を開始致しました。エレクトロニクス分野の最新の研究成果の優先権確保や、海外も含めての情報発信のために是非 ELEX への投稿をご検討下さい。

## ELEX の特徴

1. 投稿，出版，閲覧ともに，すべてオンライン上で処理。
2. 投稿から論文掲載まで平均 65 日（2011 年度実績），最短 10 日。
3. カラー画像，マルチメディアファイル（動画）に対応。
4. IEEE Xplore, Scitation, ScienceDirect といった海外の様々な電子ジャーナルサイト上に掲載されている論文と相互にリンク。
5. Science Citation Index Expanded (SCIE) にも収録。Impact Factor も取得しています。

詳細は ELEX ホームページ <http://www.elex.ieice.org> をご覧下さい。  
連絡先： [elex@ieice.org](mailto:elex@ieice.org)（編集出版部 ELEX 担当）